

個人別成果報告に関する資料

No. 0

●館長

岩槻 邦男, Kunio IWATSUKI

昭和9 (1934) 年兵庫県生。京都大学大学院理学研究科博士課程終了。理学博士。

東京大学名誉教授

所属学協会: (社) 日本植物学会 (編集顧問、元会長ら)、(社) 日本植物園協会 (顧問、元会長ら)、日本植物分類学会 (元会長ら)、日本シダ学会、生きもの文化誌学会 (編集委員)、熱帯生態学会、植物形態学会；
国際植物園連合 (直前会長)、国際植物分類学連合 (元理事ら)、国際植物形態学会 (評議員)、アメリカ植物分類学会 (名誉会員)、国際シダ学連合、インドシダ学会 (名誉会員)、アメリカシダ学会、イギリスシダ学会

<研究開発>

1.調査研究

■論文・著書

- Ebihara, A., J.H.Nitta & K.Iwatsuki. 2010. The Hymenophyllaceae of the Pacific Area 2. Hymenophyllum (Excluding Subgen. Hymenophyllum). Bull. Natl. Mus. Nat. Sci., Ser. B, 36(2) 43~59.
- Lin, Su-juan, & K.Iwatsuki. 2010. A new sexual diploid of Dryopteris erythrosora complex (Dryopteridaceae) from Oki Islands, Japan. Mem. Shimane Univ.
- Ebihara, A. & K.Iwatsuki. 2010. A Taxonomic Study of Malesian Hymenophyllaceae: Designation of Lectotype for Destrupued Copeland's Types. Mem. Natl. Mus. Nat. Sci. Tokyo 46: 95~96.

岩槻邦男 『生物多様性を』(ヌース出版) 2010
五十嵐敬喜、西村幸夫 (編) 私たちの世界遺産 (3) 世界遺産登録・最新事情、長崎・南アルプス (公人の友社) 2010

五十嵐敬喜、西村幸夫、岩槻邦男、松浦晃一郎 (編) 私たちの世界遺産 (4) 新しい世界遺産の登場 (公人の友社) 2011

■その他著作 (一部)

- 岩槻邦男: 植物園学を育てる 『日本植物園協会誌』 44: 7~14 (3月号、刊行6月)
- 岩槻邦男: ミクロソリウム入門 『アクアライフ』 372: 72~73 (6月11日)
- 岩槻邦男・星元紀: 生物多様性は30数億年の生命のつながり 『ONAIR』 98: 5~8 (6月)
- 岩槻邦男: 博物館だより: 兵庫県立人と自然の博物館 學士會会報 884: 103~106 (6月)

岩槻邦男: 新・生物多様性入門、絶滅危惧植物 『ソトコト』 137: 70~71 (10月)

岩槻邦男: 「「ともいき」のコンセプトを世界のスタンダードに」 OECC 会報 61: 8~10 (10月)

武田重昭・岩槻邦男 (対談): 「生物多様性のランドスケープにおける可能性」 『ランドスケープデザイン』 76: 92~93 (12月)

岩槻邦男: 循環と共生による持続可能社会の実現を 『生活と環境』 657: 14~15 (1月)

岩槻邦男: 60年をよむ2, 生物学 「バイオロジー」と「ナチュラリヒストリー」 UP 460: 1~5 (2月)

聚編集部: 今、グリーンセイバーに期待することーグリーンセイバー検定委員長岩槻邦男先生 『聚 letter』 別冊 (2月)

岩槻邦男: 生物多様性——その実態とあるべきすがた 『21世紀ひょうご』 10: 3~12 (3月)

■学会役員など

- (社) 日本植物園協会、顧問、元会長ら
(社) 日本植物学会、元会長、編集顧問ら
アメリカ植物分類学会、名誉会員
インドシダ学会、名誉会員
インドネシア学術機構 (LIPI)、科学顧問
マレーシア植物誌委員会、評議員
国際植物形態学会、評議員
Indian Fern Journal (印)、編集顧問
ビオヒストリー (生き物文化誌学会、日)、編集委員

■助成を受けた研究

「自然史系博物館の連携研究員養成法の研究」 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C)、研究代表者 (平成22年度総額: 130万円)

2.資料収集・整理

■資料収集

ベトナム産シダ植物 (1990年代東大隊採集品) の同定

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館外講演など

- 岩槻邦男 (2010.5.19) URBIO 10 オープニングあいさつ 名古屋
- 岩槻邦男 (2010.5.21) 「日本人と植物文化」 淡路花

博10周年記念シンポジウム基調講演 淡路
 岩槻邦男 (2010.6.5) 「生物多様性とわたしたち」
 兵庫環境の集い講演 神戸
 岩槻邦男 (2010.6.6) 生物多様性JAPAN フォーラム
 開会あいさつ 東京
 岩槻邦男 (2010.6.13) 世界遺産フォーラム「」 横浜
 岩槻邦男 (2010.7.18) 「自然と人間との共生——
 統合的に考える——」花博20周年記念講演会
 東京
 岩槻邦男 (2010.7.29) 東京都中学校教員連合の生
 物多様性実習指導
 岩槻邦男 (2010.7.31) 「生物多様性とは？」吹田
 市立博物館
 岩槻邦男 (2010.8.21) サロン：流域文化2「生物
 多様性」 加古川
 岩槻邦男 (2010.9.15) 「生物多様性とCOP10」朝
 日環境フォーラム 名古屋
 岩槻邦男 (2010.9.25) 日本民俗学会 Lehmann 教授
 記念講演会コメンテーター 吹田
 岩槻邦男 (2010.10.26) 地球生きもの委員会
 COP10 サイドイベントパネル 名古屋
 岩槻邦男 (2010.11.10) 「生物多様性保全に向けて
 期待される企業の役割」神奈川多様性講座 大
 和市
 岩槻邦男 (2010.11.16) 「人と自然の共生と循環型
 のライフスタイル」環境衛生C パネラー 神戸
 岩槻邦男 (2010.11.19) 「生物多様性から学ぶ」パ
 ソナ講演 東京
 岩槻邦男 (2010.12.4) 丹波化石プレシンポジウム
 トーク 丹波市山南町
 岩槻邦男 (2010.12.10) 丹波の森大学講演「文明が
 育てた植物たち」丹波市柏原町
 岩槻邦男 (2010.12.12) シダの会講演「文明が育て
 た植物たち」東京
 岩槻邦男 (2010.12.13) 「生物多様性の危機と地球環
 境問題」地球を考える会 東京
 岩槻邦男 (2011.2.19) 「生物多様性って何？」川
 西市
 岩槻邦男 (2011.2.21) 萩市世界遺産フォーラム「近
 代化遺産を考える」パネラー
 岩槻邦男 (2011.3.10) 環境省 COP10, COP16 報告
 会 (大阪) コメントとパネル
 岩槻邦男 (2011.3.12) 「博物館の過去, 現在, 未来」
 熊本
テレビ・ラジオ等出演
 テレビ出演
 2010年5月22日 TBS-BS放映の生物多様性の日特
 集
 2010年7月11日 NHK教育TV, TVフォーラム「世界
 遺産」

2010年8月18日 NHK総合TV「ちょっと変だぞ、
 日本の自然5」
 2010年8月22日 NHK教育TV, TVフォーラム「自然
 と人間の共生—花博20周年—」
 2011年1月16日 BS朝日TV
 2011年3月26日 富山TV
 ラジオ出演
 2010年10月11日 NHK第1放送
 2010年10月18日 NHK第1放送
 取材記事
 2010年4月17日 中日新聞教育欄「守ろう多様な生
 物たち」 取材
 2010年4月21日 日本国際賞授賞式 (審査委員会第
 2部会長として審査結果の報告) YouTubeに掲
 載
 2010年5月23,31日 読売新聞中部支社版
 2010年9月12日 東京新聞カラー版日曜特集「里山
 は日本人のこころ」
 2010年9月 政府広報インターネット「生物多様性」
 2010年10月 NTT COM 「生物多様性」ウェブ
 記事に連載
 2010年10月 月刊チャージャー 「生物多様性に
 ついて」ウェブ記事に連載
 2010年10月3日 朝日生物多様性シンポジウム 朝
 日新聞
 2010年10月17日 朝日新聞名古屋版 広告特集
 「生物多様性」
 2010年12月24日 化石シンポジウム 神戸新聞

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

成果発表

2010.2.11, 共生のひろばでコメンテーターとして
 参加, 館長賞の授賞を行った。

2.シンクタンク事業

■行政支援

政府機関等委員

環境省関係委員 (特定外来種検討委員会、世界自
 然遺産検討委員会、SATOYAMA イニシアティブ
 委員、インベントリーイニシアティブ委員、他)
 (独) 理化学研究所、相談役 (独) 国立科学博物館
 評議員、アドバイザー；同筑波実験植物園運営
 委員会、会長
 (国) 自然科学研究機構国立遺伝学研究所アドバイ
 ザー；同生物資源委員会、幹事
 (独) 科学技術振興機構 GBIF 技術専門委員会、委員
 日本学術会議第21期連携会員

JICA地球環境部森林・自然環境グループ国内支援
 委員会、委員長

国際機構等

国際植物園連合(IABG)直前会長

法人等役員

国際生物学賞委員会、委員、選考委員

コスモス国際賞委員会、委員
日本国際賞審査委員会、委員
(財) WWF-ジャパン、常任理事 (10月まで) 顧問 (11月以後)
(財) 藤原ナチュラルヒストリー振興財団、理事 (7月まで)、顧問 (7月以後)
(財) 松下幸之助花博記念財団、理事 (7月まで)、松下幸之助記念財団評議員 (7月から)
(財) 日本自然保護協会、評議員
(財) 国際花と緑の博覧会記念協会、参与、コスモスフォーラム実行委員長
(財) 科学技術振興財団、研究植物園助成選考委員
(NPO) 聚、グリーンセイバー実行委員長
(NPO) ベルデ、理事
(IUCNメンバー) 生物多様性JAPAN, 代表

兵庫県関係委員ら

兵庫県生涯教育審議会、委員
(財) ひょうご科学技術協会、理事

JICA兵庫応援団、会長

特別プロジェクト

○サバプロジェクト
第11回ジャングルスクールの企画と事前学習, OB会などに参画した.
JICAのBBEC事業支援委員会委員長として協力した.

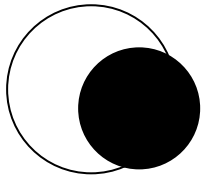
○GBIF

国内技術専門委員会委員として、とりわけ博物館における活動などに協力した.

○生物多様性関連

COP10名古屋のブースに詰め, ツアー (2回) のガイドを務めた.

生物多様性かわら版の審査, 表彰 (フェスティバル時) を行った.



個人別成果報告に関する資料

No. 1

● 自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ／

埋蔵自然遺産研究グループ

小林 文夫, Fumio KOBAYASHI

自然・環境評価研究部／地域環境地質研究グループ
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部
門 教授.

兵庫県立大学大学院 環境人間学研究科 共生博物部門
兼任.

昭和23年新潟県生. 東京教育大学大学院理学研究科博士
課程修了. 理学博士. 日本地質学会, 日本古生物学会,
The Cushman Foundation for Foraminiferal Research, The
Paleontological Society 所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.タスクフォース

マーケティング タスクフォース (リーダー
恐竜・化石タスクフォース (普及教育活動担当)

2.研究開発部門

博物館学術交換図書の整理, 旧地球科学研究部研究担
当, 「人と自然」第21号編集委員.

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

- 1.中・古生代基盤岩の地質構造発達史
- 2.古生代後期・中生代有孔虫化石群集解析
- 3.「小林文夫コレクション」の世界
- 4.地域防災に関わる地学教育

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域および周辺地域の地球
科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者. 「円
山川水系と豊岡盆地の自然環境」.

研究分担者. 部門研究「地形・地質・化石等を軸にし
た学習コンテンツの探索とその活用」, 研究分担者.

■論文・著書

Kobayashi, F., Ross, C. A., and Ross, J. R. P. (2010)
Classification, phylogeny, and paleobiogeography of the
new Subfamily Gifuellinae and a revision of the Family
Neoschwagerinidae (Superorder Fusulinoidea);
Guadalupian (Middle Permian). Journal of Foraminiferal
Research, 40: 283-300.

Kobayashi, F. (2010) Late Middle Permian (Capitanian)
foraminifers from the uppermost part of the Taishaku
Limestone, Akiyoshi Terrane, Japan. Paleontological
Research, 14: 260-276.

©Kobayashi, F. (2010) Late Paleozoic foraminifers

contained in limestone conglomerate of the Maizuru
Group in the Oye area, Kyoto Prefecture, Japan. Humans
and Nature, 21: 79-91.

■その他著作

◎小林文夫 (2010) 防災教育の視点からみた円山川水
系の水文環境と豊岡盆地の表層地質. 人と自然, 21:
171-183.

■学会役員など

日本地質学会, 代議員.

日本地質学会, 関西支部行事委員.

Micropaleontology, レフェリー.

地質学雑誌, レフェリー.

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4-2010.12 石灰岩・石灰岩礫岩岩石薄片の作成と
登録企画展関連資料の収集(3149点). 鹿児島県奄美
大島, 愛媛県板取川・田穂・野村・大洲, 山口県美
祢市ペルム系, 山口県秋吉石灰岩, 岐阜県赤坂石灰
岩(小林文夫コレクション).

2010.4-2011.3 石灰岩薄片写真資料(1300点:小林文夫
コレクション).

2010.4-2010.10 石灰岩岩石資料の整理と登録(850
点:小林文夫コレクション).

2010.10-2011.3 地質資料の整理と活用 宮崎県高千
穂地域ペルム-三畳系, 宮崎県高千穂地域ペルム-三
畳系, 美祢市石炭系・ペルム系・三畳系, 秋吉石灰
岩, フランスジュラ山地ジュラ系・白亜系, ジュネ
ーブ南方サレーブ山地白亜系など.

■整理同定担当資料

小林文夫コレクション (中・古生代石灰岩岩石薄片).

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

小林文夫, 2010.5, 再考「人と自然の共生」, 博物館 (8
名)

小林文夫, 2010.6, 「大量絶滅事件の背景」, 博物館 (18
名)

小林文夫, 2010.6, 「丹波の恐竜発掘状況」, 博物館 (特
注セミナー, 神戸大学理学部学生・教員34名)

小林文夫, 2010.7, 「地球大紀行」, 博物館 (特注セミ
ナー, 愛媛県立松山南高等学校生徒・教員46名)

◎小林文夫, 2010.7, 「薄くしてみる岩石・化石」, 博物
館 (オープンセミナー, 30名)

- ◎小林文夫, 2010.7, 「フズリナ石灰岩の研磨とつやだし」,
博物館, (オープンセミナー, 12名)
- 小林文夫, 2010.8, 「変動する大地 指導案作成を意識して」,
博物館, (教職員セミナー, 14名)
- 小林文夫, 2010.11, 「自然災害と日本の国立公園」, クラ
ーク記念国際高校芦屋キャンパス, 106名)
- 小林文夫, 2010.12, 「火山活動でできる地形・岩石・地層」,
博物館, (特注セミナー, 三田市立あかしあ台小学校生徒・教
員 114名)
- 小林文夫, 2010.12, 「プレートの相対運動と絶対運動」,
博物館, (特注セミナー, 大阪府立豊中高等学校生徒・教
員 52名)
- 小林文夫, 2011.2, 「火山の噴火」, 博物館, (特注セミナ
ー, 西脇市立西脇中学校生徒・教員 168名)

館外講演など

- 小林文夫, 2010.6, 「教科書的でない川, 武庫川」, 宝
塚市社会福祉協議会市民カレッジ, 講師, 宝塚市立
老人福祉センター (28名)
- 小林文夫, 2010.6, 「野外観察-教科書的でない川, 武
庫川」, 宝塚市社会福祉協議会市民カレッジ, 講師,
仁川下流域 (26名)
- 小林文夫, 2011.3, 「地球大紀行」, 兵庫県阪神シニア
カレッジ, 講師, 宝塚ソリオホール (280名)

兵庫県立大学・大学院教育

地域地質論 (主任)

■研究生等の受入

博物館実習

2010.8.8-8.21, 京都外国語大学学生 1名, 岡山理科大
学大学生 1名.

■展示

企画展

2010.10.2-2011.4.10, 企画展「化石大集合」(分担者).

2.シンクタンク事業

■行政支援

相談・指導助言

2010.9, 2011, 1, 1995 兵庫県南部地震被災記録, 六甲山
系の活構造と山麓崩壊堆積物 (建設技術研究所).
来訪者 8件, 25名. 電話・FAX 相談 10件, メール相
談 5件.

佐藤裕司 Hiroshi SATO

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ／生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 教授

兵庫県立大学大学院 環境人間学研究科 共生博物部門 兼任

昭和32年大阪府生まれ、神戸大学大学院理学研究科修士課程修

了。学術博士（神戸大学）。日本第四紀学会、日本陸水学会、日

本藻類学会、日本珪藻学会、日本環境教育学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース（リーダー）

2.研究開発部門

研究部長代理、研究部門会計担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究（個人研究）

- 1.完新世の相対的海水準変動に関する研究
- 2.兵庫県における人類紀の環境変遷史に関する研究
- 3.淡水産および汽水産藻類の多様性と保全に関する研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」、研究分担者。部門研究「地形・地質を軸とした地域コンテンツの探索とその活用に関する研究」、研究分担者。

■論文・著書

◎Kariya, C., Hyodo, M., Tanigawa, K. and Sato, H. (2010) Sea-level variation during MIS 11 constrained by stepwise Osaka Bay extensions and its relation with climatic evolution. *Quaternary Science Reviews*, 29 (15-16), 1863-1879.

◎岸本清明・佐藤裕司（2010）兵庫県内小学校における環境学習の現状と障壁－E S D推進のための要件－。環境教育, 20: 58-67.

◎Kitaba, I., Harada, M., Hyodo, M., Katoh, S., Sato, H. and Matsushita, M. (2011) MIS 21 and the Mid-Pleistocene Climate Transition: Climate and sea-level variation from a sediment core in Osaka Bay, Japan. *Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology*, 299:227-239.

佐藤裕司・鈴木茂之・松下まり子・百原 新・植田弥生・加藤茂弘・前田保夫（2011）瀬戸内海中部・出崎海岸（岡山市玉野市）における埋没泥炭層の再検討－特に完新世中期の海水準変動との関係について－。第四紀研究, 50(1): 61-69.

■その他著作

◎佐藤裕司・杉野伸義・宮田祥史（2010）兵庫県上郡町、安室川の淡水産紅藻オオシソウについて。人と自然, 21: 167-170.

◎田中哲夫・佐藤裕司・永吉照人・谷本卓弥（2010）

絶滅危惧種カワバタモロコをはじめとした水生動物の定着過程－キリンビール神戸工場レフュジア・ビオトープでの実験－。人と自然, 21: 151-158..

■研究発表

◎狩谷千恵・兵頭政幸・谷川晃一郎・佐藤裕司（2010）大阪湾の段階的拡大が示す MIS11 の海面変化及びその気候変化との関係。日本地球惑星科学連合 2010 年大会，幕張メッセ国際会議場（5 月）。

◎Kitaba, I., Hyodo, M., Katoh, S., Sato, H., and Matsushita, M. (2010) *Metasequoia* responses to coastal environment changes due to sea-level variations in Osaka Bay, Japan. 3rd International Metasequoia Symposium, 大阪市立自然史博物館（8 月）。

◎北場育子・原田麻央・兵頭政幸・加藤茂弘・佐藤裕司・松下まり子（2010）海洋酸素同位体ステージ 21 と更新世中期気候変換期－大阪湾の堆積物コアから得られた気候変化と海水準変動－。日本第四紀学会 2010 年大会，東京学芸大学，東京都小金井市（8 月）。

◎谷川晃一郎・兵頭政幸・佐藤裕司（2010）兵庫県豊岡盆地における完新世の相対的海水準変動の復元。日本第四紀学会 2010 年大会，東京学芸大学，東京都小金井市（8 月）。

◎北場育子・兵頭政幸・加藤茂弘・佐藤裕司・松下まり子（2010）ハラミヨサブクロン下限における気候変化と地球磁場変動。地球電磁気・地球惑星圏学会，沖縄県市町村自治会館，沖縄県那覇市（11 月）。

◎Ikuko Kitaba, Mao Harada, Masayuki Hyodo, Shigehiro Katoh, Hiroshi Sato, Mariko Matsushita (2010) Climate and sea-level variation during MIS 21: a sign of termination of the Mid-Pleistocene Climate Transition. AGU (12 月)。

■学会役員など

2010.4-2011.3, 日本珪藻学会編集委員。

■助成を受けた研究

「恐竜発掘を素材にした，地域と博物館をつなぐ学習プログラムの構築」（科学研究費補助金・基盤研究（C）分担者）。

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4-2011.3 現生淡水藻類の標本採集。丹波市・上郡町など。

■整理同定担当資料

第四紀古環境資料，淡水産藻類標本

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎解説！恐竜ラボ，2010.4.18.（オープンセミナー，7 名）

田中哲夫・佐藤裕司, 2010.4.24, 25, 5.15, 16, 「ため池をさぐる」, (全4回, のべ52名)

◎解説! 恐竜ラボ, 2010.7.4. (オープンセミナー, 30名)

◎解説! 恐竜ラボ, 2010.8.1. (オープンセミナー, 27名)

田中哲夫・佐藤裕司, 2010.10.6, 13, 高校連携セミナー「身近な環境を調査しよう〜ビオトープ池を調べる〜」, キリンビール(株)神戸工場, (のべ16名)

◎解説! 恐竜ラボ, 2010.10.10. (オープンセミナー, 4名)

佐藤裕司, 2011.3.6, 「安室川(上郡町)で学ぶ生物多様性の保全」, (13名)

館外講演など

2010.10.13, 淡路文化会館「いざなぎ学園」大学「専門講座3 自然環境『地球温暖化 CO2 犯人説は本当か』」, 淡路文化会館. (20名)

2010.10.21, 西播磨高齢者文化大学大学院「地球史から読み解く温暖化問題」, 西播磨文化会館. (29名)

兵庫県立大学・大学院教育

兵庫県立大学全学共通教育科目「共生博物学」(オムニバス形式, 代表)

大学院担当授業科目「陸・水圏自然史特別演習」

■連携事業

共催事業

2010.5, 山陰海岸ジオキャラバン in 浦富海岸(岩美町), 山陰海岸ジオパーク推進協議会(セミナー・演示イベントの実施)

2011.3, 山陰海岸ジオキャラバン in 京丹後, 山陰海岸ジオパーク推進協議会(シンポジウム・演示イベントの実施)

2010.5〜8, 企画展「山陰海岸ジオパーク〜但馬の大地と人々〜」, 但馬国府・国分寺館(展示制作, セミナーの実施)

2010.7〜8, ミニ企画展「発見! 化石ワールド!!」, 但馬国府・国分寺館(展示制作, 演示イベントの実施)

2010.10, 山陰海岸ジオパーク展, 但馬信用金庫姫路北支店(展示制作)

2010.10, 山陰海岸ジオパーク展, 但馬信用金庫姫路支店(展示制作)

協力事業

2011.3〜4, 企画展「いろいろ色展」, 神戸市青少年科学館(資料貸出)

■学校教育支援

学校団体対応

2011.2.17, 東条町立東条東小学校(36名)実習「微生物のはなしと観察」

講師派遣

2010.11.17, 加東市立米田小学校(小学5年生, 12名)「プランクトンを顕微鏡で見よう」

2011.2.9, 県立龍野高校(2年8組, 総合自然科学コー

ス, 40名)「珪藻化石を環境指標に用いた研究」

■研究生等の受入

博物館実習

2010.8.9, 京都外国語大学1名, 岡山理科大学総合情報学部1名

卒論生等

2010.4.1-2011.3.31, 大学院生2名(神戸大学大学院理学研究科博士課程後期課程), 卒論生1名(神戸大学理学部)

■フェスティバル等

2010.11 ひとくフェスティバル, 「恐竜関連イベント担当」

■展示

企画展

特別企画「丹波の恐竜を知ろう 2010ー第4次発掘報告ー」(分担)

特別企画「化石大集合 2010ー過去に起こった生物大量絶滅事件ー」(分担)

2.シンクタンク事業

■受託研究

「キリンビール神戸工場内のレフュジア・ビオトープ創出に関する研究」分担者, キリンビール株式会社神戸工場.

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 8回, 22名.

■行政支援

委員会等

2010.4-2011.3, 安室川自然再生検討会, 委員, 兵庫県上郡土木事務所.

2010.4-2010.3, 加東市とひとく協力協定連携推進会議委員.

2010.7-2010.3, たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会・企画運営委員会 委員

相談・指導助言

来訪者36件, 85名. 電話・FAX相談10件, メール相談15件.

先山 徹, Tohru SAKIYAMA

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学部門／
ジオ環境研究部門 准教授.

昭和 29 年岐阜県生. 広島大学大学院理学研究科博士課程
修了. 理学博士. 日本地質学会, 日本岩石鉱物科学会,
日本地学教育学会, 日本科学教育学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.タスクフォース

ジオパークタスクフォース, リーダー

恐竜・化石タスクフォース, 活用担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

- 1.火成岩を主とした兵庫県下の地質に関する研究
- 2.地質を活用した生涯学習, 博物館学の研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の
地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.
部門研究「地形・地質・化石等を軸にした学習コンテ
ンツの探索とその活用に関する研究」, 研究代表者.

■論文・著書

◎先山 徹 (2010) 山陰海岸. 社団法人全国地質調査
業協会連合会 NPO 法人地質情報整備・活用機構
(編), 日本列島ジオサイト 地質百選Ⅱ, 96-97.
オーム社, 東京.

◎先山 徹 (2010) 篠山層群の恐竜化石. 社団法人全
国地質調査業協会連合会 NPO 法人地質情報整
備・活用機構(編), 日本列島ジオサイト 地質百選
Ⅱ, 102-103. オーム社, 東京.

■その他著作

◎先山 徹 (2011) 岩石調査. 高砂市教育委員会(編),
高砂市文化財総合的把握モデル事業 文化財調査報
告書, 128-141.

先山 徹 (2010) 彦根城石垣の岩石記載と石材産地.
特別史跡彦根城跡 石垣総合調査報告書, 105-111.

有田寛之・高橋みどり・先山 徹・嶽山洋志(2011) 恐
竜発掘地層ケーキを作ろう! 科学リテラシーの涵
養に資する科学系博物館の教育事業の開発・体系化
と理論構築(平成 19 年~22 年度科研費研究成果報
告書), 65-72.

有田寛之・高橋みどり・先山 徹・嶽山洋志(2011) 恐
竜発掘地層ケーキを作ろう! 事後評価. 科学リテ
ラシーの涵養に資する科学系博物館の教育事業の開
発・体系化と理論構築(平成 19 年~22 年度科研費
研究成果報告書), 73-74.

先山 徹・原田光一郎・久保晃一・渡邊千秋 (2011)

私たちのくらしと大地. 科学リテラシーの涵養に資
する科学系博物館の教育事業の開発・体系化と理論
構築(平成 19 年~22 年度科研費研究成果報告書),
151-154.

◎先山 徹 (2011) 山陰海岸ジオパークの特徴と博物
館の役割. 全科協ニュース, Vol.41, No.1, 5-7.

■研究発表

◎先山 徹・松原典孝・藤本真里・田原直樹 (2010)
山陰海岸ジオパークでの生涯学習と研究者の役割
—ジオ環境研究部門の設立—. 日本第四紀学会, 東
京学芸大学, 東京都.

◎先山 徹 (2010) 生涯学習の場での地質見学会と地
質・地形模型作成. 日本地質学会, 富山大学, 富山
市.

■学会役員など

日本地質学会, 生涯教育委員会, 委員.

地学団体研究会, 「地球科学」常任エディター.

■助成を受けた研究

恐竜発掘を素材にした, 地域と博物館をつなぐ学習プ
ログラムの構築. 文部科学省科学研究費基盤研究(C),
研究代表者(金額 70 万円/370 万円).

■海外調査

2010.4. マレーシア・ランカウィ島ジオパーク調査

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4-2011.3 ジオパーク関連資料の収集(球類流紋
岩など). 豊岡市, 香美町など.

■整理同定担当資料

岩石・鉱物

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

先山 徹, 2010.5, 「バスでめぐるジオスポットツアー」,
新温泉町・香美町. (40 名)

先山 徹, 2010.6-2011.2, 「石ころクラブ」, 博物館・
豊岡市. (全 9 回, 161 名)

先山 徹, 2010.8, 「兵庫の大地—丹波竜と山陰海岸ジ
オパーク」, 香美町. (34 名)

先山 徹, 2010.10, 「石を見分けよう—丹波の石と地
層の見学」, 丹波市. (17 名)

先山 徹・加藤茂弘, 2010.10, 「秋の石めぐりハイキ
ング: 武田尾の地層」, 宝塚市. (33 名)

加藤茂弘・先山 徹, 2010.4, 「春の石めぐりハイキ
ング—山陰海岸ジオパーク」豊岡市. (24 名)

館外講演など

先山 徹, 2010.4, TAMBA シニアカレッジ地理講座
「丹波の大地」, 丹波市中央公民館 (25 名)

先山 徹, 2010.5, 2010 ジオキャラバン in 浦富「簡単
化石レプリカづくり」, 鳥取県岩美町なぎさ交流館,

(75名)

先山 徹, 2010.5. TAMBA シニアカレッジ地理講座
「山陰海岸ジオパーク・バスツアー」, 丹波市〜豊岡
市, (22名)

先山 徹, 2010.5, 2010 ジオキャラバン in 浦富「簡
単化石レプリカづくり」, 鳥取県岩美町なぎさ交流館,
(35名)

先山 徹, 2010.5, 2010 ジオキャラバン in 浦富 セミ
ナー「浦富海岸の石を見分けよう」, 鳥取県立博物館
附属山陰海岸学習館, (30名)

先山 徹, 2010.5, 文体地球学セミナー「丹波に恐竜
がいたころの日本」, 兵庫県立文化体育館, (27名)

先山 徹, 2010.5, 山陰海岸ジオパークフォーラム「み
んなで知ろう, 玄武洞やジオパークのこと」, 豊岡
市・じばさん TALIMA (200名)

先山 徹, 2010.5, 山陰海岸ジオパークフォーラム・
現地見学会, 豊岡市内, (37名)

先山 徹, 2010.6, 小代区ガイド研修, 香美町小代区・
香美町, (22名)

先山 徹, 2010.7, 但馬県民局管内職員研修 1, 兵庫
県但馬県民局, (50名)

先山 徹, 2010.7, 但馬県民局管内職員研修 2, 兵庫
県但馬県民局, (52名)

先山 徹, 2010.7, 但馬県民局管内職員研修 3, 兵庫
県但馬県民局, (54名)

先山 徹, 2010.7, 但馬県民局管内職員研修 4, 兵庫
県但馬県民局, (64名)

先山 徹, 2010.7, 但馬県民局管内職員研修 5, 兵庫
県但馬県民局, (80名)

先山 徹, 2010.7, ジオパークから考えるまちづくり,
京都府京丹後市網野町, (200名)

先山 徹, 2010.7, 香美町職員研修, 香美町役場, (30
名)

先山 徹, 2010.7, コウノトリと共生する地域づくり
講座, コウノトリの郷公園, (22名)

先山 徹, 2010.8, 企画展講座: 地質からみた但馬の
大地, 豊岡市・国分寺館, (22名)

先山 徹, 2010.8, 体験イベント: 化石のレプリカを
つくろう, 豊岡市・国分寺館, (55名)

先山 徹, 2010.8, 美方郡町会議員セミナー「これか
らの山陰海岸ジオパークで必要なこと」, 香美町・文
化会館, (40名)

先山 徹, 2010.9, 長寿の郷職員研修, 講師, 但馬長
寿の郷, (25名)

先山 徹, 2010.10, 香美町小代区ジオパーク研修, 講
師, 香美町・小代物産館, (20名)

先山 徹, 2010.10, 六甲山山の案内人現地研修, 講師,
宝塚〜西宮市・甲山周辺, (45名)

先山 徹, 2010.10, くにしきエコカレッジ「石を楽し
もう」, 講師, 川西市・国崎クリーンセンター, (20
名)

先山 徹・藤本真里, 2010.11, 山陰海岸ジオパークフ

ェスティバル出展, 豊岡市・但馬ドーム, (247名)

先山 徹・藤本真里・松原尚志, 2010.11, 山陰海岸ジ
オパークフェスティバル出展, 豊岡市・但馬ドーム,
(300名)

先山 徹, 2010.11, 日本応用地質学会関西支部シンポ
ジウム「山陰海岸ジオパーク〜ジオパークのための
社会資本整備〜」講師, 京都府京丹後市・琴引浜鳴
き砂文化館, (32名)

先山 徹, 2010.12, 地才地創シンポジウム「恐竜化石
とこれからの地域づくり」, パネリスト, 丹波市山南
町, 350名

先山 徹, 2010.12, いきいき学舎・フレミラ, 「宝塚
の石を見よう I」, 講師, 宝塚市・フレミラ宝塚, 20
名

先山 徹, 2010.12, いきいき学舎・フレミラ, 「宝塚
の石を見よう II」, 講師, 宝塚市・中山寺, (20名)

先山 徹, 2011.1, 人と自然の会「山陰海岸ジオパー
クの紹介」, 人と自然の博物館, (50名)

先山 徹, 2011.1, 猪名川の大地の成り立ち, 講師,
猪名川町中央公民館, (40名)

先山 徹, 2011.1, シニア向けホスピタリティガイド
養成講座, 講師, 豊岡市, (16名)

先山 徹, 2011.2, シニア向けホスピタリティガイド
養成講座, 講師, 豊岡市, (10名)

先山 徹, 2011.2, 山陰海岸ジオパークの世界申請と
これから, 講師, 岩手県宮古市, (230名)

先山 徹, 2011.3, シンポジウム地域資源の活用と地
域連携, コーディネータ, 京丹後市アグリ大宮, (300
名)

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生 (分担)

ジオパークと地域 (分担)

ラジオ・テレビ等出演

2010.10, 「週刊ひょうご夢情報・はばタン便, はばタ
ンも満喫! 山陰海岸ジオパーク」, サンTV

■連携事業

共催事業

2010.5, 山陰海岸ジオキャラバン in 浦富海岸 (岩美
町). 山陰海岸ジオパーク推進協議会 (セミナー・演
示イベントの実施)

2011.3, 山陰海岸ジオキャラバン in 京丹後, 山陰海岸
ジオパーク推進協議会 (シンポジウム・演示イベン
トの実施)

2010.5〜8, 企画展「山陰海岸ジオパーク〜但馬の大地
と人々〜」, 但馬国府・国分寺館 (展示制作, セミナ
ーの実施)

2010.7〜8, ミニ企画展「発見! 化石ワールド!!」,
但馬国府・国分寺館 (展示制作, 演示イベントの実
施)

2010.10, 山陰海岸ジオパーク展, 但馬信用金庫姫路北
支店 (展示制作)

2010.10, 山陰海岸ジオパーク展, 但馬信用金庫姫路支

店（展示制作）

協力事業

2011.3～4，企画展「いろいろ色展」，神戸市青少年科学館（資料貸出）

2.シンクタンク事業

■受託研究

野島断層の保存・活用に関する研究（研究分担者），淡路市教育委員会，金額 27 万円.

■行政支援

委員会等

2010.4，山陰海岸ジオパーク推進協議会兵庫分会，会長，山陰海岸ジオパーク推進協議会.

2010.4，山陰海岸ジオパーク推進協議会学術部会，委員，山陰海岸ジオパーク推進協議会.

2010.4，山陰海岸ジオパーク推進協議会運営委員，山陰海岸ジオパーク推進協議会.

2010.4，生野鉾山の文化的景観調査委員会，協力員，朝来市教育委員会.

2010.4，高砂市文化財調査専門部会，委員，高砂市.

2010.4，松江市誌編纂委員会松江城部会，委員，松江市.

相談・指導助言

来訪者 5 件，10 名．電話・FAX 相談 3 件，メール相談 5 件.

2010.11. 浜坂で見つかったミツガシワの保存に関して，指導助言，兵庫県浜坂土木.

2010.12. S S H申請に関する指導助言．豊岡高校.

加藤 茂弘, Shigehiro KATO

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ／研究・シンクタンク推進室
主任研究員

昭和35年岐阜県生. 東京大学大学院理学系研究科博士課程単位取得後退学. 理学修士. 日本第四紀学会, 日本活断層学会, 日本人類学会, 日本地理学会, 日本地質学会, 日本地形学連合等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

アウトリーチ拠点づくり, 地域担当(淡路地区)

2.研究開発部門

研究促進・総合共同研究推進の研究部担当, 月例報告にかかわる研究・資料データの取りまとめや館報データの取りまとめ

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

- 1.火山灰層序に基づく第四紀古環境変動に関する研究
- 2.近畿地方の活断層と地殻変動に関する研究
- 3.地震断層の保存と活用に関する研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.
部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎加藤茂弘・半田久美子・古谷 裕・奥岸明彦・高橋 晃・八木 剛(2011) 中国山地東部の福知川上流に分布する福知泥炭層の堆積年代と成因(予報). 人と自然, No.21, 109-119.

石村大輔・加藤茂弘・岡田篤正・竹村恵二(2010) 三方湖東岸のボーリングコアに記録された三方断層帯の活動に伴う後期更新世の沈降イベント. 地学雑誌, 119, 775-793.

岡田篤正・加藤茂弘・石村大輔・斎藤 真(2010) 福井県, 三方湖および中山低地の地下地質と三方断層帯の活動解明. 地学雑誌, 119, 878-891.

◎小滝篤夫・加藤茂弘・木谷幹一(2011) 京都府南丹市, 神吉盆地のボーリングコア中の大山火山起源の中期更新世テフラとその意義. 第四紀研究, 50, 35-48.

佐藤裕司・鈴木茂之・松下まり子・百原 新・植田弥生・加藤茂弘・前田保夫(2011) 瀬戸内海中部・出崎海岸(岡山県玉野市)における埋没泥炭層の再検討—特に完新世中期の相対的海水準変動との関係について—. 第四紀研究, 50, 61-69.

◎Kitaba, I., Harada, M., Hyodo, M., Katoh, S., Sato, H., Matsushita, M. (2011) MIS21 and the Mid-Pleistocene climate transition: Climate and sea-level variation from a

sediment core in Osaka Bay, Japan. Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology, 299, 227-239.

■その他著作

加藤茂弘(2010) 久美浜コア堆積物の層序区分と層相. 植村善博編『京丹後市久美浜湾の古環境と形成過程—阿蘇海・天橋立との比較—』, 京丹後市教育委員会, pp. 15-20.

加藤茂弘・小滝篤夫(2010) 久美浜コア堆積物のテフラ層序と堆積年代. 植村善博編『京丹後市久美浜湾の古環境と形成過程—阿蘇海・天橋立との比較—』, 京丹後市教育委員会, pp. 21-29.

加藤茂弘・松田 功(2004) 北海道斜里郡斜里町朱円2遺跡の完新世テフラについて. 朱円2遺跡発掘調査報告書 付編. 斜里町文化財調査報告 XXVI, 斜里町教育委員会, 27-36. (2010年印刷)

◎加藤茂弘・半田久美子・高橋 晃・古谷 裕・八木 剛・沢田佳久(2010) 福知溪谷で発見された福知泥炭層と植物・昆虫の化石. ひとつは図鑑, ひとつは新聞ハーモニー71号.

◎加藤茂弘(2011) インタビュー 博物館の地理学者3. 雑誌地理, 56-1(通巻666号), 4-7.

岡田篤正・加藤茂弘・石村大輔(2010) 三方湖ボーリング調査による地下地質と三方断層帯の活動性評価. 平成17年度～平成21年度私立大学学術研究高度化推進事業「文化遺産と芸術作品を自然災害から防御するための学理の構築」(総ページ数512p), 立命館大学歴史都市防災研究センター, 231-239.

■ブログへの情報提供

2件

■研究発表

Katoh, S., WoldeGabriel, G., Hart, W.K., Suwa, G. (2010.5) Silicic tephra layers of the late Miocene Chorora Formation in the southeastern margin of the Afar Rift, Ethiopia. International Field Conference and Workshop on Tephrochronology, Volcanism and Human Activity-Active Tephra in Kyushu 2010, Kokubu Civic Centre, Kirishima City Hall, Kirishima City, Kagoshima Prefecture.

◎加藤茂弘(2010.11) 兵庫県氷上盆地における前期更新世以降の埋積過程. 日本活断層学会2010年秋季学術大会, 名古屋大学, 名古屋.

◎Kotaki, A., Katoh, S., Kitani, K. (2010.5) Middle Pleistocene widespread tephra derived from the Daisen Volcano, central Japan. International Field Conference and Workshop on Tephrochronology, Volcanism and Human Activity-Active Tephra in Kyushu 2010, Kokubu Civic Centre, Kirishima City Hall, Kirishima City, Kagoshima Prefecture.

◎東川剛恵・山口 覚・上田哲士・最上巴恵・長谷川浩二・小河 勉・丹保俊哉・後藤優介・加藤茂弘(2010.2) AMT法において・磁場参照点の違いがMT応答関数に与える影響について—山崎断層系琵琶湖断層の例—. 2009年度 Conductivity Anomaly 研究会, 東京大学地震研究所, 東京.

- ◎山口 覚・上田哲士・長谷川浩二・AHN HYEON-SEON・村上英記・加藤茂弘・儘田 豊・鎌滝孝信 (2010.2) 山崎断層系安富断層・暮坂峠断層の AMT 探査. 2009 年度 Conductivity Anomaly 研究会, 東京大学地震研究所, 東京.
- ◎北場育子・兵頭政幸・加藤茂弘・松下まり子 (2010.5) 地磁気逆転期の寒冷化イベントと地磁気強度変化が気候に及ぼす影響. 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.
- 三島稔明・兵頭政幸・谷川晃一郎・加藤茂弘ほか (2010.5) Multiple rapid polarity flips within the Gauss-Matuyama geomagnetic transition record from central Loess Plateau, China. 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.
- ◎東川利恵・山口 覚・上田哲士・最上巴恵・長谷川浩二・小河 勉・丹保俊哉・後藤優介・加藤茂弘 (2010.5) AMT 法において, 磁場参照点の違いが MT 応答関数に与える影響について—山崎断層系琵琶甲断層の例—. 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.
- ◎山口 覚・上田哲士・長谷川浩二・アン ヒョンソン・村上英記・加藤茂弘・西上欽也・儘田 豊・鎌滝孝信 (2010.5) 山崎断層系安富断層・暮坂峠断層の AMT 探査. 日本地球惑星科学連合 2010 年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.
- ◎Takahashi, A., Handa, K., Katoh, S. and Furutani, H. (2010.8) Wood and pollen assemblages in the early Holocene at the Fukuchi Valley in Hyogo Prefecture, Japan. 3rd International Metasequoia Symposium, 大阪市立自然史博物館, 大阪市.
- ◎Kitaba, I., Hyodo, M., Katoh, S., Sato, H., and Matsushita, M. (2010.8) Metasequoia responses to coastal environment changes due to sea-level variations in Osaka Bay, Japan. 3rd International Metasequoia Symposium, 大阪市立自然史博物館, 大阪市.
- ◎北場育子・原田麻央・兵頭政幸・加藤茂弘・佐藤裕司・松下まり子 (2010.8) 海洋酸素同位体ステージ 21 と更新世中期気候変換期—大阪湾の堆積物コアから得られた気候変化と海水準変動—. 日本第四紀学会 2010 年学術大会, 東京学芸大学, 東京都.
- ◎北場育子・兵頭政幸・加藤茂弘・佐藤裕司・松下まり子 (2010.11) ハラミヨサブクロン下限における気候変化と地球磁場変動. 2010 年地球電磁気・地球惑星圏学会, 沖縄県市町村自治会館, 沖縄県那覇市.
- ◎Kitaba, I., Harada, M., Hyodo, M., Katoh, S., Sato, H. and Matsushita, M. (2010.12) Climate and sea-level variation during MIS 21: a sign of termination of the Mid-Pleistocene Climate Transition. AGU 2010 Fall meeting, San Francisco, USA.
- 学会役員など
- 日本活断層学会, 理事 (2010 年 5 月まで).
- 日本活断層学会, 普及教育専門委員会委員長 (2010 年 5 月まで), 同委員 (2010 年 6 月～).

日本第四紀学会, 編集委員.

国際地理学会 (IGU) 京都地域会議準備委員会, 日本第四紀学会代表委員 (2010 年 8 月まで).

国際地理学会 (IGU) 京都地域会議組織委員会, 日本第四紀学会代表委員 (企画・プログラム班委員) (2010 年 9 月～2014 年 3 月).

■助成を受けた研究

近畿三角帯とその周辺地域の中期更新世テクトニクスと地形発達. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者 (金額 65 万円/総額 468 万円).

エチオピアにおける人類と類人猿化石の探索と進化的意義に関する研究. 文部科学省科学研究費基盤研究(A), 研究分担者 (金額 416 万円/平成 22 年度総額 1521 万円).

地磁気逆転期における寒冷化イベントの発生原因の解明. 文部科学省科学研究費基盤研究(B), 研究分担者 (金額 32.5 万円/総額 1814 万円)

山崎断層系の地震発生深度から地表までの 3 次元比抵抗構造の解明. 京都大学防災研究所一般共同研究助成, 研究協力者 (金額 0 万円/総額 70 万円)

■海外調査

2011.1 台湾 (921 地震教育園区)

2011.2-3 エチオピア (チョローラ層分布域)

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.5 九州地方中・南部の諸火山 (始良カルデラ, 桜島火山, 霧島火山, 雲仙火山, 阿蘇カルデラ, 九重火山, 由布岳火山) の軽石・火山灰・火砕流堆積物の収集. 霧島市, 島原市, 阿蘇市, 別府市など.

2010.5-12 福知溪谷, 福知泥炭層のはぎ取り標本, 泥炭および植物・昆虫化石. 宍粟市一宮町.

2011.2-3 エチオピア, アファー地溝帯南部のチョローラ層中の火山灰, 軽石層など.

■整理同定担当資料

第四紀堆積物 (火山灰, ボーリングコア等, 活断層・地層のはぎとり標本等).

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

加藤茂弘, 2010.4, 「地震はどうして起こるのか?」, 神戸中華同文学校 5・6 年生. (158 名)

加藤茂弘・先山 徹, 2010.4, 「春の石めぐりハイキング〜山陰海岸ジオパーク〜」, 豊岡市玄武洞ほか. (24 名)

加藤茂弘, 2010.5, 「ペーパークラフトで学ぶ火山のしくみ」, 人と自然の博物館. (20 名)

加藤茂弘, 2010.5, 「偏光顕微鏡で見る岩石と鉱物」, 人と自然の博物館. (45 名)

加藤茂弘, 2010.7.10, 「暗闇で光る鉱物を見てみよう」,

神戸山手女子中学校3年生。(28名)

加藤茂弘, 2010.8, 「模型で楽しむ断層と地震」, 人と自然の博物館。(17名)

加藤茂弘, 2010.8, 「地層から探る兵庫の自然史」, 人と自然の博物館。(28名)

加藤茂弘, 2010.9, 「人と自然の博物館の展示・収蔵庫見学ほか」, 兵庫教育大大学院修士課程2年生。(4名)

加藤茂弘, 2010.9, 「人と自然の博物館の展示・収蔵庫見学ほか」, 兵庫教育大3・4年生。(4名)

加藤茂弘, 2010.9, 「暗闇で光る鉱物を見てみよう」, 豊岡市立日高西中学校1年生。(47名)

加藤茂弘, 2010.10, 「ひとはく研究員と歩く COP10 ちよっと見学ツアー」, 名古屋市熱田公園生物多様性フェア会場。(4名)

先山 徹・加藤茂弘, 2010.6-2011.2, 「石ころクラブ」, 人と自然の博物館。(全9回, 42名)

先山 徹・加藤茂弘・古谷 裕, 2010.10, 「秋の石めぐりハイキング: 武田尾の地層」, 宝塚市武田尾。(33名)

松原尚志・加藤茂弘・篠山層群をしらべる会, 2010.11, 「君も発掘調査隊員!! 丹波の恐竜化石を探し出そう」, ひとはくフェスティバル, 人と自然の博物館。(102名)

■館外講演など

加藤茂弘, 2010.9, 「火山灰を調べる」, 平成22年度兵庫県理科支援員研修, 講師, 兵庫県立人と自然の博物館。(27名)

加藤茂弘, 2010.10, 「アフリカの大地に人類進化の謎を探る」, 阪神シニアカレッジ4年生, 講師, 宝塚ソリオ。(148名)

加藤茂弘, 2010.10, 「近未来の東南海・南海地震と西南日本の内陸地震」, 阪神シニアカレッジ2年生, 講師, 宝塚ソリオ。(99名)

加藤茂弘, 2010.12, 丹波恐竜化石発掘現場の解説, 丹波市上久下。(75名)

加藤茂弘, 2010.12, 「中山寺周辺の活断層を歩く」, いきいき学舎・フレミラ 専門コース(環境・自然コース), 講師, フレミラ宝塚。(29名)

加藤茂弘, 2010.12, 「宝塚の活断層と大地震の長期予測」, いきいき学舎・フレミラ 専門コース(環境・自然コース), 講師, フレミラ宝塚。(31名)

加藤茂弘, 2011.1, 「近未来の日本列島を襲う巨大地震—南海・東南海・東海地震—」, 講師, 921 地震教育園区, 台湾。(70名)

古谷 裕・加藤茂弘, 2010.6, バス見学「淡路の地層と断層」, TAMBA シニアカレッジ教養講座(地理), 講師, 野島断層保存館や南淡路市灘荷頃周辺。(16名)

■ミニキャラバン事業

2010.10, COP10 生物多様性フェア, 人と自然の博物館ブース展示(展示解説)

■連携事業

連携グループ等

南あわじ地学の会(副担当)

東中国クマ集会(副担当)

成果発表

なし

共催事業

2011.1, 野島断層普及講演会(ジオ体験コーナー開催). 野島断層活用委員会・淡路市教育委員会, 淡路市ほくだん震災記念公園セミナーハウス。(参加者 380名)

協力事業

2010.7-8, 南海地震に関する展示「もう一度考えよう 南海地震」(鯨絵展示および解説文作成). 南あわじ地学の会・南あわじ市教育委員会, 南あわじ市三原ショッピングセンターパルティ.

■学校教育支援

トライやるウィーク

2010.6, 三田市立上野台中学校1名, 同狭間中学校1名, 同けやき台中学校1名, ボーリングコアの整理ほか

学校団体対応

2010.4, 「研究と私」, 「地学系収蔵庫案内」. Project 学習『目指せ, 未来の研究者!』, 兵庫県立大学附属中学校1年生, 人と自然の博物館。(41名)

2010.11, 「我々はどこから来たか〜現代人の起源を探る〜」, Project 学習『目指せ, 未来の研究者!』, 兵庫県立大学附属中学校1年生, 人と自然の博物館。(26名)

2010.12, 「六甲山と大阪湾を造り上げた活断層」, 兵庫県立舞子高等学校環境防災科1年生, 人と自然の博物館。(44名)

講師派遣

2010.6, 「近未来の南海地震について」, 「グラリンで学ぶ耐震と免震」講師, 兵庫県立舞子高等学校環境防災科1年生。(42名)

遠隔授業

なし

■研究生等の受入

博物館実習

2010.8, 京都外国語短期大学1名, 岡山理科大学1名。

卒論生等

2010.4-2011.3, 大学院生4名(神戸大学大学院理学研究科博士後期課程2名, 京都大学大学院理学系研究科博士後期課程1名, 同博士前期課程1名)。

■フェスティバル等

2008.11, 「君も発掘調査隊員!! 丹波の恐竜化石を探し出そう」, ひとはくフェスティバル, 分担者。(102名)

■展示

企画展

2010.7-12 展示特別企画ひょうごの生物多様性 瀬戸内海 VS 日本海(ナガスクジラ骨格標本, 兵庫の

2.シンクタンク事業

■受託研究

野島断層の保存・活用に関する研究（研究代表者）、淡路市教育委員会、金額 27 万円。

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内、8 回、59 名。

■行政支援

委員会等

2010.4－2011.3, 野島断層活用委員会, 委員, 淡路市教育委員会。

2010.5－2011.3, 貴重な野生生物等（地形・地質・自然景観）専門委員会, 委員, 兵庫県農政環境部環境創造局。

相談・指導助言

来訪者 15 件, 30 名。電話・FAX 相談 20 件, メール相談 60 件。

2010.4－2010.10, 地震ポスター作成についての指導・助言, 株式会社ほくだん。

2010.8, 野島断層保存館内のカイズカイズキの疲弊に対する助言, 淡路市教育委員会。

2010.8, 兵庫県南部地震関連パネルの提供について, 神奈川県民。

2010.10-11, 中央構造線断層帯の活動について, 南あわじ市民。

2010.10, 南海地震関連パネルの提供について, 兵庫県淡路県民局。

2010.12, 野島断層保存館内の地震断層の保存・修復作業の指導・助言, 淡路市教育委員会。

2011.1, グラグラボ（活断層ラボ）の液状化実験展示（エッキー等）の作成, 淡路市教育委員会。

2011.1, 台湾 921 地震教育園区, 車龍甫断層保存館内の地震断層の保存・修復に関する指導・助言・作業。台湾国立自然科学博物館。

2011.2, グラグラボ（活断層ラボ）の展示に関する質問について。株式会社ほくだん。

2011.3, 断層の種類に関する質問について。株式会社ほくだん。

■学会開催等支援

2010.5, International Field Conference and Workshop on Tephrochronology, Volcanism and Human Activity-Active Tephra in Kyushu, 2010, Kokubu Civic Centre, Kirishima City Hall, Kirishima City, Kagoshima Prefecture, Chairman.

古谷 祐, Hiroshi FURUTANI

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 准教授.

昭和27年島根県生. 名古屋大学大学院理学研究科博士課程単位取得満了. 理学博士. 日本地質学会, 日本古生物学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. タスクフォース

サブリーダー 化石大集合 2010ー過去に起こった生物大量絶滅事件ー展示統括,

<研究開発>

■特別課題研究(個人研究)

1. 古生代放散虫化石の研究
2. 兵庫県内の中・古生層の研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究代表者.
部門研究「地形・地質・化石等を軸にした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎加藤茂弘・半田久美子・古谷 裕・奥岸明彦・高橋 晃・八木 剛(2010) 中国山地東部の福知川上流に分布する福知泥炭層の堆積年代と成因(予報). 人と自然, No.21, 109-119.

■ブログへの情報提供

2件

■助成を受けた研究

恐竜発掘を素材にした, 地域と博物館をつなぐ学習プログラムの構築. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究分担者(金額 110 万円/370 万円).

2. 資料収集・整理

■資料収集

- 2011.2 含化石岩石資料, 和歌山県広川町
2011.3 含化石岩石資料. 高知県越知町.

■整理同定担当資料

無脊椎動物化石

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 古谷 裕・(株) マキイズ, 「親子でチャレンジ! チョコレートで化石のレプリカづくり」, 博物館 (2 回, 28 名)
古谷 裕, 2010.8, 「いろいろな化石をいろいろな方法

で見る」, 博物館, (19 名)

古谷 裕「地層の見方・調べ方 in 淡路」, 南あわじ市 (6 名)

古谷 裕「地層の見方・調べ方 in 丹波」, 篠山市・丹波市 (19 名)

古谷 裕, 2010.8, 「いろいろな化石をいろいろな方法で見る」, 新温泉町. (15 名)

古谷 裕, 2010.8, 「丹波地域の微化石」, 博物館, (6 名)

古谷 裕, 2010.9, 「顕微鏡で見る化石」, 南あわじ市. (9 名)

◎古谷 裕, 2009.4~2010.3, 「オープンセミナー, 顕微鏡で見る化石」, 博物館, (8 回, 364 名)

古谷 裕, 2009.5~2009.11 「オープンセミナー, 恐竜ラボ&展示解説」, 博物館, (7 回, 132 名)

古谷 裕, 解説, 化石大集合 2011.2~2011.3 「オープンセミナー, 解説, 化石大集合 2010」(3 回, 77 名)

古谷 裕・フロントスタッフ, 2011.3 「フカタン, 石ころを探そう」, 博物館・深田公園, (19 名)

古谷 裕, 2010.5, 「特注セミナー, 化石について」, 篠山市国際理解センター, 博物館, (31 名)

古谷 裕, 2010.7, 「特注セミナー, 丹波の恐竜化石について, 展示解説」, 兵庫県中小企業組合士協会, (20 名)

古谷 裕, 2010.7, 「特注セミナー, 丹波の地層と化石」, シニア自然大学「緑組」, (54 名)

古谷 裕, 2010.7, 「特注セミナー, 恐竜の話と展示解説」, 沼島公民館, (15 名)

古谷 裕, 2010.7, 「特注セミナー, 丹波の地層と化石」, 大阪シニア自然カレッジ, (14 名)

古谷 裕, 2010.8.5, 「特注セミナー, 篠山層群の地層と化石」, 日本生物教育界兵庫大会, (18 名)

古谷 裕, 2010.10, 「特注セミナー, 丹波の地層と恐竜化石」, 放送大学兵庫同窓会, (15 名)

古谷 裕, 2010.11, 「特注セミナー, 三田小学校周辺の地層・岩石・化石」, 三田小学校, (116 名)

古谷 裕, 2010.11, 「特注セミナー, ひとはくでの学校向けプログラム事例紹介」, 中国教育旅行ファムトリップ, (11 名)

古谷 裕, 2010.12, 「特注セミナー, 淡路島南部の地層・化石・石ころ」南あわじ市立灘小学校, (19 名)

古谷 裕, 2010.12, 「特注セミナー, ゆりのき台小学校周辺の地層と石ころ」, 三田市ゆりのき台小学校 (89 名)

古谷 裕, 2010.12, 「特注セミナー, 顕微鏡で見る化石」, 大阪府立豊中高等学校, (52 名)

古谷 裕・山崎義人・藤本真里, 2010.10, 「竜と獣のみち学連続セミナー, 福井県立恐竜博物館見学」, 勝山市, (31 名)

古谷 裕・山崎義人・藤本真里, 2010.12 「竜と獣のみち学入門編」, 篠山市, 丹波市, (名)

館外講演など

古谷 裕, 2009.6, 「文体地球学セミナー 篠山層群・丹波帯の地層と化石」, 兵庫県立文化体育館, 講師, (22 名).

古谷 裕, 2009.7, 「宝塚市民カレッジ 本科・宝塚学コース 古生物・地質学から見た宝塚」, 宝塚市立東公民館, 講師, (30 名)

古谷 裕, 「親子で楽しむ夏休み 化石のレプリカをつくろう」, サンピア明石, 講師, (35 名)

古谷 裕, 2010.2 「いきいき学舎フレミラ 街の中で化石探し, 宝塚で見られる地層と化石」, 講師, フレミラ宝塚 (63 名)

古谷 裕, 2010.2 「超丹波帯の時代, 古生代とは?」, 丹波市青垣公民館, 講師, (15 名)

兵庫県立大学・大学院教育

共生博物学 (分担)

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2009.4~2010.3 「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」

セミナー担当

2009.6 丹波地域「超丹波帯の時代, 古生代とは」(講師)

2010.2 丹波地域 「超丹波帯の時代, 古生代とは?」(講師)

■ミニキャラバン事業

2011.2, 「おゆまるを使った化石のレプリカ作り, 淡路青少年交流の家に博物館がやって来た!」, 国立淡路青少年交流の家. (55 名)

2011.2 「和泉層群とその化石」, 国立淡路青少年交流の家, 南あわじ市 (名)

■連携事業

連携グループ等

南あわじ地学の会 (主担当)

篠山層群をしらべる会 (顧問)

共催事業

2010.4~2010.5, GW フェア 「兵庫の恐竜化石ー丹波竜の仲間たち」, 丹波の森ショッピングタウン (資料貸し出し, 展示製作)

2010.4~2010.5, 「南あわじ市産化石展」 ジャスコ南淡路店, 資料選定, 発送

2010.12, 「恐竜子ども夢フォーラム」丹波市, (分担者)

2010.12, 「小・中学生のための科学学習体験ツアー」, 兵庫県科学技術協会, 丹波市山南町

2011.1, 野島断層普及講演会, (分担者)

■学校教育支援

学校団体対応

2010.11, 三田市立三田小学校, (116 名)

2010.12, 南あわじ市立灘小学校, (19 名)

2010.12, 三田市立ゆりのき台小学校, (89 名)

2010.12, 大阪府立豊中高等学校, (52 名)

講師派遣

2010.4, 「兵庫の化石」, 春の公民館講座, 講師, 芦屋市

公民館 (21 名)

2010.6, 「野島断層と和泉層群」, 丹波シニアカレッジ, 講師, (16 名)

2010.7, 「古生物・地質学から見た宝塚」, 宝塚市立東公民館, 講師, (30 名)

2010.7, 「地層の見方・調べ方 in 淡路」, 神戸市, 講師, (200 名)

2010.11, 「丹波の地層と化石」, 福崎町, 老人大学祭, 講師, (200 名)

2010.12, 「宝殿中学校周辺の石ころの秘密」, 高砂市立宝殿中学校, 講師, (名)

2011.1, 「中央小学校周辺の地層・岩石・化石」, 丹波市立中央小学校, 講師, (名)

2011.2, 「宝塚で見られる地層と化石」, 篠山市立八上小学校, 講師, (名)

2011.2, 「街の中で化石探し」, 西宮市立神原小学校, 講師, (名)

2011.2, 「第一小学校周辺の岩石・地層・石ころ・化石」, 洲本市立洲本第一小学校, (名)

2011.2, 「楠丘小学校周辺の地層・石ころ・化石」, 西脇市立楠丘小学校, (名)

2011.2, 「丹波の化石ㄆ, 明石の化石」, 明石市立天文学館, (20 名)

■フェスティバル等

2010.11, ひとくフェスティバル, 「チョコレートを使った化石のレプリカづくり」(責任者).

■展示

企画展

2010.10.25 - 2009.5.31, 企画展「丹波の恐竜を知ろう」(分担者).

2.シンクタンク事業

■受託研究

野島断層の保存・活用に関する研究 (研究分担者), 淡路市教育委員会, 金額 27 万円.

■収蔵庫・ジーンファームの公開

■行政支援

委員会等

2010.9 - 丹波市山南町丹波竜化石工房展示更新監修.

相談・指導助言

来訪者 10 件, 12 名. 電話・FAX 相談 11 件, メール相談 2 件.

三枝 春生, Haruo SAEGUSA

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学部門
准教授.

昭和33年東京都生. 京都大学大学院理学研究科博士課程
修了. 理学博士. 日本古生物学会, 日本地質学会, 日本
人類学会, Society of Vertebrate Paleontology, 化石研究会
等所属.

＜事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事＞

1.タスクフォース

サブリーダー, 発掘担当

＜研究開発＞

■特別課題研究（個人研究）

- 1.後期新生代の長鼻類の系統進化に関する研究
- 2.恐竜を中心とした兵庫県産の脊椎動物化石

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の
地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.
部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテ
ンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

**Sanders, W. J., E. Gheerbrant, J. M. Harris, C. Delmer, and
H. Saegusa** (2010) Proboscidea. In L. Werdelin and W. J.
Sanders (eds.), *Cenozoic Mammals of Africa*, 161-251,
The University of California Press.

◎**三枝春生**・田中里志・池田忠広 (2010) 兵庫県丹波市の下
部白亜系篠山層群産の恐竜類の歯に関する予察的観察お
よび丹波竜脚類の含気骨化に関する追記化石研究会会
誌42(2): 52-65.

◎**三枝春生**・田中里志(2010) 神戸層群吉川層の哺乳類化石と
その発掘地における堆積相 (予報). 化石研究会会誌42(2):
83-94.

◎**Saegusa, H.** and Tomida, Y. (2010) Titanosauriform teeth
from the Cretaceous of Japan. *Anais da Academia
Brasileira de Ciências*, 83(1): 247-265.

■その他著作

古生物学会編 (2010) 古生物学事典 第2版 朝倉書店,
「ゴンフォテリウム」「アケボノゾウ」「ステゴドン」
の項目を分担執筆.

◎**Ikeda, T., Saegusa, H. and Handa, K.** (2011) A fossil anuran
from the Lower Cretaceous Sasayama Group of Hyogo
Prefecture, SW Japan. *Abstracts of Papers, Seventieth
Anniversary Meeting, Society of Vertebrate Paleontology*, 109A.

恐竜・化石タスクフォース編 (2011) ひとくはく恐竜・化
石プロジェクト中間報告書を分担執筆.

■研究発表

◎**三枝春生**・池田忠広・半田久美子 (2010) 兵庫県丹

波市の篠山層群より産出した竜脚類の種・属レベル
の分類について. 日本古生物学会 2010 年年会, 筑波大学,
つくば市.

◎**Ikeda, T., Saegusa, H. and Handa, K.** (2011) A fossil anuran
from the Lower Cretaceous Sasayama Group of Hyogo
Prefecture, SW Japan. 70th Annual Meeting, Society of
Vertebrate Paleontology, David L. Lawrence Convention Center,
Pittsburgh, PA, USA.

◎**楠橋 直**・三枝春生・池田忠広・田中里志 (2010) 兵
庫篠山市の篠山層群”下部層“より産出した前期白亜
紀真獣類化石. 日本古生物学会第 160 回例会, 高知大学,
高知市.

国府田良樹・小池 渉・永瀬卓也・三枝春生・安藤寿
男・飯泉克典・高橋修一・長谷川善和 (2010) 山形
県鶴岡市から発見された中期中新世長鼻類
Stegolophodon 属のボーンベッド. 日本古生物学会第
160 回例会, 高知大学, 高知市.

■学会役員など

2010.4, *Journal of Vertebrate Paleontology*, レフェリー

2010.11, *Paleontological Research*, レフェリー

2011.3, *Before Farming: the archaeology and anthropology of
hunter-gatherers*, レフェリー

2011.3, 大阪自然史博物館研究報告, レフェリー

■助成を受けた研究

篠山層群産恐竜化石の研究. 文部科学省科学研究費基
盤研究(B), 研究代表者(金額 481 万円/1481 万円).

■海外調査

2010.6 ミャンマー・バガン, タイ, ナコンラチャシ
マラオス・サヴァナケット

2010.8 モンゴル・ウランバートル

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.12-2011. 2, 丹波市産恐竜化石の発掘, 丹波市.

■受贈担当資料

2010.9, 三重県鳥羽産竜脚類歯化石レプリカ, 2 点.

■整理同定担当資料

脊椎動物化石 (哺乳類, 恐竜類).

＜事業推進＞

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎**三枝春生**, 2010.4-2010.9, 「オープンセミナー・解説!
丹波の恐竜化石」, 博物館. (全 6 回, 132 名)

三枝春生, 2010.5, 「丹波の恐竜化石第四次発掘報告会」,
博物館. (25 名)

◎**三枝春生**, 2010.6, 「化石や動物の歯のレプリカを作
ろう」, 博物館. (9 名)

三枝春生, 2010.8, 特注セミナー「丹波の恐竜化石 研
究の現状と展望」, 日本生物教育会兵庫大会, 博物館.
(18 名)

三枝春生, 2010.8, 特注セミナー「竜と獣の道学・連続セミナー「丹波の恐竜化石」1/6」, 博物館. (32名)
 三枝春生, 2010.10, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」, 千葉県立佐原高等学校, 博物館. (41名)
 三枝春生, 2010.11, 「兵庫の恐竜」, 県立有馬高等学校連携セミナー, 博物館. (41名)
 三枝春生, 2010.11, 「三田哺乳類化石産地見学会」, 化石発掘体験広場・博物館. (8名)
 三枝春生, 2010.11, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」, 大阪府立生野高等学校, 博物館. (64名)

館外講演など

三枝春生, 2010.5 近畿科学教育研究集会記念講演, 「丹波の恐竜時代」, 科学教育研究協議会近畿ブロック, 武庫川女子大学附属中学校・高等学校 (163名)
 三枝春生, 2010.6 兵庫県病院協会定期総会記念講演, 「兵庫の恐竜-篠山層群に眠る中生代の脊椎動物たち-」, 兵庫県病院協会, 兵庫県医師会館2階大会議室 (85名)
 三枝春生, 2010.9TAMBA シニアカレッジ講座, 「丹波の恐竜化石-調査研究の現状と展望」, 博物館 (80名)
 三枝春生, 2010.9 篠山層群化石市民講座, 「丹波の恐竜化石-調査研究の現状と展望」, 篠山市教育委員会, 篠山市民センター (50名)
 三枝春生, 2010.10 兵庫県阪神シニアカレッジ講座, 「獣の進化」, 阪神シニアカレッジ宝塚学習室 (109名)
 三枝春生, 2010.12 恐竜子ども夢フォーラム「子どもの頃に夢見た恐竜の世界～恐竜の世界・不思議・魅力をフォーラム参加者と語ろう!～」, 丹波市, 丹波市立やまなみホール
 三枝春生, 2010.12 恐竜子ども夢フォーラム, 「サイエンスカフェ 日本の化石とモンゴルの化石の違い」, 丹波市, 山南住民センター

兵庫県立大学・大学院教育

共生博物学 (野外実習分担)

ラジオ・テレビ等出演

2010.5.20, 「朝生ワイドす・またん」, YTV
 2010.11.28, 「ダーウィンが来た!」, NHK 総合
 2011.1. 7, 曲竜類 (鎧竜) の歯の化石の発見に関するニュース, 関西テレビ, 読売テレビ, ABCテレビ, 毎日テレビ, NHK, サンテレビ
 2011.3. 30, 丹波の恐竜化石第5次発掘調査結果報告に関するニュース, NHK

■連携事業

連携グループ等

篠山層群をしらべる会 (主担当)
 ラボーンズ (副担当)

協力事業

2010.6-2011.3, 丹波竜化石工房 (ちーたんの館) 拡充工事, 丹波市恐竜を活かしたまちづくり課 (展示監修・制作)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2010.6.9-6.11, 三田市立上野台中学校 1名, 三田市立狭間中学校 1名, 三田市立けやき台中学校 1名.

■展示

企画展

2010.4.24-2010.9.5, 企画展「丹波と恐竜を知ろう 2010ー第4次発掘報告」(分担者).
 2010.10.2-2011.4.10, 特別企画「化石大集合 2010ー過去に起こった生物大量絶滅事件ー」(分担者)

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫の案内, 1回, 10名.

■行政支援

委員会等

2010.5, 三重県職員採用選考における試験員, 三重県.
 2010.5-2011.3, 貴重な野生生物等 (地形・地質・自然景観) 専門委員会, 委員, 兵庫県農政環境部環境創造局.

2010.6, 篠山市展示室愛称の選考委員, 篠山市.

2010.6-2011.3, ミエゾウ全身骨格復元検討委員会, 委員, 三重県.

相談・指導助言

来訪者 2件, 3名. 電話・FAX 相談 3件, メール相談 2件.

2010.4-, 丹波市山南町「ちーたんの館」, 展示指導 (株) 日展.

半田 久美子, Kumiko HANDA

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ／生涯学習推進室

主任研究員

昭和45年栃木県生。大阪市立大学理学研究科前期博士課程修了。理学修士。日本植生史学会，日本花粉学会，日本第四紀学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

生涯学習推進室，フェスティバルマネージャー，ひとはくフェスティバル2010の実行委員会事務局長として企画運営

2.タスクフォース

発掘担当，山南化石工房クリーニングスタッフ支援担当，第4次発掘速報展担当，中間報告書編集担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究（個人研究）

- 1.新生代における植生・植物相の変遷史
- 2.花粉の形態分類学的研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」，研究分担者。部門研究「兵庫県下の自然史資料の調査・発掘と活用に関する研究」，研究分担者。

■論文・著書

◎加藤茂弘・半田久美子・古谷 裕・奥岸明彦・高橋晃・八木 剛(2010) 中国山地東部の福知川上流に分布する福知泥炭層の堆積年代と成因(予報)。人と自然，21,109-119。

■ブログへの情報提供

1件

■研究発表

Handa K., Ikeda, T. and Fujiwara, T. (2010) Early Pleistocene fossil pollen flora from the lowest part of Osaka Group in the Yamashiro Hills, Kyoto. 3rd International Metasequoia Symposium, 大阪自然史博物館，大阪市。

◎Takahashi, A., Handa, K., Katoh, S. and Furutani, H. (2010) Wood and pollen assemblages in the early Holocene at the Fukuchi Valley in Hyogo prefecture, Japan. 3rd International Metasequoia Symposium, 大阪自然史博物館，大阪市。

◎三枝春生・池田忠広・半田久美子(2010) 兵庫県丹波市の篠山層群より産出した竜脚類の種・属レベルの分類について。日本古生物学会2010年年会，筑波大学，つくば市。

■学会役員など

日本花粉学会，図書幹事。

日本植生史学会，編集書記。

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.5-10，福知溪谷の泥炭層調査。宍粟市。

2010.6-12，神戸層群植物化石調査。小野市，神戸市須磨区，西区。

2010.12-2011.2，篠山層群産恐竜化石発掘。丹波市。

■受贈担当資料

2010.9，葉脈標本（横山章コレクション）。305点。

2010.10，篠山層群産珪化木（宮津コレクション）。2点。

2010.10，神戸層群産珪化木（宮津コレクション）。30点。

2010.10，神戸層群産珪化木。1点。

2010.12，神戸層群産珪化木（吉川町湯谷産）。1点。

■整理同定担当資料

植物化石。

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

半田久美子，2010.5，「ミツバチは何の花に行っている？」，人と自然の博物館。（11名）

半田久美子，2010.8，「珪化木の見つけ方」，人と自然の博物館。（8名）

半田久美子，2010.8，「植物化石のクリーニング」，人と自然の博物館。（18名）

◎半田久美子，2010.4-2010.12，「恐竜ラボ&展示解説」，人と自然の博物館。（6回，149人）

◎半田久美子ほか，2010.9，「君も発掘調査隊員！丹波の恐竜化石を探しだそう」，人と自然の博物館。（42人）

半田久美子，2010.6，「ミツバチは何の花に行っている？」，武庫川女子大学 三宅研究室，講師，人と自然の博物館（7名）。

半田久美子，2010.7，「丹波の恐竜化石」，シニア自然大学「花組」，講師，人と自然の博物館（45名）。

館外講演

半田久美子，2010.10，竜と獣の道学連続セミナー「恐竜時代の植物」，たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会，講師，人と自然の博物館（29名）

半田久美子，2010.9，「植物化石から見る神戸の太古の森」，六甲山魅力再発見市民セミナー第90回，講師，六甲山自然保護センター。（37名）

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

展示作成

2010.1. 学校キャラバン（猪名川町立楊津小学校）神戸層群の植物化石と珪化木

■学校教育支援

学校団体対応

2010.4, 京都府立桃山高等学校 1 年生 (86 名) .

2010.4, 兵庫県立宝塚北高等学校 1 年生 (42 名) .

講師派遣

2010.5-2011.2, 「プロジェクト学習」, 講師, 兵庫県立
大学附属中学校 3 年生 (4 名) .

■研究生等の受入

博物館実習

2010.8. 京都外国語大学, 岡山理科大学 (2 名)

卒論生等

2009.4.1-2011.3.31, 仁木 佐知恵 (神戸女学院大学 人間
科学研究科 環境科学分野 前期博士課程), セイヨウミ
ツバチの植物利用の在来種に与える影響.

■フェスティバル等

2010.11 ひととはくフェスティバル (フェスティバルマネ
ージャー・実行委員会事務局長) .

■展示

ミニ企画展

2010.4.24-9.5, 特別企画「丹波と恐竜を知ろう 2010-第
4 次発掘報告」(責任者)

2010.10.2-2011.4.10, 特別企画「化石大集合 2010-過去
に起こった生物大量絶滅事件」(分担者)

2010.12.3-, 白亜紀の丹波. 丹波竜化石工房「ちーたん
の館」展示作成 (分担者)

2010.2.5-2010.3.31, トピックス展「新着資料 横山章
葉脈標本コレクション」(責任者)

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等

2010.7- 2011.3 加東市とひととはく協力協定連携推進会
議委員

相談・指導助言

来訪者 5 件, 10 名. 電話・FAX 相談 3 件, メール相談
1 件.

松原 尚志, Takashi MATSUBARA

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ／研究・シンクタンク推進室
主任研究員

昭和43年宮城県生. 東北大学大学院理学研究科地学専攻
単位取得退学. 博士(理学). 日本古生物学会, 日本貝類
学会, 日本地質学会, The Paleontological Society (United
States)所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

地域担当(但馬担当) 山陰海岸ジオパークフォーラム
参加 (2010.5), 山陰海岸ジオパークフェスティバル
2010 イベント支援 (2010.11), 山陰海岸ジオパーク
GGN 加盟認定記念国際シンポジウム (2011.2)参加.

2.タスクフォース

特別企画「丹波と恐竜を知ろうー第4次発掘報告ー」,
特別企画「化石大集合 2010ー過去におこった生物大
量絶滅事件ー」. ポスター・チラシデザイン.

3.研究開発部門

資料・データバンク整備活用担当, 資料担当.

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

- 1.新生代貝類の分類・古生態・古生物地理に関する研究
- 2.日本の古生物学史に関する研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の
地球科学的研究と自然史学習の展開」, 研究分担者.
部門研究「地形・地質・化石等を軸にした学習コンテ
ンツの探索とその活用に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

Matsubara, T. (2010) *Cerithium harzhauseri* nom. nov., a
new replacement name for *Cerithium archiaci*
Vredenburg, 1928, non *Cerithium archiaci* Hébert and
Renevier, 1854 (Mollusca: Gastropoda). *Paleontological
Research*, 14, 81-82.

◎松原尚志 (2010) 篠山層群. 日本古生物学会編, 古
生物学事典 第2版, 203. 朝倉書店(分担執筆).

◎Matsubara, T. (2011) Miocene shallow marine molluscs
from the Hokutan Group in the Tajima area, Hyôgo
Prefecture, southwest Japan. *Bulletin of the Mizunami
Fossil Museum*, no. 37, 51-113.

◎Matsubara, T., Kurita, H. and Matsuo, H. (2010) Eocene
Mollusca from the Tainohata Formation in Kôbe City,
southwest Japan. *Paleontological Research*, 14, 119-144.

松原尚志・佐々木猛智・伊藤泰弘 (2010) 日本人によ
る最初の新生代貝類の記載論文(巨智部, 1883) とそ
の図示標本の発見について. 化石, no. 88, 39-48.

松原尚志・佐々木猛智・伊藤泰弘・天野和孝 (2010) 東
京大学総合研究博物館所蔵の新生代化石貝類タイプ
標本図説 8.オキシジミ属(マルスダレガイ科). ち
りぼたん, 40, 148-154.

松原尚志・佐々木猛智・伊藤泰弘・天野和孝 (2010) 東
京大学総合研究博物館所蔵の新生代化石貝類タイプ
標本図説 9.サドニシキ(イタヤガイ科). ちりぼた
ん, 40, 155-158.

松原尚志・佐々木猛智・伊藤泰弘・天野和孝 (2010) 東
京大学総合研究博物館所蔵の新生代化石貝類タイプ
標本図説 10.キタノオナガトリガイ属. ちりぼたん,
41, 26-31.

Sasaki, T. and Matsubara, T. (2010) Fossil collection of
Philipp Franz von Siebold: General characteristics and
remarks on molluscan specimens. *The University
Museum, The University of Tokyo, Bulletin*, no. 45,
213-247.

■その他著作

◎松原尚志 (2010) 日本列島の前期中新世後期古地
理・古生物地理の改訂. 日本地質学会第117年学
術大会講演要旨, 119.

◎松原尚志 (2010) 平瀬興一郎の編著書のWeb公開
について. ちりぼたん, 40, 165.

松原尚志・塩見良三 (2010) 岩滝コアの貝類遺骸群
集と阿蘇海の古環境. 植村善博編, 京丹後市久見
浜湾の古環境と形成過程ー阿蘇海・天橋立との比
較ー, 105-110.

■研究発表

◎松原尚志 (2010) 日本列島の前期中新世後期古地理・
古生物地理の改訂. 日本地質学会第117年学術大会.
富山大学, 富山市.

◎松原尚志 (2011) 兵庫県但馬地域の中新統北但層群
産浅海性貝類化石群. 日本古生物学会第160回例会,
高知大学, 高知.

松原尚志 (2011) 日本産新第三紀-現生 Crassatellidae モ
シオガイ科について. 日本古生物学会第160回例会
夜間小集会「現生種最古の化石記録を探る: 貝類版
EOS 計画」, 高知大学, 高知.

松原尚志・佐々木猛智・伊藤泰弘 (2010) 日本人によ
る最初の新生代化石貝類の記載論文(巨智部, 1883)
の図示標本の発見について. 日本古生物学会 2010
年年会, 筑波大学, つくば市.

松原尚志・鶴飼宏明・小笠原憲四郎・栗田裕司・入佐
友弥 (2010) 長崎県佐世保層群加勢層の貝類化石群.
日本古生物学会 2010 年年会, 筑波大学, つくば市.

■学会役員など

日本貝類学会, 「ちりぼたん」編集委員.
日本古生物学会「Paleontological Research」レフェリー.
日本貝類学会「Venus」レフェリー.

■助成を受けた研究

日本産古第三紀内湾性貝類化石群の時代的変遷に関す
る研究. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代

表者（金額 110 万円）。

中国地方における第三系の年代と地質学的背景の再検討。文部科学省科学研究費基盤研究(C)，研究分担者（金額 20 万円／40 万円；代表者 澤田順弘）。
最古の現生種の化石記録から探る現生貝類群集の成立：その時期と古環境背景。文部科学省科学研究費基盤研究(C)，研究分担者（金額 23 万円／150 万円；代表者 近藤康生）。

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.10, 漸新統佐世保層群産貝類化石。長崎県・佐賀県。
2010.11, 漸新統日置層群産貝類化石。山口県。
2011.3, 始新統浪形層産貝類化石。岡山県。
2011.3, 始新統小巖山層産貝類化石。熊本県。

■整理同定担当資料

中生代～新生代貝類化石。
地質・古生物学文献資料。

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

松原尚志, 2010.5, 「兵庫の化石」, 高校連携セミナー, 博物館。(84 名)
松原尚志, 2010.5, 「兵庫の化石モバイルをつくろう」, 博物館。(1 名)
松原尚志, 2010.10, 「小さな化石の抽出と観察」, 博物館。(1 名)
◎松原尚志, 2010.7-12, 「恐竜ラボ&展示解説」, 博物館。(全 5 回, 159 名)

館外講演など

松原尚志, 2010.11, 竜と獣の道学 第 6 回「兵庫の化石」。丹波恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会, 博物館 (34 名)。

■連携事業

共催事業

2010.11, ひとくフェスティバル「君も発掘隊員!! 丹波の恐竜化石をさがしだそう」。篠山層群をしらべる会, 博物館 (全 3 回 102 名)。

協力事業

篠山層群をしらべる会月例会 (8 月), 「篠山層群下部層の地層観察 + 篠山層群の研究の現状」。篠山市大山下, 兵庫県立丹波並木道中央公園 (10 名)。

■学校教育支援

学校団体対応

2011.2, 岡山大学理学部 (8 名)。

■研究生等の受入

博物館実習

2010.8.7, 京都外国語大学, 岡山理科大学総合情報学部 学生各 1 名。

卒論生等

2010.11, 野呂一恵 (島根大学総合理工学部 4 年生), 島根県中新統布志名層・市部層浅海性貝化石群集。

■フェスティバル等

2010.11, ひとくフェスティバル, 「君も発掘隊員!! 丹波の恐竜化石をさがしだそう」(責任者), 「恐竜ラボ&展示解説」(責任者)。

■展示

企画展

2010.4.24-2010.9.5, 特別企画「丹波と恐竜を知らうー第 4 次発掘報告ー」(分担者)。
2010.10.2-2011.4.10, 特別企画「化石大集合 2010ー過去におこった生物大量絶滅事件ー」(分担者)。

ミニ企画展

2010.7.10-9.5, トピックス展「神戸市須磨区から新種の貝化石 10 種を発見!!」(責任者)。
2010.3.5-4.10, トピックス展「ミキヒメザルガイー但馬で見つかった新種の化石二枚貝」(責任者)。

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 3 回, 10 名。

■行政支援

委員会等

なし

相談・指導助言

来訪者 5 件, 12 名。電話・FAX 相談 8 件, メール相談 20 件。

■学会開催等支援

2011.2, 日本古生物学会第 160 回例会夜間小集会「現生種最古の化石記録を探る：貝類版 EOS 計画」世話人。

池田 忠広, Tadahiro IKEDA

自然・環境評価研究部
埋蔵自然遺産研究グループ
研究員

昭和53年鹿児島県生。鹿児島大学大学院理工学研究科博士課程生命物質システム修了。理学博士。日本古生物学会、日本爬虫両棲類学会、Society of Vertebrate Paleontology 所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

地域担当：阪神

2.タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース（発掘担当）

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究（個人研究）

- 1.下部白亜系篠山層群産小型両生爬虫類化石の分類学的研究
- 2.日本および琉球列島産蛇類椎骨化石の分類学的研究

■共同研究

総合共同研究「篠山層群分布域およびその周辺地域の地球科学的研究と自然史学習の展開」、研究分担者。部門研究「地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究」、研究分担者。

■論文・著書

◎三枝春生・田中里志・池田忠広（2010）兵庫県丹波市の下部白亜系篠山層群産の恐竜類の歯に関する予察的観察および丹波竜脚類の含気骨化に関する追記。化石研究会会誌, Vol. 42(2):52-65.

■その他著作

◎IKEDA Tadahiro, Haruo Saegusa, and Kumiko Handa. 2010. A fossil anuran from the Lower Cretaceous Sasayama Group of Hyogo Prefecture, SW Japan. Journal of Vertebrate Paleontology, 30(4, supplement): 109A.

◎池田忠広（2010）丹波市山南町の下部白亜系篠山層群から発見されたカエル類化石。人博図鑑, 人博新聞(12月25日).

■ブログへの情報提供

2件

■研究発表

◎Ikeda Tadahiro, Haruo Saegusa, and Kumiko Handa. 2010. A fossil anuran from the Lower Cretaceous Sasayama Group of Hyogo Prefecture, SW Japan. 70th Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, Westin Convention Center Pittsburgh Pittsburgh, Pennsylvania USA.

高橋亮雄・中村泰之・池田忠広・太田英利（2010）化石や遺骸残留物が示す第四紀の琉球列島における爬虫・両生類の種組成の変動。日本爬虫両棲類学会

口頭発表 横浜市港北区日吉 4-1-1 慶応大学日吉キャンパス来往舎 2010年10月9日

太田英利・向高世・呉書平・池田忠広（2010）台湾産ヒバカリ属の1種について。日本爬虫両棲類学会口頭発表 横浜市港北区日吉 4-1-1 慶応大学日吉キャンパス来往舎 2010年10月9日

楠橋 直・三枝春生・池田忠広・田中里志（2011）兵庫県篠山市の篠山層群“下部層”より産出した前期白亜紀真獣類化石。日本古生物学会 2011年第160回例会, 高知大学

■助成を受けた研究

篠山層群産恐竜化石の研究。文部科学省科学研究費基盤研究(B), 研究分担者（金額110万円/480万）

■海外調査

2010.9, モンゴル・ウランバートル, モンゴル科学アカデミー古生物学研究所

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.12-2011.2 下部白亜系篠山層群産恐竜化石の発掘。丹波市, 兵庫県。

■整理同定担当資料

小型脊椎動物化石（無尾類・有鱗類）

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎池田忠広, 2010.4-9, 「恐竜ラボ&展示解説」, 博物館。（全5回, 127名）

池田忠広, 2010.4, 「丹波の恐竜化石発掘」, 博物館。（全1回, 166名）

池田忠広, 2010.4.12, 「篠山層群から発見された恐竜化石」, 博物館。（全2回, 148名）

◎池田忠広, 2010.5-10, 「君も発掘隊員!! 丹波の恐竜化石をさがしだそう」, 博物館。（全6回, 438名）

池田忠広, 2010.5, 「ヘビの世界」, 博物館。（全1回, 6名）

池田忠広, 2010.6, 「有鱗類の化石」, 博物館。（全1回, 5名）

大田英利・高橋晃・池田忠広・上田萌子, 「西表島の生き物の野外観察」, 沖縄県西表島・博物館。（全6回, 100名）

池田忠広, 2010.7, 11, 「丹波の恐竜化石」, 博物館。（全4回, 194名）

池田忠広, 2010.7, 「丹波の恐竜化石, 発掘体験ツアー」, 博物館。（全1回, 49名）

池田忠広, 2010.7, 「恐竜について学ぼう!」, 博物館。（全1回, 16名）

池田忠広, 2010.9, 「恐竜時代の動物たち」, 竜と獣の道学・連続セミナー, 篠山市黒豆の館。（全1回, 35名）

館外講演など

池田忠広, 2010.8, 「篠山層群から産出した恐竜化石」,
青少年のための科学の祭典, 講師, 兵庫県立東播磨
生活創造センター (39 名).

池田忠広, 2010.9, 「丹波の恐竜化石現場解説」, TAMBA
シニアカレッジ, 講師, 丹波市山南町恐竜化石発掘
現場 (15 名).

池田忠広, 2010.10, 「恐竜について勉強しよう」, 篠山
市太古の生き物係り課, 篠山市西紀支所 (54 名).

池田忠広, 2010.10, 「篠山層群から産出した恐竜化石」,
図書に親しむ教養講座, 講師, いちかわ図書館 (36
名).

池田忠広, 2010.11, 「恐竜ってなんだろう?」, 家庭教
育講演会, 講師, 伊丹市スワンホール (160 名).

池田忠広, 2010.11, 「篠山層群から産出した恐竜化石」,
講師, 兵庫県立大学山南スタジオ (24 名).

池田忠広, 2010.11, 「恐竜について学ぼう」, 特別授業,
講師, 篠山市立城北小学校 (37 名).

池田忠広, 2011.13, 「恐竜について学ぼう」, 特別授業,
講師, 篠山市立西紀南小学校 (23 名).

ラジオ・テレビ等出演

2010.8, 「カエルの全身骨格化石」, NHK

2011.1, 「時間です! 林編集長」, ラジオ関西

■連携事業

連携グループ等

篠山層群をしらべる会 (副担当)

ラボーンズ (主担当)

共催事業

協力事業

2010.12, 新丹波竜化石工房「ちーたんの館」, 丹波市
恐竜を活かしたまちづくり課 (展示制作)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2010.6.9-6.11, 三田市立上野台中学校 1 名, 三田市立狭
間中学校 1 名, 三田市立けやき台中学校 1 名.

学校団体対応

2010.4, 追手門学院小学校 6 年生 (156 名).

2010.4, 兵庫教育大学附属中学校 (100 名).

2010.7, あかしあ台小学校家庭教育学級 (37 名).

2010.12, 県立加古川東高等学校 (40 名)

講師派遣

池田忠広, 2010.11, 「恐竜について学ぼう」, 特別授業,
講師, 篠山市立城北小学校 (37 名).

池田忠広, 2011.13, 「恐竜について学ぼう」, 特別授業,
講師, 篠山市立西紀南小学校 (23 名).

■展示

企画展

2010.4.24-2010.9.5, 企画展「丹波と恐竜を知ろう 2010
—第 4 次発掘報告」(分担者).

2010.10.2-2011.4.10, 企画展「化石大集合 2010—過去に
起こった生物大量絶滅事件—」(分担者).

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

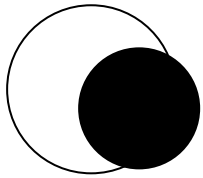
生物系収蔵庫等の案内, 1 回, 14 名.

■行政支援

相談・指導助言

来訪者 2 件, 2 名. 電話・FAX 相談 1 件, メール相談
1 件.

2010.4, 丹波市山南町「ちーたんの館」, 展示指導 (株)
日展.



個人別成果報告に関する資料

No. 2

● 自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ／

昆虫共生系研究グループ

高橋 晃, Akira TAKAHASHI

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ／生涯学習推進室

研究部長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門 教授.

昭和 29 年岐阜県生. 大阪大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学. 理学博士. 日本植物学会, 日本植物分類学会, 植生史学会, ヒマラヤ植物研究会, 国際材解剖学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

生涯学習推進室／室長

展示・演示、イベント、地域連携事業、スクールパー
トナー事業等、生涯学習事業推進の総括

2.研究開発部門

自然・環境評価研究部／部長

研究部における諸事業推進の総括

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 兵庫県内各地の植物の分類・地理学研究
2. 木本植物の組織形態学・解剖学的研究
3. 植物を素材とする自然史教育・環境学習の展開

■共同研究

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究代表者.

■論文・著書

◎加藤茂弘・半田久美子・古谷 裕・奥岸明彦・高橋晃・八木 剛 2010.12 中国山地東部の福知川上流に分布する福知泥炭層の堆積年代と成因（予報）. 人と自然 (21), 109-119.

◎高橋 晃 2011.3 兵庫県立人と自然の博物館における環境学習プログラム. 日本植物園協会誌, 第 45 号, 18-25.

■その他著作

◎高橋 晃 2010.6 兵庫県産維管束植物目録の完成. 兵庫の植物, 20 号, 233-238.

◎高橋 晃 2010.9 兵庫県における生物多様性調査について. 国立公園, 686 号, 7-10.

Takahashi, A. 2010.10 Permanent plots in Crocker Range Park in Sabah, Malaysia. DIWPA News Letter, No.23, 3-4.

◎高橋晃・山本伸子・布施静香・坂井佳世子・神戸絵里・佐藤順子編 2011.3 寺沢迢コレクションー日本産植物標本図録一. 兵庫県立人と自然の博物館, 三田.

■ブログへの情報提供

3 件

■研究発表

◎Takahashi, A., Handa, K., Katoh, S., and Furutani, H. (2010) Wood and pollen assemblages in the early Holocene at the Fukuchi Valley in Hyogo Prefecture, Japan. The Third International *Metasequoia* Symposium, Osaka Museum of Natural History, Osaka.

■学会役員など

植生史学会専門委員, 第 3 回国際メタセコイアシンポジウム実行委員会財務委員.

■助成を受けた研究

自然史系博物館の連携研究員養成法の研究, 科学研究費・基盤研究 (C), 研究分担者. (分担金 10 万円／総額 110 万円)

恐竜発掘を素材にした、地域と博物館をつなぐ学習プログラムの構築, 科学研究費・基盤研究 (C), 研究分担者. (分担金 10 万円／総額 110 万円)

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.5-9 種子植物, 但馬の山間部.

2010.7 種子植物, 沖縄県西表島地域.

2010.8 種子植物, 和歌山県南部周辺.

■受贈担当資料

2010.5.17 材鑑プレパラート標本 (2006 芦生演習林), 森林総合研究所, 交換, 56 点.

2010.5.17 材鑑プレパラート標本 (2004 富山), 森林総合研究所, 交換, 129 点.

2010.6.16 材鑑証拠さく葉標本 (2010 宮崎市), 森林総合研究所, 交換, 205 点.

2010.6.22 国立科博交換標本 2010 年 6 月, 国立科学博物館, 交換, 264 点.

2010.7.14 材鑑プレパラート標本 (2005 島根), 森林総合研究所, 交換, 194 点.

2010.8.10 材鑑標本 (2010 宮崎市), 森林総合研究所, 交換, 162 点.

2010.10.26 材鑑証拠さく葉標本 (2010 紀南), 森林総合研究所, 交換, 183 点.

2010.10.29 阪口正樹コレクション (植物標本), 寄贈, 730 点.

2010.11.10 材鑑標本 (2010 紀南), 森林総合研究所, 交換, 160 点.

2011.3.11 材鑑プレパレート標本 (2005 岐阜), 森林総合研究所, 交換, 173 点.

■整理同定担当資料

種子植物 (日本産、外国産)、材鑑標本・プレパレート標本

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

布施静香・高野温子・高橋 晃 2010.4 篠山植物ハイキング〜西光寺山・白髪岳山麓〜, 篠山市. (29 名)

◎高橋 晃 2010.4 オープンセミナー, 春の草花をさがしに行こう, 深田公園・博物館. (5 名)

高橋 晃 2010.5 特注セミナー, 生物多様性と私たちの暮らし, (財)おかやま環境ネットワーク, 博物館. (35 名)

太田英利・高橋晃・池田忠広・上田萌子 2010.5 西表島の生き物の野外観察事前説明会, 博物館. (15 名)

高橋 晃・布施静香 2010.5 但馬妙見山・蘇武岳の植物, 蘇武岳・香美町〜妙見山・養父市. (22 名)

高野温子・高橋 晃・布施静香 2010.5 植物リサーチクラブ① 見て楽しい花の形態観察, 博物館. (7 名)

高橋 晃 2010.6 特注セミナー, 生物多様性と私たちの暮らし, 県立学校事務職員協会, 博物館. (156 名)

太田英利・高橋晃・池田忠広・上田萌子 2010.7 西表島の生き物の野外観察 (5 日間), 西表島・沖縄. (17 名)

古谷 裕・高橋 晃・池田忠広 2010.7 特注セミナー, 生物系科学系学芸員実習・収蔵庫見学, 兵庫教育大学, 博物館. (14 名)

高橋 晃・太田英利・北村俊平・西岡敬三・八尾滋樹 2010.7-8 第12回ボルネオジャングル体験スクール, マレーシア・サバ州. (30 名)

高橋 晃・布施静香・山本伸子 2010.8 夏季教職員セミナー, 植物の携帯・内部構造を学ぶ, 博物館. (8 名)

高橋 晃・長谷川太一・レモンリーフ 2010.10 植物画を描こう1&2, 博物館. (10 名)

◎高橋 晃 2010.10 オープンセミナー, 落ち葉を集めて絵をかこう, 博物館. (50 名)

◎橋本佳明・高橋 晃・布施静香・北村俊平 2010.11 オープンセミナー, 収蔵庫見学ツアー, 博物館. (50 名)

布施静香・高橋 晃 2011.2 植物リサーチクラブ② 標本の調べ方 1, 博物館. (8 名)

布施静香・高橋 晃・山本伸子 2011.3 植物リサーチクラブ② 標本の調べ方 2, 博物館. (4 名)

高橋 晃 2010.10 特注セミナー, 植物の進化の話, 植

物リサーチの会, 博物館. (10 名)

高橋 晃・平松紳一 2010.11 特注セミナー, 展示解説&ひとはく恐竜ラボ, ゆりのき会, 博物館. (39 名)

田原直樹・高橋 晃 2010.12 特注セミナー, 展示解説, 兵庫県立大学学友会, 博物館. (51 名)

高橋 晃 2011.2 特注セミナー, 兵庫の植物多様性, 明石市立高齢者大学校あかまが丘学園. (113 名)

◎高橋 晃・橋本佳明・布施静香・北村俊平・山本伸子 2011.3 オープンセミナー, 収蔵庫見学ツアー, 博物館. (35 名)

館外講演など

高橋 晃 2010.10 森の効用ー生物多様性からみた森林のはたらき, 講師, すいたシニア環境大学, 吹田市立博物館. (58 名)

高橋 晃 2010.12 日本人と木の文化ー生物多様性と木材利用. 講師, 第6期森林・湿原サポーター養成講座, 甲山自然環境センター, 西宮市. (28 名)

兵庫県立大学・大学院教育

2010.6-7 環境人間学研究科担当科目「生物多様性特別演習」, (主任)

2010.4-2011.3 環境人間学研究科 教務委員

2011.3 環境人間学研究科 入試採点委員

非常勤講師

2010.4-2010.7 系統分類学, 関西学院大学理工学部.

■連携事業

連携グループ等

GREEN GRASS (アドバイザー, 主担当: 植物画研究会、主催事業等運営支援)

ハチ北高原自然協会 (アドバイザー, 主担当: 自然案内人講座等運営支援)

地域研究員: 福岡忠彦 (アドバイザー, 主担当)

地域研究員: 西野雅満 (アドバイザー, 主担当)

地域研究員: 西野眞美 (アドバイザー, 主担当)

地域研究員: 林 美嗣 (アドバイザー, 主担当)

地域研究員: 法西 浩 (アドバイザー, 副担当)

地域研究員: 増井啓治 (アドバイザー, 主担当)

成果発表

2011.2 第6回共生のひろば, 六甲山上「二つ池環境学習林」の保全整備と活用, 堂馬英二 (指導・助言)

2011.2 第6回共生のひろば, センニンソウ属は本当に蜜を分泌しないのか?, 小豆むつ子 (指導・助言)

2011.2 第6回共生のひろば, 装飾花をもった花たち Part 3. 〜スクラップブックの中での装飾花たち〜, 西野眞美 (指導・助言)

2011.2 第6回共生のひろば, 氷ノ山のコシノサトメシダ?, 林 美嗣 (指導・助言)

2011.2 第6回共生のひろば, 森のマドンナ! ヒメユズリハ, 増井啓治 (指導・助言)

共催事業

2010.5 公園・花・こども国際フォーラム, 淡路夢舞台国際会議場・沼島, 公園・花・こども国際フォーラム実行委員会 (実行委員). (374 名)

2010.5-9 ハチ北大池散策ツアー（春、秋）、ハチ北高原大沼周辺、ハチ北観光協会（講師・アドバイザー）。（30名）

2011.2-2011.4 ミニ企画展「植物画で語るキョスミウツボの生活」、ひとはく連携活動グループ GREEN GRASS（展示製作・運営アドバイザー）。

2011.4 ミニ企画展関連講座「けったいな植物キョスミウツボにとりつかれた人々」（企画実施）

協力事業

2010.6-2011.3 平成22年度六甲山環境整備協議会「二つ池環境学習林」の指導者派遣、六甲山記念碑台周辺、六甲山を活用する会（アドバイザー）。

2010.12-2011.2 ヒマラヤ・ホットスポットー東京大学ヒマラヤ植物調査50周年展、東京大学総合研究博物館新館、東京大学総合研究博物館特別展「ヒマラヤ・ホットスポットー東京大学ヒマラヤ植物調査50周年」展実行委員会（展示物作成協力）。

2011.1 冬の六甲山「子どもパークレンジャーを目指そう！」、六甲山小学校・記念碑台周辺、六甲山を活用する会（アドバイザー）。

2011.1-3 淡路夢舞台ラン展2011、兵庫県立淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」、株式会社 夢舞台（展示協力）。

■学校教育支援

トライやるウィーク

2010.6 三田市立中学校2年生、（3名）

学校団体対応

2010.6 山の植物、明石市立王子小学校、（59名）

講師派遣

高橋 晃 2011.1 熱帯の生き物ーその多様性と進化、講師、科学の達人招へい事業・丹波市立市島中学校。（112名）

■研究生等の受入

博物館実習

研修生

2010.10.20 JICA 研修：生物多様性保全のための野生動物問題解決手法コース、博物館における生物多様性への取り組みと生物多様性情報の収集と活用、収蔵庫の解説と案内、EnVision 環境保全事務所。（5名）

■フェスティバル等

2010.11 ひとはくフェスティバル実行委員会事務局 幹事

■展示

ミニ企画展

2010.12-2011.1 干支展「ウサギさんようこそ」（展示写真協力）

2011.2-4 植物画で語るキョスミウツボの生活展（共催事業、主担当）

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内 5回、88人

委員会等

2010.4 環境省版レッドデータブック兵庫県主任調査員、環境省自然環境局。

2010.4 希少野生動植物種保存推進員、環境省自然環境局。

2010.4 六甲山環境整備協議会、アドバイザー、六甲山を活用する会。

2010.4-5 公園・花・こども国際フォーラム実行委員会委員、公園・花・こども国際フォーラム実行委員会、淡路。

2010.4-9 第3回国際メタセコイアシンポジウム実行委員会委員、日本植生史学会。

相談・指導助言

電話・メール・手紙等による相談 11件(5名)

来訪者 3名

秋山 弘之, Hiroyuki AKIYAMA

自然・環境評価研究部
森林・昆虫研究グループ
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授.
昭和31年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本植物分類学会, 日本蘚苔類学会, 米国蘚苔類学会, 英国蘚苔類学会, 米国植物分類学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

マーケティング (副担当), ひとはく手帖広告協賛

2.研究開発部門

研究シンクタンク 研究紀要担当 (編集責任者)

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

- 1.近畿地方における絶滅危惧蘚苔類の調査
- 2.東南アジア産蘚類の分類学的・植物地理学的研究
- 3.タイ国インタノン山蘚類相の研究

■共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興に関する研究」, 研究分担者.
部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

■論文・著書

Akiyama, H., Y. Chang and B. C. Tan. 2010. *Clastobryopsis imbricata* (Pylaisiadelphaceae) sp. nov. from Doi Inthanon, northern Thailand. *Bryologist* 113(4): 752-759.

Akiyama, H. 2010. Taxonomic revision of the genus *Trismegistia* (Pylaisiadelphaceae, Musci). *Humans and Nature* 21: 1-77.

Akiyama, H. 2010. *Scopelophila cataractae* found growing on tree trunks in northern Thailand. *Tropical Bryology* 32: 97-99.

Akiyama, H., Y. Chang, T. Yamaguchi and B. C. Tan. 2011. *Yakushimbryum longissimum* (Pylaisiadelphaceae) gen. & sp. nov., from the Yakushima Island, Japan. *Journal of Bryology* 33(1) (in press).

Akiyama, H. and B. Goffinet. 2011. *Indopottia irieandoana* sp. nov. (Pottiaceae) from Doi Inthanon, Northern Thailand. *Journal of Bryology* (accepted).

秋山弘之. 2010. アジア産蘚苔類分類・生態ノート, 20. タイ北部産の苔類 *Lejeunea tuberculosa* Steph. (苔類クサリゴケ科) で見つかった線虫による虫えい. *蘚苔類研究* 10(1): 15-17.

秋山弘之. 2011. アジア産蘚苔類の分類・生態ノート, 22. 日本産コモチイトゴケ科, 特にヤクシマコモチイトゴケについて. *分類* 11(2): 27-34.

■その他著作

第8回マレーシア植物誌シンポジウム(Flora Malesiana Symposium 8 シンガポール植物園) の報告. *蘚苔類研究* 10(3): 63-64.

別冊 NHK 趣味の園芸「苔玉と苔」—小さな緑の栽培テクニック. NHK 出版, 東京.

兵庫の貴重な自然 兵庫県版レッドデータブック 2010 (植物・植物群落). 財団法人ひょうご環境創造協会.

■ブログへの情報提供

ひとはく: ブログ2件, BBS: 3件

■研究発表

Akiyama, H. 2010. 8. Habitat differentiation in bryophytes; two examples from Doi Inthanon (Thailand) and Isl. Yakushima. *Flora Malesiana Symposium*, Singapore.

秋山弘之 2011.2 蘚苔類におけるハビタット分化: インタノン山・屋久島における実践例 東南アジア研究センター, 京都.

■学会役員など

日本植物分類学会 図書幹事, 編集委員.

日本蘚苔類学会 編集副幹事.

公益財団法人平岡環境科学研究所 監事.

■助成を受けた研究

熱帯雲霧林の林冠内植物の多様性と動態: 気候変動モニタリングに向けたサイト構築. 文部科学省科学研究費基盤研究(B) (一般), 研究分担者 (金額 210 万円/35 万円).

■海外調査

2010.8 シンガポール植物園

2011.3 タイ国チェンマイ県

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4-2011.3 蘚苔類 (三田市、宝塚市、西宮市、神戸市、篠山市、香美町、南光町)

2010.10 蘚苔類 (三重県)

2011.3 蘚苔類 タイ国チェンマイ県

■整理同定担当資料

植物 (蘚苔類、菌類).

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

秋山弘之, 2010.7 「夏のキノコかんさつ〜一庫公園〜」 川西市 (全1回, 9名)

秋山弘之, 2010.14 「秋のキノコかんさつ1〜神戸〜」 神戸市 (全1回, 7名)

秋山弘之, 2010.10 「よくわかる! コケのかんさつ〜道場」 神戸市 (全1回, 9名)

秋山弘之, 2010.10 「秋のキノコかんさつ〜有馬富士

～」三田市（全1回，18名）

秋山弘之，2010.10 「ふかたん キノコを探す」博物館（全1回，3名）

館外講演など

2010.7，シニア自然大学講演会（350名）

2010.9 ハチ北高原 秋の自然観察エコツアー（12名）

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生（分担 3回）

■ミニキャラバン事業

2010.10 COP10 名古屋会場出店（分担）

■学校教育支援

学校団体対応

2010.5，神戸市立唐櫃小学校（82名）

2010.8，特注セミナー 広野大空ひまわり学級（43名）

2010.10，生物多様性トーク 芦屋市立潮見小学校（93名）

2010.10，生物多様性トーク 姫路市蒔野小学校（22名）

2010.10，生物多様性トーク 神戸市立岩岡中学校（188名）

2010.12，特注セミナー 県立相生高等学校（35名）

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等

2010.4－ 環境省絶滅危惧植物（蘚苔類）調査担当

高野 温子, Atsuko TAKANO

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ/研究・シンクタンク推進グループ

主任研究員

昭和46年大阪府生. 大阪市立大学大学院理学研究科後期博士課程修了. 理学博士. 日本植物分類学会, 日本植物学会, 米国植物分類学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.研究開発部門

資料データバンク整備活用マネージャー

博物館資料の受け入れ・貸し出しに関すること

収蔵庫入庫説明会/小薫蒸・資料審査会

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. ショウガ科の分類学的研究
2. 兵庫県産植物の分類学的研究

■論文・著書

◎高野温子・迫田昌宏・黒崎史平(2010) オチフジの地上部の季節的消長. 兵庫の植物 20:37-40.

Julius, A., Takano, A., Suleiman M, Tukin W. F. 2010.

Zingiberaceae of Maliau Basin, Sabah, Malaysia. Journal of Tropical Biology and Conservation 6:1-20.

Takano, A., Okada, H. 2011. Phylogenetic relationships among subgenera, species, and varieties of Japanese *Salvia* L. (Lamiaceae) Journal of Plant Research 124:245-252.

■その他著作

枌本大介・服部保・高野温子(2010) 六甲山地で確認したエゾエノキ個体群の現状. 人と自然 21:197-200.

■研究発表

Nagamasu H., Takano, A. 2010. *Myxochlamys* (Zingiberaceae), an endemic genus to Borneo. Poster presentation 8th Flora Malaysiana Symposium. 23-27 Aug. Singapore Botanic Gardens, Singapore.

■学会役員など

Acta Phytotaxonomica et Geobotanica 査読

Taxon 査読

Plant Systematics and Evolution 査読

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4, 篠山市, 宍粟市.

■整理同定担当資料

種子植物

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

布施・高橋・高野, 2010.4, 「篠山植物ハイキング〜西光寺山・白髪岳山麓」, 篠山. (29名)

高野・高橋・布施, 2010.5, 「植物リサーチクラブ①見て楽しい花の形態観察」, 博物館. (7名)

高野, 2010.5, 高校連携セミナー 「花のデザイン」(高校生39名+一般5名)

高野, 2010.5, 「見てびっくり!身近な植物を顕微鏡で観察してみよう」(119名)

高野, 「新しい植物分類体系について」(18名)

■学校教育支援

学校団体対応

2010.7. 岡山理科大 (140名)

■展示

企画展

2010.7.17-12.26, 展示特別企画「ひょうごの生物多様性瀬戸内海 vs 日本海」(分担者).

■行政支援

委員会等

2005.4., 環境省版レッドデータブック兵庫県調査員, 環境省

相談・指導助言

来訪者5件, 5名. メール相談3件

布施 静香, Shizuka FUSE

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ／生涯学習推進室

主任研究員

昭和51年奈良県生. 大阪市立大学大学院理学研究科前期博士課程修了. 理学博士. 日本植物分類学会, 日本植物学会, 種生物学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

広報・出版支援マネージャー ひとはく手帖・ひとはく新聞の編集支援. HP やブログの更新促進等.

2.研究開発部門

資料データベース整備活用マネージャー 資料活用関連業務の取りまとめ. 資料燻蒸担当.

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

- 1.キンコウカ科の分類学的研究
- 2.チシマゼキショウ属の分類学的研究
- 3.単子葉植物の姉妹群推定に関する研究
- 4.カラスザンショウとイヌザンショウの性表現に関する研究

■共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興に関する研究」, 研究分担者. 部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

■論文・著書

- ◎小豆むつ子・布施静香(2010) 兵庫県で見つかったノアザミ(キク科)の雌株について. 兵庫の植物, 20: 41-42.
- ◎牛島清春・牛島富子・布施静香・黒崎史平(2010) 猪名川町で注目すべき植物(6) —コカラスザンショウの確認とイヌザンショウの樹齡—. 兵庫の植物, 20: 95-104.

■その他著作

- ◎田村実・東浩司・山下純・布施静香・石井孝明(2010) チシマゼキショウ科の種生物学的研究II.葉緑体と核のDNA塩基配列から推定されたチシマゼキショウ属とイワショウブ属の種の系統. 分類, 10(2): 167. 布施静香(2010)“花野”というものを知る. 日本植物分類学会ニュースレター, 39:5-6.
- ◎高橋晃・山本伸子・布施静香・坂井佳世子・神戸絵里・佐藤順子編(2011)寺沢遼コレクション—日本産植物標本図録—. 兵庫県立人と自然の博物館, 三田.

■ブログへの情報提供

11 件

■研究発表

布施静香・田村実(2010)キンコウカ科(ヤマノイモ目)

の系統. 第42回種生物学シンポジウム. 京都大学, 京都.

布施静香・牛島清春・牛島富子・黒崎史平(2010)雄性両性異株性を示すカラスザンショウ集団の開花フェノロジー. 第42回種生物学シンポジウム. 京都大学, 京都.

野田博士・山下純・布施静香・田村実(2010)日本産ヤマノイモ属(ヤマノイモ目)の系統と分類学的示唆. 第42回種生物学シンポジウム. 京都大学, 京都.

布施静香(2010)キンコウカ科(広義ユリ科)の系統.

2010年度日本植物分類学会講演会. 大阪学院大学, 大阪.

■学会役員など

種生物学会, 会計幹事.

種子植物談話会, 事務局・世話人.

Journal of Plant Research, 査読.

ANNALES BOTANICI FENNICI, 査読.

人と自然, 査読.

■助成を受けた研究

双子葉植物から単子葉植物への進化の道すじの推定 —単子葉植物の起源を探る 第一段階—. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C), 研究分担者(金額15万円/481万円).

伊豆・丹沢地域産単子葉植物の形態的独自性とその成立の歴史. 新技術開発財団植物研究助成, 研究分担者(金額125万円/252万円).

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4, 企画特別展資料収集(海藻など). 香美町, 豊岡市, 神戸市.

2010.4-10, 種子植物. 猪名川町, 香美町, 神戸市, 篠山市, 三田市, 沖縄県, 鹿児島県, 神奈川県, 熊本県,

■整理同定担当資料

種子植物

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

布施・高橋・高野, 2010.4, 「篠山植物ハイキング〜西光寺山・白髪岳山麓」, 篠山. (29名)

ハチ北高原自然協会・高橋・布施, 2010.5, 「ハチ北大池春の散策ツアー」, 香美町. (8名)

高橋・布施, 2010.5, 「但馬妙見山・蘇武岳の植物」, 香美町. (22名)

高野・高橋・布施, 2010.5, 「植物リサーチクラブ①見て楽しい花の形態観察」, 博物館. (7名)

布施, 2010.6-9, 「標本資料を理解する」, 博物館. (全3回, 28名)

◎遠藤・太田・布施・上田, 2010/7, 「チリモンモンス

ターを探そう」, 博物館. (73 名)

高橋・布施, 2010.8, 「植物の形態・内部構造を学ぶ」
教職員セミナー, 博物館. (8 名)

◎遠藤・布施・山本, 2010/9, 「チリモンモンスターを
探そう」, 博物館. (104 名)

◎布施, 2010/10, 「見てびっくり! 身近な植物を顕微
鏡で観察してみよう」博物館. (55 名)

◎高橋・橋本明・布施・北村, 2010/11, 「生物系収蔵
庫ツアー」, 博物館. (52 名)

布施, 2010/11, 「企画特別展ギャラリートーク」博物
館.

布施・福岡誠行, 2010.12, 「植物のソバの話と蕎麦打
ち体験」, 博物館. (10 名)

布施・高橋, 2011.2, 「植物リサーチクラブ② 標本の
調べ方」, 博物館. (全2回, 12 名)

◎高橋・橋本明・布施・北村, 2010/3, 「生物系収蔵庫
ツアー」, 博物館. (36 名)

館外講演など

布施静香, 2010.1, 「植物の分類と系統地理—昨今のD
NA技術で判ること」, 兵庫植物同好会, 講師, 頌栄
短期大学 (30 名) .

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

成果発表

2010.2, 共生のひろば 「センニンソウ属は本当に蜜
を分泌しないのか?」, 小豆むつ子 (指導)

2010.2, 共生のひろば 「氷ノ山のコシノサトメシ
ダ?」, 林美嗣 (指導)

2010.2, 共生のひろば 「装飾花をもった花たち Part3
〜スクラップブックングの中の装飾花たち〜」, 西野
真美 (指導)

2010.2, 共生のひろば 「森のマドンナ! ヒメユズリ
ハ」 増井啓治 (指導)

■学校教育支援

学校団体対応

2010.4.27, 大阪府立泉北高等学校 (60 名) .

2010.11.10, 県立三田祥雲館高等学校 (8 名) .

2010.12.21, 県立相生高等学校 (35 名) .

2011.2.25, 宝塚市立小浜小学校 (80 名) .

■研究生等の受入

博物館実習

2010.8.6, オリエンテーション (講義等)

研修生

なし

卒論生等

独立行政法人国際協力機構中部国際センター「平成 22
年度土地利用と自然資源分析の情報管理技術」政府
開発援助研修員受け入れ事業, 研修員(5 名)

■フェスティバル等

2010.11, ひとはくフェスティバル, 「ひとはくいきも
のかわらばん表彰式」(責任者).

2010.11, ひとはくフェスティバル, 「ひとはく採れ取
れビンゴ」(分担者).

■展示

企画展

2010.7.17-12.26, 展示特別企画「ひょうごの生物多様
性 瀬戸内海 vs 日本海」(分担者).

ミニ企画展

2010.10.9-12.26, 館内展示「ひとはくいきものかわら
ばん」(分担者)

2011.2.5-4.10, ミニ展示展「キョスミウツボの生活」(協
力).

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 18 回, 270 名.

■行政支援

委員会等

2005.4-, 環境省版レッドデータブック兵庫県調査員,
環境省

相談・指導助言

来訪者 3 件, 4 名. 電話・FAX 相談 10 件, メール相談
20 件.

■学会開催等支援

2010.4, 講演会「植物学への誘い〜発生学から湿潤熱帯
原生林の保護まで〜」開催. 主催: 種子植物談話会,
共催: ひとはく. 人と自然の博物館, 42 名.

山本 伸子, Nobuko YAMAMOTO

自然・環境評価研究部
森林多様性研究グループ
研究員

昭和 56 年岡山県生. 岡山理科大学大学院総合情報研究
科博士課程修了. 博士 (学術).

日本植物学会, 植物地理・分類学会, ヒマラヤ植物研究
会等所属.

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

系統分類学的研究

■論文・著書

津坂真智子・山本伸子・池田 博・堤原健太・小林史
郎・小川 誠・星野卓二 2011. アオキ (アオキ科)
の細胞地理学的研究 ―特に境界付近の分布につい
て―. *Naturalistae* (15): 13-22.

山本伸子・池田 博 2010. ネパール・ヒマラヤ産種子
植物の染色体数と倍数性. In: 池田 博・能城修一
(編), ヒマラヤ・ホットスポット ―東京大学ヒマ
ラヤ植物調査 50 周年, pp. 197-204. 東京大学総合研
究博物館, 東京.

■ブログへの情報提供

4 件

■研究発表

大橋唯太・川上皓史・重田祥範・池田 博・山本伸子
2010. ソメイヨシノの開花と気温・黒球温度の地理
的分布 ―岡山県岡山市の場合―. 2010 年日本気象
学会秋季大会 (京都テルサ).

山本伸子・黒沢高秀・池田 博・星野卓二 2010. トウ
ダイグサ科トウダイグサ属数種に関する細胞分類学
的研究. 日本植物学会中国四国支部第 6 7 回大会 (山
口大学).

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.5-10, 種子植物. 山口県, 岡山県, 鹿児島県など
2010.7-2011.3, 標本. 東京都, 京都府, 広島県など.

■整理同定担当資料

種子植物.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

高橋 晃・布施静香・山本伸子, 2010.8, 「植物の形態・
内部構造を学ぶ」, 博物館. (8 名)

山本伸子, 2010.10, 「見て楽しい花の形態観察」, 博物
館. (11 名)

■展示

ミニ企画展

2010.12.11-2009.1.10, ミニ企画展「ウサギさんようこ
そ!」(分担者).

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 2 回, 52 名.

■行政支援

委員会等

なし

相談・指導助言

電話・FAX 相談 3 件, メール相談 2 件.

太田 英利, Hidetoshi OTA

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門 教授.

昭和 34 年愛知県生 京都大学大学院理学研究科修士課程修了. 博士 (理学). 日本爬虫両棲類学会, 日本動物学会, 動物分類学会, 日本生物地理学会, 日本動物行動学会, 沖縄生物学会, American Association for the Advancement of Science, American Society of Ichthyologists and Herpetologists, Biological Society of Washington, British Herpetological Society, Herpetologists' League, Linnean Society of London, Societas Europaea Herpetologica, Society for the Study of Amphibians and Reptiles 等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.研究開発部門

研究・シンクタンク推進室 副室長

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

- 1.アジア・オセアニアの熱帯・亜熱帯島嶼に見られる爬虫・両生類の系統分類と生物地理
- 2.東アジアにおけるウミヘビ類の多様性と分類の再検討
- 3.有鱗目爬虫類における形態形質の進化
- 4.琉球列島を中心とした日本産爬虫・両生類の自然
- 5.わが国における外来種の在来生物相へのインパ

■共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による, 環境学習支援および地域振興に関する研究」, 研究分担者
部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

■論文・著書

- Brandley M. C., Y. Wang, X. Guo, A. Nieto Montes de Oca, M. Fer'a Ort'z, T. Hikida, and H. Ota (2010) Bermuda as an evolutionary life raft for an ancient lineage of endangered lizards. PLoS ONE, 5(6): e11375. doi:10.1371/journal.pone.0011375.
- ©Brandley, M., Y. Wang, X. Guo, A. Nieto Montes de Oca, M. Ferial Ortiz, T. Hikida, and H. Ota (2010) Accommodating high rates of evolution in molecular divergence dating methods: an example using intercontinental dispersal of *Plestiodon* (*Eumeces*) lizards. Systematic Biology, 60(1): 3-15.
- Kuraishi, N., M. Matsui, H. Ota, and S.-L. Chen (2011) Specific separation of *Polypedates braueri* (Vogt, 1911) from *P. megacephalus* (Hallowell, 1861) (Amphibia: Anura: Rhacophoridae). Zootaxa, (2744): 53-61.

Oliveros, C. H., H. Ota, P. I. Crombie, and R. M. Brown (2011) The herpetofauna of the Babuyan Group of Islands, northern Philippines. Science Papers of the Museum of Natural History, University of Kansas, (43): 1-20.

Ota, H., N. Kamezaki, M. Toda, and S. Okada. (2010) Osumi Islands: (iii) amhibians/reptiles, Tokara and Amami Islands: (iii) amhibians/reptiles, Okinawa and Kerama Islands: (iii) amhibians/reptiles, Daito Islands: (iii) amhibians/reptiles, Miyako Islands: (iii) amhibians/reptiles, Yaeyama and Senkaku Islands: (iii) amhibians/reptiles, references. S. Yasumura (ed.), 「Nansei Islands Biological Diversity Evaluation Project Report」, 6-7, 12-14, 20-21, 20, 32-33, 37-39, 196-201, WWF Japan, Tokyo.

太田英利 (2010) アオスジトカゲ, シュウダ, ヨナグニキノボリトカゲ, サキシマスジオ, クメジマハイ, エラブウミヘビ, ヒロオウミヘビ, イイジマウミヘビ, オキナワヤモリ, タカラヤモリ, サキシマキノボリトカゲ, イシガキトカゲ, オオシマトカゲ, オキナワトカゲ, アカマダラ, トカラハブ, ニホンストップン, タシロヤモリ, ダンジョヒバカリ, 大東諸島のオガサワラヤモリ, ヤエヤマハラブチガエル, ミヤコヒキガエル, リュウキュウアカガエル. 環境省自然環境局野生生物課 (編), 「改訂レッドリスト 附属説明資料. 爬虫類・両生類」, 2-3, 5-11, 14, 16-17, 環境省自然環境局野生生物課, 東京.

Shibaike, Y., Y. Takahashi, I. Arikura, R. Iizumi, S. Kitakawa, M. Sakai, C. Imaoka, H. Shiro, H. Tanaka, N. Akakubo, M. Watanabe, K. Ohne, S. Kubota, S. Kohno, and H. Ota (2010). Chromosome evolution in the lizard genus *Gekko* (Gekkonidae, Squamata, Reptilia) in the East Asian islands. Cytogenetic and Genome Research, 127:182-190.

Yasukawa, Y. and H. Ota (2008) *Geoemyda spengleri* (Gmelin 1789). Chelonian Research Monographs, 5, published on line, doi:10.3854/crm.5.047.spengleri.vl.2010

■その他著作

太田英利 (2010) その3: 生物多様性セミナー「西表島の生き物の野外観察」実施報告. 全国各地へ、世界へ、ひとはくといっしょに「生物多様性」を体験したツアー・セミナー, 人博新聞(9月30日).

■研究発表

栗田隆気・太田英利・戸田守 (2010) 琉球列島に分布する住家性ヤモリ類の起源に関する研究, 日本爬虫両棲類学会第49回大会, 慶應義塾大日吉校, 横浜市.

中村泰之・高橋亮雄・太田英利 遺骸が示す与論島における両生・爬虫類個体群の近年の消滅について, 日本爬虫両棲類学会第49回大会, 慶應義塾大日吉校, 横浜市.

Ota, H. (2010) Herpetofauna of Japan: Taxonomic,

biogeographical, and conservation considerations. The Korean Research Society of Herpetologist, Jeju National University, Jeju Do, South Korea.

Ota, H. (2010) Diversity and conservation of reptiles and amphibians in Japan. The Taiwan Amphibian and Reptile Association, National Taiwan Normal University, Taipei, Taiwan.

Ota, H. and M. Honda (2010) De Agamis: The Second International Symposium on the Agamid Lizards, Institute of Zoology, Russian Academy of Sciences, St. Petersburg, Russia.

北フィリピンの爬虫・両生類の分布とその生物地理学的意義, 第42回種生物学シンポジウム, 京都大学, 京都市.

太田英利・向高世・呉書平・池田忠広 (2010) 台湾産ヒバカリ属の1種について, 日本爬虫両棲類学会第49回大会, 慶應義塾大日吉校, 横浜市.

薮優子・江崎保男・太田英利 (2010) 西日本に生息するヤモリ属2種の繁殖と食性について, 日本爬虫両棲類学会第49回大会, 慶應義塾大日吉校, 横浜市.

鈴木大・太田英利・呉弘植・疋田努 (2010) 遺伝的変異に基づくクサガメ日本個体群の起源の推定, 日本爬虫両棲類学会第49回大会, 慶應義塾大日吉校, 横浜市.

高橋亮雄・中村泰之・池田忠広・太田英利 (2010) 化石や遺骸残留物が示す第四紀の琉球列島における爬虫・両生類の種組成の変動, 日本爬虫両棲類学会第49回大会, 慶應義塾大日吉校, 横浜市.

竹内美里・太田英利 (2010) ミトコンドリアDNAから見た東アジアにおけるチュウゴクスッポン (*Pelodiscus sinensis*) 種群の遺伝的多様性, 日本爬虫両棲類学会第49回大会, 慶應義塾大日吉校, 横浜市.

Tandavanitj, N., Ota, H., and Toda, M. (2010) Genetic variations in two laticaudine sea snakes, *Laticauda laticaudata* and *Laticauda semifasciata* (Elapidae: Laticaudinae), in the Ryukyu Archipelago, The 49th Annual Meeting of The Herpetological Society of Japan, Keio University, Yokohama.

■学会役員など

日本爬虫両棲類学会、英文誌「Current Herpetology」、編集主幹 (Managing Editor)

沖縄生物学会、「沖縄生物学会誌」編集委員

Asian Herpetological Research Society, 英文誌「Asian Herpetological Research」Editorial Board Member Society for the Study of Amphibians and Reptiles, 英文誌

「Journal of Herpetology」Associate Editor (9月まで)

Linnean Society of London, フェロー(F.L.S.)

学術雑誌「BioFormosa」, 「Hamadryad」, 「Russian Journal of Herpetology」, 「Tropical Natural History」等, 編集ボードメンバー

■助成を受けた研究

琉球列島産ウミヘビ亜科における遺伝的多様性と個体群分類. 文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究(C), 研究代表者 (金額[直接経費] 90万円/300万円).

国内外来種オキナワキノボリトカゲの生態系への影響評価に関する研究. 文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究(C), 研究分担者 (金額[直接経費] 100万円/350万円)

■海外調査

2010.8, 台湾・台南市

2011.2, 中国・香港

2011.3, 台湾・澎湖島

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.6, 7, 9-12. セミナー関連資料の収集 (ヤモリ類など). 八重山諸島、沖縄諸島、奄美諸島、沖縄諸島など.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

太田英利, 2010.4.27, 「日本の動物地理・カエルについて」, 博物館. (38名)

◎太田英利, 2010.5.14, 「カエルの食卓」, 博物館. (45名)

◎高橋晃・上田萌子・池田忠広・太田英利, 2010.5.23, 7.2-6, 「西表島の生き物の野外観察」, 博物館・西表島. (17名)

◎高橋晃・北村俊平・西岡敬三・八尾滋樹・太田英利, 2010. 7.18, 23-30, 「第12回ボルネオジャングル体験スクール」, 博物館・サバ州 (マレーシア). (28名)

太田英利, 2010.8.10, 「外来種の現状と対策」(教職員セミナー), 博物館. (26名)

太田英利, 2010.9.25, 「両生類の体を見てみよう」, 博物館, (4名)

太田英利, 2010.10.14, 「生物多様性トーク」, 博物館. (194名)

館外講演など

太田英利, 2010.6, 「身近な動物たち」, 兵庫県立大学公開講座, 講師, 丹波の森公苑. (25名)

太田英利, 2010.10, 「琉球列島の陸生動物の多様化と絶滅」, 阪神貝類談話会, 講師, 西宮市貝類館. (36名)

太田英利, 2010.10, 「身の回りの虫や小動物と仲良くなろう会」, 伊丹市立鈴原小学校. (30名)

太田英利, 2011.1, 「鹿児島県における陸生動物の多様性, 固有性とその地理的パターン-爬虫・両生類を例として」, 鹿児島県環境林務部自然保護課主催「鹿児島県の生物多様性に関するシンポジウム」, 講師, かがしま環境未来館. (98名)

太田英利, 2011.2. 「オキナワキノボリトカゲの生物学的特徴と外来集団に対し望まれる対策」, 講師, 宮崎県日南市主催, 日南市まなびピア. (80 名)

37 名

兵庫県立大学・大学院教育

系統分類学特論 (主任)

ゼミナール I, II (主任)

環境人間学研究科共生博物部門博士前期 (修士) 課程課題研究指導 (主任 1 名; 分担 2 名)

非常勤講師

2010.12 (集中), 「進化生態学特殊講義 A」, 琉球大学理学部・大学院理工学研究科.

■学校教育支援

学校団体対応

2010.4.27, 大阪府立泉北高等学校 (20 名)

2010.5.14, 県立有馬高等学校 2 年生 (42 名)

2010.10.14, 明石市立大久保南小学校 3 年生 (194 名)

■フェスティバル等

2010.11, ひとはくフェスティバル, 「敷地内乗り入れ車両の整理」

2011.2, 共生の広場, 「連携会員等による研究発表会」(審査委員)

■展示

企画展

2010.7.10-2011.1.12, 企画展「瀬戸内海 vs 日本海」(分担者)

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等

2010.4-. 世界自然保護基金日本委員会 (WWF ジャパン) 運営委員.

2010.4-. 雑誌「SEEDer」編集委員.総合地球環境学研究所—昭和堂印刷.

2010.4-. WWF ジャパン南西諸島生物多様性評価プロジェクト委員, WWF ジャパン.

2010.4-. 宮崎県日南市オキナワキノボリトカゲ委員会学術顧問, 日南市.

2010.7-. 新石垣空港環境モニタリング委員会委員, 沖縄県.

2010.9-. 西表島エコロード検討委員会委員, 沖縄県.

2010.11-. 絶滅の恐のある野生動物の種の選定・評価検討会 爬虫・両生類分科会委員, 環境省.

2010.12-. Amphibian Ark 種選定日本委員会委員, 日本動物園水族館協会.

2011.1-. オオヒキガエル防除事業対策会議委員, 環境省.

相談・指導助言

来訪者 14 件, 23 名. 電話・FAX 相談 12 件, メール相談 11 件.

■学会開催等支援

2010.6, 日米オオサンショウウオの生物学と保全に関するワークショップ (Japan-US Joint Workshop on the Biology and Conservation of Giant Salamanders) 開催.

橋本 佳明, Yoshiaki HASHIMOTO

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門 准教授
昭和31年大阪府生 神戸大学大学院自然科学研究科博士課程
修了、学術博士、昆虫学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.研究開発部門

研究・シンクタンク推進室 グローバルプログラム担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究（個人研究）

- 1.膜翅目昆虫（アリ類等）の系統分類学的研究
- 2.熱帯雨林生物多様性に関する研究
- 3.昆虫を素材にした環境教育システムの研究
- 4.共生生物学

■共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援および地域振興に関する研究」、研究分担者。
部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」、研究分担者。

■論文・著書（県政課題に関連するものは、先頭に◎）

Yoshiaki HASHIMOTO and Maryati MOHAMED (2011)
Soil-dwelling ant diversity in Maliau Basin, Borneo: Evaluation of
hand-sorting methods to estimate ant diversity. TROPICS 19(2)
85-92

◎橋本佳明 (2010) 「あきつ賞」受賞サイト (3)
ウェブサイト兵庫県立人と自然の博物館「ハチと
アリの博物館」の構築とその活動.昆虫 (ニューシリー
ーズ),13(3・4) 144-147

長島聖大, 橋本佳明, 山岡亮平 (2010) アリの行列実
演—アミメアリの道しるべフェロモンを利用した簡
易な行列観察法について. 11 巻 16-20

■その他著作

橋本佳明 (2010) 書評「アリの生態と分類」. 日本熱
帯生態学会ニュース. No.80 19-20

■ブログへの情報提供

5 件

■研究発表

Hashimoto, Y., T. Endo & T. Itioka (2010) Do biodiversity of
ant-mimic spiders associate with ant biodiversity?. IUSSI
(International Union for The study of Social Insects) XVI
congress, University of Copenhagen, Denmark.

Ohashi M., Y. Hashimoto, et al (2010) Role of social insects on
soil carbon dynamics in forest ecosystems. IUSSI (International
Union for The study of Social Insects) XVI congress,
University of Copenhagen, Denmark.

Iwayama H., Y. Hashimoto, et al (2010) Sources of hot spot of

soil respiration in a dry evergreen forest in Thailand.

Symposium on the use of new techniques to understand gas
exchange and carbon dynamics in the forest ecosystem, Kyoto
University

Iwayama H., Y. Hashimoto, et al (2010) Sources of hot spot of
soil respiration in a dry evergreen forest in Thailand. The
1st Annual Meeting for Researchers in Sakaerat, Sakaerat
Environmental Research Station, Thailand

■学会役員など

DIPWA Network for Establishment of Ant Reference
Collections (ANeT) 評議委員.

Naturwissenschaften レフェリー

Asian myrmecology レフェリー

Japanese Journal of Entomology レフェリー

■助成を受けた研究

地球規模生物多様性情報機構 (GBIF) の促進におけ
る生物多様性データベース作成課題 「鱗翅目デー
タベース」 独立行政法人 科学技術振興機構, 研
究分担者 (630 万円/3600 万円)

東南アジア熱帯雨林における土壌呼吸のホットスポッ
ト現象に関する研究 文部科学省科学研究費 若手
研究 (A) 研究分担者 (620 万円/2316 万円)

■海外調査

2010.7 マレーシア・サラワク州

2010.7 タイ国 サケラート

2010.9 タイ国 サケラート

2010.10 タイ国 サケラート

2011.2, タイ国 サケラート

2011.3 タイ国 サケラート

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.7 マレーシア・サラワク州 アリ類の採集

2010.7 タイ国 サケラート アリ類の採集

2010.9 タイ国 サケラート アリ類の採集

2010.10 タイ国 サケラート アリ類の採集

2011.2, タイ国 サケラート アリ類の採集

2011.3 タイ国 サケラート アリ類の採集

■受贈担当資料

なし

■整理同定担当資料

佐藤チョウ類コレクション 4000 点昆虫.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

橋本佳明 2010.5, 姉妹県フランスアベロンの自然と
ミクロボリス紹介, 博物館 (45 名)

橋本佳明 2010.11 生物多様性測定セミ, 博物館 (10
名)

◎橋本佳明 2010.11, 「生物系収蔵庫ツアー」, 博物館.

(52 名)

◎橋本佳明 2011.3 水木ツアー,篠山.(10 名)

◎橋本佳明 2010.3,「生物系収蔵庫ツアー」, 博物館.

(36 名)

橋本佳明 2010.12 人博ってなんだろう—伊丹昆虫館
ツアー, 博物館 (30 名)

館外講演など

橋本佳明 2010.7「生物多様性と環境問題」, 大阪堺品
質保全協議会, 講師, 農林水産消費安全技術センター (120
名)

橋本佳明 2010.8 “Ant course”, カルフォルニア・アカ
デミー, 講師, ダナムバレー・フィールドセンター
(60 名)

橋本佳明 2010.11「生物多様性と環境問題—小さなアリの
世界から地球環境問題と生物多様性保存を考える—」, 近
畿土壌肥料研究協議会, 講師, 大阪府教育会館 (70 名)

橋本佳明 2011.3「熱帯雨林の不思議なアリたちへ吹けば
飛ぶようなアリをさがして〜ジャングル探検記」, 榎原
昆虫館むしムシせみなる, 講師, 榎原昆虫館 (40 名)

兵庫県立大学・大学院教育

共生博物学 (分担 2 回)

兵庫県立付属中学校

2 年生プロジェクト学習 (分担全 10 回)

■学校教育支援

学校団体対応

2010.4,近大付属豊岡中学校 2 年生(60 名)

2010.4,淳心学院中学校 1 年生(144 名)

2010.7, 愛媛県立松山南高等学校 1 年生(45 名)

2010.10,佐用小学校 3 年生 (47 名)

■フェスティバル等

2010.11, ひとはくフェスティバル,「ひとはくいきも
のかわらばん表彰式」(分担者).

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫案内, 8 回, 130 名.

■行政支援

委員会等

なし

相談・指導助言

来訪者 6 件, 15 名. 電話・FAX 相談 10 件, メール相
談 7 件.

2010.10, COP10 特別番組「世界のドキュメンタリー:
アリに魅せられて—ボルネオ女性学者が見つめる熱
帯雨林」企画相談 NHK

沢田 佳久, Yoshihisa SAWADA

自然・環境評価研究所

昆虫共生系研究グループ

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門 助手.
昭和34年京都府生. 九州大学大学院農学研究科修了, 農学博士,
日本昆虫学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

生涯学習推進室

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. オトシブミ, チョッキリの多様性

■共同研究

総合共同研究「民間宿泊施設との連携による、環境学習支援
および地域振興に関する研究」

■論文・著書

沢田佳久（2010）海浜性トビロヒョウタンゾウムシの二
島嶼からの発見. 日本生物地理学会会報, 65: 163-167. 沢
田佳久・岸幹男（2010）兵庫県豊岡市におけるエグリ
クチブトゾウムシの記録. 月刊むし, (475): 43.

■その他著作

沢田佳久（2011）コウチュウの絵かき虫, チョッキリ類の
産卵口と潜襲性. 広渡俊哉（編）, 「絵かき虫の生物学」,
12-21, 72-83. 北隆館.

■ブログへの情報提供

24 件

■研究発表

沢田佳久（2010）マメヤハズの変異と多様性. 日本昆虫学
会第70回大会, 山形大学, 鶴岡市.
沢田佳久（2010）高槻市におけるタチバナチビチョッキリ
の発見と意義. 日本昆虫学会近畿支部大会, 人と自然の博
物館, 三田市.

■学会役員など

日本昆虫学会, 電子化推進委員.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2010.4-2011.3 各種昆虫類. 三田市等
2010.7 成ヶ島の甲虫類. 洲本市
2010.5 男鹿半島周辺の甲虫類. 秋田県
2010.5-7 舞鶴市建部山, 久田美付近の甲虫類. 京都
府

■受贈担当資料

2010.7, 高槻市産タチバナチビチョッキリ（田久保コ
レクション）. 1 点.
2010.7, 姫路産ヒラズゲンセイ標本（圓尾コレクショ
ン）. 1 点.

2011.2, 日本産ゾウムシ科標本（中村コレクション）.
約 2,000 点.

2011.2, タマキノコムシ科ホロタイプ標本（保科コレ
クション）. 3 点.

■整理同定担当資料

昆虫（鞘翅目, 半翅目ほか）.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

沢田佳久, 2010.4, 「もいちど始める昆虫採集」（遠征編）,
博物館. (5 名)

沢田佳久, 2010.5, 「深田公園オトシブミ観察会」◎, 博物
館.

沢田佳久, 2010 7, 「小さな虫の標本作り」, 博物館. (20
名)

沢田佳久, 2010.8, 「土の中のむし」, 博物館. (20 名)

沢田佳久, 2010.9, 「虫の体を調べよう」, 博物館. (10
組)

沢田佳久, 2010.10, 「デジタルの虫で遊ぼう」◎, 博物館.
(20 名)

沢田佳久, 2010.10, 「とびだせ立体写真!」◎, 博物館.
(20 名)

沢田佳久, 2010.11, 「立体写真入門」, 博物館. (10 名)

沢田佳久, 2011.2, 「ゾウムシ学序論」◎, 博物館. (5 名)

館外講演など

沢田佳久, 2010.5, 「身近な昆虫の再発見」, 丹波特別公
開講座, 講師, 丹波の森公苑 (40 名).

沢田佳久, 2011.3, 「自然史研究と証拠標本 —昆虫の
分類, 生態研究を中心に—」, 連携公開セミナー, 講
師, 大阪府立大学 (60 名).

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

展示作成

2010.6 トピック展（田久保コレクション）

2010.12 干支展

2010.2 江田コレクション（部分改修）

■連携事業

連携グループ等

アピス同好会（副担当）

共催事業

2010.5, 企画展「安田守写真展 巻いた葉に卵をうむ
不思議なムシ〜オトシブミ」, 芥川緑地資料館（展示
制作, セミナー）

協力事業

2010.7, 「夜の展覧会と昆虫観察会〜親子のナイトミュージ
アム!」, 陶芸美術館（セミナー）

■学校教育支援

トライやるウィーク

2010.6.8-6.11, 中学校 3 名.

講師派遣

2010.6, 「多様性のはなし」, 講師, 有瀬児童館 (10 名).

■展示

企画展

2010.7.17-2010.12.26, 特別企画「瀬戸内海 vs 日本海」
(分担者).

ミニ企画展

2011.2 ミニ展示 (3D 巨大甲虫出現!)

2011.3 ミニ展示 (3D 小さな美麗虫! クチブトゾウムシ)

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 数回, 数名.

■行政支援

相談・指導助言

来訪者 10 件程度, 電話・FAX・メール相談等, 計 30 件程度.

八木 剛, Tsuyoshi YAGI

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ／企画調整室

主任研究員

昭和43年大阪府生. 神戸大学大学院農学研究科修士課程
修了. 農学修士. 日本昆虫学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

企画調整室副室長, 予算計画等担当

2.タスクフォース

COP10 推進タスクフォース, サブリーダー, 展示製作・現地出展等担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 昆虫分布の解釈に関する研究
2. 兵庫県の昆虫相の特性に関する研究

■その他著作

2009 佐用町昆虫館復興支援ネットワーク(編・発行)
(2010) 佐用町昆虫館、台風災害と復興の記録, 32pp.

■ブログへの情報提供

5件

■研究発表

安岡拓郎・八木 剛・前藤 薫・竹田真木生(2010) 室内環境におけるヒメボタル発光時刻の観察. 日本昆虫学会近畿支部2010年度大会・日本鱗翅学会近畿支部第141回例会, 兵庫県立人と自然の博物館, 三田市.

八木 剛・安岡拓郎・(2010) ヒメボタルの地理的変異(分子以外). 昆虫DNA研究会第7回研究集会, 名古屋大学, 名古屋市

■学会役員など

日本昆虫学会, 近畿支部幹事

■助成を受けた研究

博物館での「演示」の実施による環境学習効果の研究.
科学研究費補助金基盤研究(C). 研究代表者(60万円/350万円)

小規模ミュージアムにおける災害復興のあり方. 平成22年度兵庫県シンクタンク等協議会自主研究グループ助成金, 研究代表者(30万円/30万円)

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.5-7, ホタル類. 伊丹市, 神戸市, 新温泉町, 愛知県, 奈良県, 大阪府

2010.4-10, 各種昆虫類. 三木市, 香美町

■受贈担当資料

2010.5, 世界のチョウ(関谷善文氏コレクション). 7,000点.

2011.3, 戦前の昆虫(平山修次郎コレクション). 10,000点.
(兵庫県環境学習課から所管替え)

■整理同定担当資料

昆虫(双翅目, 蛾類, トンボ類, 直翅類).

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

八木 剛, 2010.4-2011.3. 「ユース昆虫研究室」. 兵庫県立三木山森林公園・博物館(全13回, 150名).

八木 剛, 2010.5-2010.7, 「ヒメボタル観察会インストラクター養成講座」, 国崎クリーンセンター啓発施設等.(全5回, 34名).

八木 剛, 2010.8, 「楽しい蚊帳遊び」, 博物館.(全2回, 1名).

八木 剛, 2010.9, 「ふかたん トンボとりペナントレース」, 博物館.(全1回, 1名).

八木 剛・安田和代, 2010.10, 「ヒメボタルの幼虫をみつけよう」, 愛知県護国神社・名古屋城外堀.(全1回, 19名).

八木 剛, 2010.11, 「六甲山のホタル」, クラーク記念国際高等学校.(全4回, 85名).

八木 剛, 2011.1, 「園児が虫を持ってきたら?」, 博物館と幼稚園・保育園フォーラム.(全1回, 30名).

特注セミナー

八木 剛, 2010.9, 「ビオトープについて」, NPO法人シニア自然大学校(全3回, 143名).

八木 剛, 2010.5, 「ミヤマアカネについて」, 宝塚市立西山小学校(87名).

八木 剛, 2010.9, 「ひとはくで虫とり」, 稲美町立天満小学校(110名).

八木 剛, 2010.10, 「水辺の昆虫の鑑定」, 稲美町立天満東小学校(58名).

八木 剛, 2010.11, 「校区の昆虫」, 明石市立明石小学校(85名).

八木 剛, 2010.11, 「昆虫のはなし」, 宝塚市立逆瀬台小学校(69名).

八木 剛, 2010.8, 「親子でトンボとりペナントレース」, みこころ幼稚園親子学級(126名).

館外講演

八木 剛, 2010.5, 「春の昆虫大作戦」, こうべ環境未来館(43名).

八木 剛, 2010.6, 「ホタルについて」, 上郡町小山公民館(80名).

八木 剛, 2010.8, 「感動!セミの羽化」, 有栖川記念公園, 港区麻布地区総合支所(80名).

八木 剛, 2010.8, 「かがやけ!昆虫少年」, 日本生物教育会全国大会兵庫大会, 神戸学院大学(300名).

八木 剛, 2010.8, 「ヒメボタルのふしぎーキミもホタル博士だー」, 国際ヒメボタルサミット in COP10 愛知・名古屋実行委員会, 名古屋市科学館(300名).

八木 剛, 2010.9, 「宝塚のトンボと水辺環境」, いきいき学舎・フレミラ 環境・自然コース1年次, フレミラ宝塚 (20名).

八木 剛, 2010.9, 「秋の鳴く虫」, いきいき学舎・フレミラ 環境・自然コース1年次, フレミラ宝塚 (20名).

八木 剛, 2010.10, 「日本の自然、ヨーロッパの自然、赤とんぼは日本の文化」, いきいき学舎・フレミラ 環境・自然コース1年次, フレミラ宝塚 (20名).

八木 剛・ミヤマアカネ生態研究会, 2010.9-10, 「ミヤマアカネのマーキング」, いきいき学舎・フレミラ 環境・自然コース2年次, 逆瀬川河川敷 (全3回, 60名).

■ミニキャラバン事業

2010.8, 神戸元町・夏の昆虫館 (主担当), (財) 兵庫県学校厚生会, アートホール神戸.

2010.9, 生物多様性フォーラム (分担者), (財) ひょうご環境創造協会, 兵庫県公館.

2010.10, 生物多様性交流フェア (分担者), COP10 支援実行委員会, 名古屋市白鳥公園.

■連携事業

連携グループ等

NPO 法人人と自然の会 (アドバイザー: 主)

run♪run♪ plaza (アドバイザー: 主)

テネラル (アドバイザー: 主)

あかねちゃんクラブ (ミヤマアカネ生態研究会) (アドバイザー: 主)

きんひばり (アドバイザー: 副)

さんぽクラブ (アドバイザー: 副)

地域研究員: 吉田浩史 (アドバイザー: 主)

佐用町昆虫館 (連携施設) (主担当)

成果発表

2010.5, 公園・花・こども国際フォーラム, 「親子で昆虫採集 in 灘山」, ひとく連携活動グループ テネラル (指導・助言)

2011.2 第6回共生の広場「六甲アイランドに植栽されたタブノキを激しく食害するホシベニカミキリ」, 中安慎太郎・堀内湧也・牧田 習 (ユース昆虫研究室)・吉村卓也(テネラル) (指導・助言)

2011.2 第6回共生の広場「あかねちゃんクラブとみやまあかね祭の6年間」, 辰巳淳子・ミヤマアカネ生態研究会 (助言)

2011.2 第6回共生の広場「ミヤマアカネリサーチプロジェクトの取り組み」, 宝塚市立西山小学校 (助言)

2011.2 第6回共生の広場「帰ってきたミヤマカラスアゲハ」, 佐用町立佐用小学校3年 (助言)

共催事業

2010.4-5, 親子で昆虫採集 in 灘山, 公園・花・こども国際フォーラム実行委員会 (講師)

2010.6, 昆虫アドベンチャー (1泊2日), run♪run♪ plaza (講師)

2010.6, ホタルのタベ (ゲンジボタル編), 佐用町昆虫館 (講師)

2010.6, 昆虫アドベンチャー (1泊2日), run♪run♪ plaza (講師)

2010.7, ホタルのタベ (ヒメボタル編), 佐用町昆虫館 (講師)

2010.7-2010.8, ひとく博士と行く昆虫サマースクール, ハチ北高原, run♪run♪ plaza (講師)

2010.8, 第6回みやまあかね祭, 宝塚ゴルフ倶楽部, あかねちゃんクラブ (講師)

協力事業

2010.7-8, 特別展「ふしぎ! 昆虫パワー」, 名古屋市科学館 (展示資料貸出)

2010.11, 「～いろいろいるねん つながってるねん～『みんないきもの展』」, キッズプラザ大阪 (展示資料貸出)

■学校教育支援

講師派遣

2010.5, 「校区の昆虫」, 明石市立明石小学校3年生 (85名).

2010.7, 「校区の昆虫」, 明石市立明石小学校3年生 (85名).

2010.7, 「ミヤマアカネについて」, 宝塚市立西山小学校4年生 (87名).

2010.9, 「トンボの標本づくり」, 宝塚市立西山小学校4年生 (87名).

■研究生等の受入

卒論生等

2010.6-2010.8, Felice Forby (神戸大学大学院農学研究科/オハイオ州立大学), ヒメボタルの保全と市民活動.

■フェスティバル等

2010.11, ひとくフェスティバル, 「駐車場係」 (分担者).

■展示

ミニ企画展

2010.6-, 「はってなQ便展」 (分担者).

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 5回, 10名.

■行政支援

委員会等

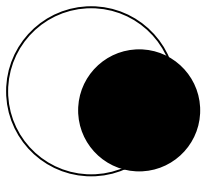
2010.4 公園・花・みどり国際フォーラム実行委員 相談・指導助言

2010.4, チョウ類の保全について. 西日本高速道路(株)

■学会開催等支援

2010.12, 日本昆虫学会近畿支部大会開催. 55名.

2011.2, 兵庫トンボ研究会総会開催. 15名.



個人別成果報告に関する資料

No. 3

● 自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ
動物共生研究グループ

江崎 保男, Yasuo EZAKI

自然・環境マネジメント研究部
流域生態研究グループ／総合調整担当
研究部長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 田園生態系次長, 田園生態保全管理部門生態研究部門 教授, 兵庫県立コウノトリの郷公園研究部長.

昭和26年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本鳥学会, 応用生態工学会, 日本生態学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

館内研究系の調整

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. ダム水源地を含む流域生態系保全に関する研究
2. 人と陸域生物群集の相互作用に関する研究

■共同研究

部門研究「共生の現実と未来」, 研究代表者.
「水源地域におけるダムと周辺森林相互作用の生態学的研究」研究グループ長, 水源地生態研究会.

■論文・著書

江崎保男・佐竹節夫・吉沢拓祥・三橋陽子・大迫義人
2011. 敗者の死亡につながるコウノトリ間の激しい闘争. 山階鳥類学雑誌 (印刷中).

■その他著作

江崎保男 2010. COP10 と生物多様性をエコロジカルに紐解く. 環境技術 39, 8: 1-5.

江崎保男 2010 「川は森に発し, 海に下る」第6回加古川流域交流フォーラム記録集, 北播磨県民局・東播磨県民局・丹波県民局.

中島拓・東淳樹・一柳英隆・武浪秀子・江崎保男 2011. 寒河江ダム月山湖の水位変.

動帯湿性草原における小型哺乳類の餌. 大井沢自然博物館研究紀要 (印刷中).

沼宮内信之・武浪秀子・白井明夫・一柳英隆・江崎保男 2011. 寒河江ダム上流端で初夏に干出する湿地土砂から芽生えた植物の種組成. 大井沢自然博物館研究紀要 (印刷中).

■研究発表

脇坂英弥・脇坂啓子・江崎保男 「予測できない自然撓乱がケリの繁殖におよぼす影響」日本鳥学会 2010 年度大会, 東邦大学, 船橋.

薮優子・江崎保男・太田英利 「西日本に生息するヤモリ属2種の繁殖と食性について」日本爬虫両生類学会第49回大会, 慶応大学, 横浜.

◎江崎保男・遠藤菜緒子・前畑晃也 (2010) 人と軋轢を生じているカワウ・サギ類との共生を果たす戦略の基礎研究. 平成22年度兵庫県立大学研究発表会, 兵庫県立大学, 明石市.

■学会役員など

日本鳥学会, 会長 (2010.1~)

日本鳥学会, 評議員

応用生態工学会, 理事 (2009.10~)

応用生態工学会, 技術援助委員会委員 (2010.4.1~)

国際ワークショップ「生物多様性に向けた応用生態工学からのアプローチ~COP10 名古屋に向けて~」実行委員 (2009. 10.1~2010.5.14)

日本鳥学会員近畿地区懇談会, 世話人

平成22年度科学研究費補助金(特定奨励費)「山階鳥類研究所データベースシステムの構築と公開」, 外部評価委員

■助成を受けた研究

水源地域におけるダムと周辺森林相互作用の生態学的研究. ダム水源地環境整備センター. 研究代表者 (金額 100 万円).

2. 資料収集・整理

■資料の閲覧サポート

2010.05.11 岩橋 徹 (バードカーバー) 「オオタカとノビタキの閲覧・計測」.

2010.9.28-29 吉村卓三 (作家) 「小林コレクション・卵標本の閲覧・計測・撮影」.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎江崎保男 2010.5 ひとはくセミナー「都市の生態系, そしてカラス」, 博物館. (全1回, 15名).

◎江崎保男 2010.6 ひとはくオープンセミナー「鳥を知る」, 博物館. (全1回, 15名).

◎江崎保男 2010.6 「なぜ多様な生物がいるのか?」, ひとはくセミナー「生態学からみた生物多様性 (オムニバス)」, 博物館. (全1回, 37名).

◎江崎保男・薮優子 2010.7 ひとはくセミナー「人とともに暮らす動物たち」, 博物館. (全1回, 18名).

館外講演など

江崎保男 2011.2.17 「自然とはなにかーエコロジカル

な視点から」講師，シニア自然大学校，大阪 NPO
プラザ（200 名）。

江崎保男 2011.3.8 「自然とはなにか」講師，豊岡市，
コウノトリ文化館（100 名）。

兵庫県立大学・大学院教育

<講義等>

生態学特別演習（博士前期）

特別ゼミナールⅠ（博士前期）

特別ゼミナールⅡ（博士前期）

特別研究（博士前期）

環境人間学特別演習（博士後期）

環境人間学特別研究（博士後期）

共生博物学（学部）

<委員>

全学評価制度検討委員会委員

環境人間学研究科将来計画委員会委員

<学生指導（指導教員として）>

2009.4-2011.3 荻優子（環境人間学研究科博士前期課程 2 年）
「西日本に生息する固有種タワヤモリの繁殖と食性に関
する研究—同所的に生息する同属種ニホンヤモリとの比
較を中心に」修士論文主査。

2009.4-2011.3 山田映子（環境人間学研究科博士前期課程 2
年）「なわばりを軸とした 2 種のカラスの社会と生態（総
論）」修士論文主査。

2010.4-2011.3 仲野碧（環境人間学研究科博士前期課程 1 年）
「イソヒヨドリの都市での繁殖生態に関する研究」。

2010.4 脇坂英弥（環境人間学研究科博士後期課程 1 年）「人
為管理下の農地に生息する鳥類の生態学的研究」。

<学生指導（副指導教員として）>

2009.4-2011.3 関 香菜子（環境人間学研究科博士前期課程 2
年）「ツキノワグマにおける忌避条件付けの有無と土地利
用の関係」修士論文副査。

2009.4-2011.3 梅田浩尚（環境人間学研究科博士前期課程 2
年）「コナラ林・スギ林におけるニホンジカの生息密度に
伴う植物多様性の変化パターンと比較」修士論文副査。

2009.4-2011.3 渡辺昌造（環境人間学研究科博士前期課程 2
年）「オオカクツツトビケラの生活史と呼吸特性からみた
生息分布」修士論文副査。

2009.4-2011.3 坂本和繁（環境人間学研究科博士前期課程 2
年）「スズムシ（*Meloidomorpha japonica*）の行動カタログと
オス間の順位と行動」修士論文副査。

2010.4 中塚圭子（環境人間学研究科博士後期課程 1 年）「人
と犬の共生社会の創造」。

平成 23 年度大学院環境人間学研究科博士前期課程（A 日程）
専門科目の出題および採点委員 同 口述試験 面接委
員。

平成 23 年度人と自然の博物館任期付き研究員採用専門問題
作成および採点委員 同 業績審査委員 同 口述試験
面接委員。

<その他>

自然・環境科学研究所教員評価委員会，委員。

自然・環境科学研究所自然環境系教員評価部会，委員。

環境人間学部教員選考委員会，外部委員（2010.7.1-9.30）。

環境人間学研究科資格認定委員会，副委員長。

■連携事業

連携グループ等

溝田 浩美（ひとく地域研究員）

脇坂 英弥（ひとく地域研究員）

楠瀬 雄三（ひとく地域研究員）

工 義尚（ひとく地域研究員）

成果発表

楠瀬雄三・福井 亘「冬季における大阪城の樹林性鳥
類相」共生の広場 5 号：89。

■フェスティバル等

2010.11 ひとくフェスティバル，「館内支援」。

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等（計 22 件）

2009.6- 兵庫県環境審議会，委員，兵庫県。

2009.6- 兵庫県環境審議会，鳥獣部会長，兵庫県。

2006.12-2010.9 コウノトリ保護・増殖（野生化）対策
会議，委員，兵庫県

2008.8- 水源地生態研究会，委員長，（財）ダム水源
地環境整備センター。

2004.4- 川上ダム自然環境保全委員会，委員，水資源
開発機構。

2004.4- 川上ダム希少猛禽類保全検討会，委員長，水
資源開発機構。

2004.4- 安威川ダム自然環境保全対策検討委員会，委
員，大阪府。

2004.10- 畑川ダム環境保全検討委員会，委員，京都
府。

2007.11- 近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会，
委員，国土交通省。

2009.8- 与布土ダム環境保全検討委員会，委員長，兵
庫県。

2009.4.1- 河川・海岸環境機能等検討委員会，委員，
リバーフロント整備センター。

2009.9.4- 外来生物対応方策検討委員会，委員，兵庫
県。

2006.6- 長谷ダムにおける「ダム水辺の生物調査」ア
ドバイザー，兵庫県。

2007.6- 金出地ダム鳥類モニタリング，アドバイザー，
兵庫県。

2007.7- 平成 22 年度緑のふるさと林道建設事業（奥
寄線）調査業務，アドバイザー，京都府。

2009.10- 緑の生活林道建設業務（調査業務委託）丹
波広域基幹林道，アドバイザー，京都府。

2007.8- 丹住谷川通常砂防事業鳥類調査，アドバイザ
ー，京都府。

2008.3- 上流武庫川自然を活かした治水対策，アドバ
イザー，兵庫県。

2010.4- 紀の川湛水域生物生態調査, アドバイザー,
国土交通省, 和歌山河川国道事務所.
2010.4- 由良川河川水辺の国勢調査, アドバイザー,
国土交通省, 福知山河川国道事務所.
2010.10- 新名神高速道路兵庫県域自然環境保全検討
会, 委員, 西日本道路株式会社関西支社・西日本高
速道路エンジニアリング関西株式会社.
2010.10- 和田山八鹿道路環境保全調査, アドバイザ
ー, 国土交通省.
2010.10- 加古川小野線東播磨南北道路環境調査, ア
ドバイザー, 加古川土木事務所.

相談・指導助言

来訪者 40 件, 180 名. 電話・FAX 相談 30 件, メール
相談 10 件.

田中 哲夫, Tetsuo TANAKA

自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ／研究・シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門
准教授.

昭和23年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博士課程
修了. 理学博士. 日本生態学会, 日本魚類学会, 兵庫県
県政学会, 魚類自然史研究会, 関西自然保護機構, 兵庫
陸水生物研究会, ひょうご水辺ネットワーク等所属.

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 魚類の個体群動態と生産に関する研究
2. 外来生物の侵入と水域生態系の応答に関する研究
3. 河川改修が魚類群集に及ぼす影響に関する研究
4. 淡水魚の分布と環境情報の解析

■共同研究

部門研究「共生の現実と未来」分担者

■論文・著書

◎田中哲夫・佐藤裕司・永吉照人・谷本卓弥(2010)
「絶滅危惧種カワバタモロコをはじめとした水生動物
の定着過程」ーキリンビール神戸工場レフュジア
ビオトープでの実験ー, 人と自然, 21:151-158.

■その他著作

- ◎田中哲夫(2010)「淡水魚を見わかる」, ひととはく新聞,
2010/6/30.
- ◎田中哲夫(2010)「カワバタモロコの増殖に成功」,
ひととはく新聞, 2010/9/30.
- ◎田中哲夫(2010)「カワバタモロコ」, ひととはく図鑑,
ひととはく新聞, 2010/9/30.
- 田中哲夫(2011)「池の上にも20年」, ひととはくコラム,
ひととはく新聞, 2011/3/19.
- ◎田中哲夫・佐藤裕司・永吉照人・今西将行・谷本卓
弥(2011)「キリンビール神戸工場レフュジアビオト
ープに関する研究X」, レフュジアビオトープ研究会.

■ブログへの情報提供

3件

■研究発表

- 田中哲夫・信本 励(2010) 河川改修が魚類群集に与
える影響. 日本魚類学会, 三重大学, 津.
- 田中哲夫・信本 励(2011) 河川改修が魚類群集に与
える影響. 日本生態学会, 札幌.

■助成を受けた研究

治水と希少種の保全は両立するか(河川改修と魚類の
応答) 河川環境管理財団, 研究代表者(金額98万円/196
万円).

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4-2011.3 兵庫県産水生生物.

■受贈担当資料

2010.10 土井コレクション3(兵庫県産水生生物). 5
点.

■整理同定担当資料

淡水魚および水生生物全般.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 田中哲夫, 2010.4-2010.5, 「ため池を探索」, 博物館・
三田市香下ため池群. (全4回, 62名).
- 北村俊平・江崎保男・田中哲夫・三橋弘宗・遠藤菜緒
子, 2010.6, 「生態学からみた生物多様性」, 博物館.
(37名).
- 田中哲夫, 2010.8, 「キリンビール・ビオトープ池調査」,
夏季教職員セミナー, 博物館・キリンビール神戸工
場. (14名).
- 田中哲夫, 2010.9-2010.10, 「ビオトープ池を調べる」,
高校連携セミナー, 博物館・キリンビール神戸工場.
(全3回, 24名).
- ◎田中哲夫, 2010.4, 川の魚の生活, 博物館・常設展
示(3名).
- ◎田中哲夫, 2010.8, 川の魚の生活, 博物館・常設展
示(21名).
- ◎田中哲夫, 2010.11, チリモンイベント(分担者), (338
名).
- 田中哲夫, 2010.8, 「キリンビオトープ観察」, 香川県
立観音寺高校, 博物館・キリンビール神戸工場(34
名).
- 田中哲夫, 2010.8, 「里山にあそぶ」, 丹波の森大学,
博物館(26名).

館外講演など

- 田中哲夫, 2010.5, 「キリンビオトープ探検隊」, 神戸
市立六甲山小学校, 神戸工場(36名).
- 田中哲夫, 2010.5, 「キリンビオトープ探検隊」, 明石
市立中崎小学校, 神戸工場(48名).
- 田中哲夫, 2010.7, 「青垣の淡水魚」, 青垣・生き物ふ
れあいの里, 丹波市(27名).
- 田中哲夫, 2010.7, 「ため池や水路の魚たち」, 県立西
谷の森公園, 宝塚市(12名).
- 田中哲夫, 2010.8, 「ため池を遊ぶ」, 農水利施設管理
研修会, JA 六甲三田, 三田市, (121名).
- 田中哲夫, 2010.10, 「ため池を遊ぶ」, 農水利施設管理
研修会, 西神文化センター, 神戸市, (35名).
- 田中哲夫, 2010.11, 「水辺の生き物を味わう」, ひょう
ご「子どもの水辺」交流会, 兵庫県河川計画課, HDC
神戸, (35名).

兵庫県立大学・大学院教育

- 兵庫県立大学集中講義「共生博物学」(分担).
- 2010.9, 「キリンビオトープの環境への取り組み」, キ

リンビール神戸工場, 神戸市 (24 名).

■非常勤講師

2010.10, 「武庫川の淡水魚」, 神戸大学「生物学野外実習」, 篠山市 (26 名).

2010.12, 「武庫川の水生動物」, 神戸大学「生物学野外実習」, 篠山市 (26 名).

2010.11, 「進化と生物多様性」, 関西学院大学「環境学習」, 三田市 (240 名).

2010.11, 「治水と河川環境」, 関西学院大学「環境学習」, 三田市 (240 名).

2010.11, 「外来生物と環境」, 関西学院大学「環境学習」, 三田市 (240 名).

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

谷本卓弥 (ひとく地域研究員)

琢磨千恵子 (ひとく地域研究員)

法西 浩 (ひとく地域研究員)

藤田茂宏 (ひとく地域研究員)

副担当

森本静子 (ひとく地域研究員)

■連携事業

連携グループ等

丹波のホトケドジョウを守る会 (ひとく連携活動グループ; 主担当).

山東の自然に親しむ会 (ひとく連携活動グループ; 副担当).

NPO 里山レンジャー (ひとく連携活動グループ; 副担当).

成果発表

2011.2 共生の広場 「魚たちと見た鴨川地区の川」, 岸本清明, (加東市立東条西小学校・ひとく地域研究員) (指導).

2011.2 共生の広場 「メダカの保護を主とした篠山市今田地域での環境学習」, 浅田智広・大江 健 (篠山市立今田小学校) (指導).

2011.2 共生の広場 「武庫川上流の魚類」, 荒賀良太・佐藤優也・中川拓也・田井彰人, (兵庫県立篠山産業高校丹南高 ホタル研究会) (指導).

共催事業

20010.5, 「環境学習会 ビオトープの生き物探検」, キリンビール神戸工場, 講師, (84 名).

■研究生等の受入

博物館実習

2010.8.6-8.17, 琉球大学農学部学生 1 名, 滋賀県立大学環境科学部学生 1 名, 近畿大学農学部学生 1 名.

■フェスティバル等

2009.11 チリモンイベント分担

■展示

企画展

2010.7.17-12.26, 企画展示「ひょうごの生物多様性 瀬戸内海 VS 日本海」(分担者).

ミニ企画展

2011.2.15-2011.5.15, ミニ企画展「六甲山のキノコ展

2011—野生のキノコの不思議な魅力.(分担者).

2.シンクタンク事業

■受託研究

「キリンビール神戸工場におけるレフュジアビオトープに関する研究」. 代表者, キリンビール神戸工場. (70 万円).

■収蔵庫・ジーンファームの公開

液浸収蔵庫の案内, 3 回, 14 名.

■行政支援

委員会等 (15 件)

2010.4-2010.9 尼崎市環境審議会, 委員, 尼崎市環境局.

2010.4-2011.3 県立宝塚西谷の森公園運営協議会, 委員, 宝塚市.

2010.6-2011.3 「兵庫の貴重な自然」改定方針検討委員会, 委員, 兵庫県環境課.

2010.6-2011.3 「兵庫の貴重な自然」生態系 RDB 検討委員会, 委員, 兵庫県環境課.

2010.4-2011.3 大滝ダム運用環境調査委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.

2010.4-2011.3 兵庫県環境影響評価審査会, 委員, 兵庫県環境影響評価室.

2010.4-2011.3 円山川水系自然再生推進委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局, 兵庫県但馬県民局.

2010.4-2011.3 猪名川自然環境委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局, 猪名川河川事務所.

2010.4-2011.3 猪名川自然環境委員会・構造部会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局, 猪名川河川事務所.

2010.4-2011.3 武庫川水系に生息・生育する生物及びその生活環境の持続に関する 2 つの原則に係る専門検討委員会, 委員, 兵庫県県土整備部土木局.

2010.9-2011.3 「篠山の身近な自然再生委員会」, 委員長, 篠山市.

2010.12-2011.3 「源流の里」環境保全活動支援委員会専門委員, 丹波県民局.

2010.6-2011.3 三原川水系「ひょうごの川・自然環境調査」, アドバイザー, 兵庫県淡路県民局.

2010.6-2011.3 夢前川水系「ひょうごの川・自然環境調査」, アドバイザー, 兵庫県西播磨県民局.

2010.6-2011.3 猪名川水系「ひょうごの川・自然環境調査」, アドバイザー, 兵庫県阪神北県民局.

相談・指導助言

来訪者 20 件, 50 名. 電話・FAX 相談 30 件, メール相談 20 件.

三橋 弘宗, Hiromune MITSUHASHI

自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ／研究・シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門
講師.

昭和45年京都府生. 京都大学大学院理学研究科博士前期
課程修了. 理学修士. 日本生態学会, 日本陸水学会, 応
用生態工学会, アメリカベントス学会, 兵庫陸水生物研
究会等所属.

＜事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事＞

1.事業推進部門

地域担当 (丹波)

2.タスクフォース

COP10 推進タスクフォース

3.研究開発部門

研究・シンクタンク推進室副室長

＜研究開発＞

1.調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 河川生態系における生物群集と物質循環に関する研究
2. 自然環境情報の活用と整備に関する研究
3. 樹脂を活用した展示物の作製技法に関する研究

■共同研究

総合共同研究 (テーマ等未確定)

部門研究「共生の現実と未来」分担者

■論文・著書

- ◎都築隆禎・竹下邦明・三橋弘宗・石井正人(2010) 高水敷掘削によるワンド造成の効果と本川への接続形状が生物群集に及ぼす影響, 河川技術論文集, 16, 173-178.
- ◎Osawa T., Mitsuhashi H. & Ushimaru A. (2010). River confluences enhance riparian plant species diversity. *Plant Ecology*, 209, 95-108.
- ◎Osawa T., Mitsuhashi H., Niwa H. & Ushimaru A. (2010). Enhanced Diversity at Network Nodes: River Confluences Increase Vegetation-Patch Diversity. *Open Ecology Journal*, 3, 48-58.
- ◎Osawa T., Mitsuhashi H., Niwa H. & Ushimaru A. (2011). Differences in distribution patterns around river confluences among hydrophilic vegetation groups. *Ecological Research*, 25, 1-9.
- ◎三橋弘宗 (2010) 「安室川の自然再生事業」, 自然再生ハンドブック(編: 日本生態学会), 地人書館, 東京, 189-198.
- ◎丹羽英之, 三橋弘宗, 森本幸裕 (2011) 流域スケールで植生の環境類型区分をつくる場合に適したデータ取得方法, 保全生態学研究 (印刷中).
- ◎三橋弘宗 (2011) 生物多様性施策を実現する仕組

みと仕掛けの再構築, 環境技術 40(2), 78-83.

- ◎久加朋子・清水洋平・大澤剛士・石田裕子・佐々木宏展・稲本雄太・三橋弘宗 (2011) コンクリート河川におけるゲンジボタルとカワニナの生息場所再生の試みー簡易水制の設置方法と効果検証ー, 人と自然 21, 159-165.

■その他著作

- ◎三橋弘宗(2010) 「生物多様性の取り組み: 各団体との連携」, ひとはく新聞, 2010-9-30.
- ◎三橋弘宗(2010) 「洪水の代わりに石を磨いてチスジノリの川を守る」, 自然保護, 516, 12-13.

■ブログへの情報提供

20 件

■研究発表

- Kyuka, T., Fujita, M., Takebayashi, H., Mitsuhashi, H. (2010) Restoration of habitats for Macroinvertebrate fauna in rivers covered with concrete using spur dike, International Symposium on Sediment Disasters & River Environment in Mountainous Area, JSPS Asia-Africa Science Platform Program, Kyoto University, Japan
- 久加朋子, 竹林洋史, 藤田正治, 大澤剛士, 清水洋平, 石田裕子, 佐々木宏展, 三橋弘宗(2011) コンクリート河川における小規模水制群を利用した底生動物の生息場所の再生, 応用生態工学会, 第14回応用生態工学会札幌大会, 北海道立市民活動センター.
- 三橋弘宗 (2011) 湖沼と湿地の自然再生: 生態学が果たす役割と他分野との協働 (企画集会コメンテーター), 第58回日本生態学会, 札幌コンベンションセンター, 札幌市.
- 三橋弘宗 (2011) 基礎自治体が実現可能な生態系管理のフレームワーク, 企画集会「もしも生態学者が市長になったら? ー経済学から見た生態系サービスと生態学から見た生態系管理ー」, 第58回日本生態学会, 札幌コンベンションセンター, 札幌市.
- 三橋弘宗 (2011) 北海道の自然史研究の現場はどうなっているか? 北海道自然史研究会の取り組みと生態学 (自由集会コメンテーター), 第58回日本生態学会, 札幌コンベンションセンター, 札幌市.
- 三橋弘宗 (2011) Ecoinformatics: 情報科学でやる生態学 (自由集会コメンテーター), 第58回日本生態学会, 札幌コンベンションセンター, 札幌市.
- 三橋弘宗 (2011) 河川生態系における生態系管理と数値目標, 自由集会「行政施策として実現可能な生物多様性の保全計画」, 第58回日本生態学会, 札幌コンベンションセンター, 札幌市.
- 渡辺昌造, 三橋弘宗 (2011) カクツツトビケラ属2種の呼吸特性, 第58回日本生態学会, 札幌コンベンションセンター, 札幌市.

■学会役員など

- 日本生態学会近畿地区委員
- 日本生態学会保全生態学研究 編集幹事
- 関西淡水動物談話会 世話人

NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク 事務局

■助成を受けた研究

2010.4- 「ひょうごの川・自然環境調査」の標本資料の受入と管理に関する分任, 兵庫県県土整備部河川計画課(主担当: 70 万円).

2010.7- フィールド・ミュージアム型の地域再生人材養成の実験的試行, 兵庫県立大学特別教育研究助成金(分担者: 100 万円).

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4-2011.3 兵庫県産水生生物.

■受贈担当資料

2011.3 兵庫県県土整備部河川計画室調査標本(三原川水系, 夢前川水系, 猪名川水系 魚類・底生動物). 200 点.

■整理同定担当資料

底生動物および水生生物全般.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

三橋弘宗, 2010.4-2010.5, 「ため池を探る」, 博物館・三田市香下ため池群. (全4回, 62名).

三橋弘宗, 2010.5, 「川の水生昆虫を観察しよう: 芦屋川の水生昆虫観察会」, 芦屋市奥谷(70名).

三橋弘宗, 2010.5 「封入標本を用いた展示製作講座(全4回)」, 博物館(9名).

三橋弘宗, 2010.6 「芦屋川の水生生物と水環境」, 芦屋クラーク学院(105名).

三橋弘宗, 2010.6 「生態学からみた生物多様性」, 博物館(37名).

三橋弘宗, 2010.7 「川の水生昆虫を観察しよう 加古川(佐治川)の水生昆虫観察会」, 丹波市(8名).

三橋弘宗, 2010.7 「小さな自然再生のすすめ(全体コーディネーター)」, 博物館・ホロンピアホール(172名).

三橋弘宗, 2010.8 「体験しよう! 川の水生昆虫の学習と調査」, 神戸市北区・博物館(14名).

三橋弘宗, 2010.10 「ウミボタル観察会」, 神戸市須磨区(38名).

三橋弘宗, 2010.12 「封入標本をつくろう(その1)」, 博物館(16名).

三橋弘宗, 2010.12 「封入標本をつくろう(その2)」, 博物館(11名).

◎三橋弘宗, 2010.5 顕微鏡で水生昆虫を観察しよう, 博物館・小セミナー室(40名).

◎三橋弘宗, 2010.7 段ボール製のテトラポッドをつくろう!, 博物館・小セミナー室(67名).

◎三橋弘宗, 2010.10 チリモンイベント(分担者), 博

物館・小セミナー室(125名).

◎三橋弘宗, 2010.11 チリモンイベント(分担者), 博物館・小セミナー室(338名).

◎三橋弘宗, 2011.3 顕微鏡で水生昆虫を観察しよう, 博物館・小セミナー室(80名).

三橋弘宗, 2010.5 「きのこの標本づくり」, 県立御影高等学校, 博物館(21名).

三橋弘宗, 2010.6 「いきもののつながり」, 明石市立二見北小学校, 博物館(156名).

三橋弘宗, 2010.7 「展示作製講義」, 県立御影高等学校, 御影高等学校(22名).

三橋弘宗, 2009.7 「地理情報システムと生息地管理」, 生物多様性保全のための野生動物問題解決手法コース(事務局: EnVision・JICA), 博物館(11人).

三橋弘宗, 2009.9 「生物多様性保全における博物館の役割」, GISによる天然資源農作物の管理(事務局: 名古屋大学・JICA), 博物館(6人).

三橋弘宗, 2010.9 「川のしくみ」, 芦屋市立精道小学校, 博物館(100名).

三橋弘宗, 2010.10 「川のしくみ」, 尼崎市立武庫南小学校, 博物館(123名).

三橋弘宗, 2010.10 「ウミホタルを観察しよう」, ひとく特注セミナー, 神戸市須磨区(17名).

三橋弘宗, 2010.11 「水生生物について」, 川西市立川西北小学校, 博物館(73名).

館外講演など

三橋弘宗, 2010.4 「湿地の自然再生に関する検討」, 播磨野生動物研究会, 加東市社の森公園(5名).

三橋弘宗, 2010.4 「武庫川水系河川整備計画の考え方」, 数理生態学勉強会, 財団法人ダム水源地センター(東京)(48名).

三橋弘宗, 2010.4 「常設展示改修に関する展示技術講習」, NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク, 橿原市昆虫館(6名).

三橋弘宗, 2010.4, 「第59回関西淡水動物談話会例会」, 関西淡水動物談話会, 大阪府立環境情報プラザ(30名).

三橋弘宗, 2010.5 「わんどの設計と環境評価」, 川の多自然勉強会, 大阪市(25名).

三橋弘宗, 2010.6 「自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会」, 国立科学博物館, 国立科学博物館(60名).

三橋弘宗, 2010.6 「GIS講習会」, 千葉県立中央博物館(15名).

三橋弘宗, 2010.6 「カイエビの観察会」, 篠山市・西紀町まちづくり協議会, 西紀町(20名).

三橋弘宗, 2010.6 「生物多様性情報と生態系管理」, 東邦大学特別ゼミナール, 東邦大学(50名).

三橋弘宗, 2010.6 「池尻川の水生生物観察会」, 三田市立富士小学校, 三田市(85名).

三橋弘宗, 2010.7 「ENEOS わくわく生き物学校(阪神間編)」, 豊岡市コウノトリキッズプログラム, 芦

- 屋市立総合運動公園(25名).
- 三橋弘宗, 2010.7 「魚道の設計と環境評価」, 川の多自然勉強会, 兵庫県民会館(神戸市)(25名).
- 三橋弘宗, 2010.7 「ENEOS わくわく生き物学校(豊岡編)」, 豊岡市コウノトリキッズプログラム, 豊岡市戸島湿地(25名).
- 三橋弘宗, 2010.7 「河原探検」, 丹波市いきものふれあいの里, 丹波市青垣町(遠阪川)(51名).
- 三橋弘宗, 2010.8 「封入標本づくり講座」, NPO 法人さんびいす, 芦屋市 NPO センター(芦屋)(35名).
- 三橋弘宗, 2010.8 「川の水生生物観察会」, 丹波市いきものふれあいの里, 丹波市青垣町(遠阪川)(25名).
- 三橋弘宗, 2010.8 「千種川水系水温一斉調査」, 千種川圏域清流づくり委員会, 千種川流域(千種町・佐用町)(100名).
- 三橋弘宗, 2010.8 「封入標本づくり講座」, NPO 法人さんびいす, 芦屋市 NPO センター(芦屋)(35名).
- 三橋弘宗, 2010.9 「芦屋川カレッジ」, 芦屋市, 芦屋市市民センター(75名).
- 三橋弘宗, 2010.9 「GIS 講習会」, 東邦大学(25名).
- 三橋弘宗, 2010.9 「生物多様性の保全と情報技術」, 野生生物調査協会, 調布市文化会館たづくり(60名).
- 三橋弘宗, 2010.9 「武庫川下流域の生態系」, 武庫川づくりと流域連携を進める会, 関西医科大学(60名).
- 三橋弘宗, 2010.9 「小さな自然再生のすすめ」, NPO 法人人と自然の会, 人と自然の博物館(50名).
- 三橋弘宗, 2010.9, 「国土交通省河川技術者講習会」, 近畿地方整備局河川部, 加古川大堰管理事務所(57名).
- 三橋弘宗, 2010.9 「海辺のハゼ釣り講座」, NPO 法人さんびいす, 芦屋市芦屋浜(57名).
- 三橋弘宗, 2010.9 「魚道の設置計画と評価」, 川の多自然勉強会, 京都市大谷会館(18名).
- 三橋弘宗, 2010.9 「100円ショップ活用ワークショップ」, NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク, 大阪市立自然史博物館(17名).
- 三橋弘宗, 2010.10 「生物多様性と私たちの暮らし」, 平成22年度兵庫県地球温暖化防止活動推進員等研修会, 宝塚市男女共同参画センター(32名).
- 三橋弘宗, 2010.10 「森から川への贈りもの」, 山梨大学医学部附属病院院内学級講義, 山梨大学医学部(14名).
- 三橋弘宗, 2010.10 「小さな自然再生のすすめ」, 山梨大学産学官連携・研究推進機構, 山梨大学(18名).
- 三橋弘宗, 2010.10 「プラスチック封入標本をつくらう」, 山梨県立科学館特別講座, 山梨県立科学館(55名).
- 三橋弘宗, 2010.11 「モクズガニの観察会」, NPO 法人さんびいす, 芦屋市芦屋川および市民会館前(39名).
- 三橋弘宗, 2010.11 「多自然川づくり近畿ブロック会議」, 近畿地方整備局河川部, 近畿地方整備局大会議室(350名).
- 三橋弘宗, 2010.11 「展示リニューアルに関するワークショップ」, NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク, 橿原市昆虫館(55名).
- 三橋弘宗, 2010.11, ひょうご「子どもの水辺」交流会, 兵庫県河川計画課, HDC 神戸(57名).
- 三橋弘宗, 2010.11 「封入標本製作講座」, NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク, あくあびあ高槻(20名).
- 三橋弘宗, 2010.12 「丹波地域バイカモ保全検討会」, 丹波県民局, 丹波市青垣住民センター(15名).
- 三橋弘宗, 2010.12 「近畿大学農学部里山学演習特別講義」, 近畿大学, 近畿大学農学部(30名).
- 三橋弘宗, 2010.12 「近畿大学農学部里山学演習特別講義」, 近畿大学, 近畿大学農学部(30名).
- 三橋弘宗, 2010.12 「コウノトリキッズ標本づくりプログラム」, 豊岡市コウノトリキッズプログラム, 豊岡市コウノトリ文化館(27名).
- 三橋弘宗, 2011.1 「ローカルガバナンスで実践可能な生態系管理のフレームワーク(生態系保全勉強会)」, (財)自然環境研究センター, (財)自然環境研究センター(53名).
- 三橋弘宗, 2011.1 「インベントリー情報を生態系管理の施策へと展開するプロセス」, 農業環境インベントリーセンターセミナー, 農業環境技術研究所(42名).
- 三橋弘宗, 2011.2 「コウノトリ再導入適地の空間評価」, コウノトリ郷公園特別セミナー, 兵庫県立コウノトリ郷公園(11名).
- 三橋弘宗, 2011.2 「交流促進パワーアップ事業の総評」, 交流促進パワーアップ事業, 丹波市立柏原公民館(40名).
- 三橋弘宗, 2011.2 「GIS 講習会」, 国立科学博物館・NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク, NEC PC カレッジ東梅田校(40名).
- 三橋弘宗, 2011.2 「生物多様性と COP10」, 有馬高校特別講義, 兵庫県立有馬高等学校(42名).
- 三橋弘宗, 2011.2 「生物多様性に配慮した川づくり」, 兵庫県土木施行管理技士会, 姫路じばさんビル(90名).
- 三橋弘宗, 2011.2 「封入標本づくり講座」, 豊岡市コウノトリキッズプログラム, 豊岡市コウノトリ文化館(28名).
- 三橋弘宗, 2011.3 「川のしくみと生物多様性の保全」, 住吉川流域連絡協議会, 東灘区民センター(45名).
- 三橋弘宗, 2011.3 「ホテルの生息環境について」, 西武庫公園ホテルの会, 西武庫公園(40名).
- 三橋弘宗, 2011.3 「GIS 実習」, 兵庫県立大学特別講座, 兵庫県立人と自然の博物館(10名).
- 兵庫県立大学・大学院教育**
- 2010.3 兵庫県立大学専門教育講演会「地球温暖化と陸水生物～失われゆく琵琶湖の生物多様性～」, コーデ

イネーター,兵庫県立人と自然の博物館(20名)。
2011.3 兵庫県立大学特別教育研究講義「自然資源の把握と地域再生のためのGIS講習会」,兵庫県立人と自然の博物館(10名)。
2010.4-2011.3 「トビケラ目カクツツトビケラ科の生活史戦略」,渡辺昌造,社会人コース(修士論文指導)
ラジオ・テレビ等出演
2010.9 「幸せの水色のカエル」,探偵ナイトスクープ(9/3放映)
2011.2 「六甲山のキノコ展」に関するトピックス,NHKニュース(2/15放映)

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

森本静子(ひとく地域研究員;主担当)

副担当

琢磨千恵子(ひとく地域研究員;副担当)

東山真也(ひとく地域研究員;副担当)

■連携事業

連携グループ等

NPO法人さんびいす(ひとく連携活動グループ;主担当)

里山レンジャー(ひとく連携活動グループ;主担当)

水辺のフィールドミュージアム(ひとく連携活動グループ;主担当)

丹波のホトケドジョウを守る会(ひとく連携活動グループ;副担当)

成果発表

2011.2 共生の広場「六甲山再度公園におけるキノコの出現傾向から温暖化指標キノコを探る」,中川湧太・中川貴博・小野菜津・長町龍臣・小島あかり(兵庫県立御影高等学校)。

2011.2 共生の広場「コンクリートの川にホタルを増やそう〜池尻川ホタル再生計画 vol.2〜」,瀬戸山知晴・大森聖和子・室崎隆春・棘木 悠・奥 絵梨香・清内優一・鈴木魁人・土居恭子(兵庫県立有馬高等学校科学部)。

2011.2 共生の広場「アシレンジャー:野外活動から始めるまちづくり」,NPO 法人さんびいす。

2011.2 共生の広場「自然を封入する」,小川哲矢・余田佳美・山本秀利・宇陀公正・畑寿々子・岡田照代・能勢公紀・鳥越悠紀子・木村公之(NPO 法人人と自然の会)。

2011.2 共生の広場「COP10 に行ってきました!野生のキノコの不思議な魅力 〜キノコの標本から多様性を探る〜」,坂田雅之・山口富夢・早川ひかる(兵庫県立御影高等学校)。

2011.2 共生の広場「ソーラーパネルを用いた休耕田の湿地再生」,里山レンジャー。

共催事業

2010.7 小さな自然再生のすすめ,水辺のフィールドミュージアム研究会,兵庫県立人と自然の博物館(172名)。

2010.1 六甲山のキノコ展,県立御影高校,御影公会堂,神戸市東灘区(352名)。

2011.1-3 クモ展,伊丹市昆虫館,伊丹市(14713名)。

■研究生等の受入

博物館実習

2010.8.6-8.17 琉球大学農学部学生1名,滋賀県立大学環境科学部学生1名,近畿大学農学部学生1名。

■フェスティバル等

2009.11 チリモンスターを探そう。イベント分担(その他会場・駐車場係も兼ねる)。

■展示

企画展

2010.7-2010.12 企画展「兵庫の生物多様性〜瀬戸内海vs日本海〜」,(副担当:5月下旬より臨時任命,海域部分の展示製作主担当・総括担当)。

ミニ企画展

2010.2-2010.5.16 ミニ企画展「六甲山のキノコ展—リアルな森の妖精たち—」(主担当)。

2011.2.16-2011.5.15 ミニ企画展「六甲山のキノコ展2011—野生のキノコの不思議な魅力。(主担当)。

2011.2- 2F 臨時常設展示「ナガスクジラとアオザメ」(責任者未定のため暫定対応)。

2011.2- 3F 臨時常設展示「日本海と瀬戸内海のまちなみ」(主担当:三橋・山崎・上田)。

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

液浸収蔵庫の案内,5回,30名。

■行政支援

委員会等(17件)

2010.4-2011.3 円山川水系自然再生推進委員会 委員 国土交通省近畿地方整備局,兵庫県但馬県民局。

2010.4-2011.3 円山川水系自然再生推進委員会技術部会,委員,国土交通省近畿地方整備局,兵庫県但馬県民局。

2010.4-2011.3 豊岡市生息地保全協議会,アドバイザー,豊岡市。

2010.9-2011.3 「篠山の身近な自然再生委員会」,委員,篠山市。

2010.6-2011.3 三原川水系「ひょうごの川・自然環境調査」,アドバイザー,兵庫県淡路県民局。

2010.6-2011.3 夢前川水系「ひょうごの川・自然環境調査」,アドバイザー,兵庫県西播磨県民局。

2010.6-2011.3 猪名川水系「ひょうごの川・自然環境調査」,アドバイザー,兵庫県阪神北県民局。

2010.6-2011.3 「兵庫の貴重な自然」生態系RDB検討委員会,委員,兵庫県自然環境課。

2010.12-2011.3 「源流の里」環境保全活動支援委員会,委員長,丹波県民局。

2010.4-2011.3 安室川自然再生検討委員会,委員,兵庫県上郡土木事務所。

2010.4-2011.3 安室川自然再生検討委員会技術部会,

委員，兵庫県上郡土木事務所.

2010.4－2011.3 武庫川上流ルネッサンス懇談会，委員，
兵庫県三田土木事務所.

2010.4－2011.3 G B I F技術専門委員会，委員，独立
行政法人科学技術振興機構.

2010.4－2011.3 武庫川水系に生息・生育する生物及び
その生活環境の持続に関する2つの原則に係る専門
検討委員会，委員長，兵庫県県土整備部土木局.

2010.4-2011.3 千種川水系河川整備計画検討委員会，委
員，兵庫県上郡土木事務所.

2010.9-2011.3 金出地ダム検討会議，委員，兵庫県県土
整備部上郡土木事務所.

2010.12-2011.3 生物多様性評価の地図化に関する検討
会，委員，環境省自然環境局.

2011.3-2011.3 淀川水系猪名川圏域河川整備計画検討委
員会，委員，兵庫県宝塚土木事務所.

相談・指導助言

来訪者 95 件，250 名． 電話・FAX 相談 80 件，メール
相談 90 件.

大谷 剛, Takeshi OHTANI

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ／生涯学習推進室副室長, 生涯学習推進室スクールパートナーマネージャー

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門教授.

昭和22年福島県生. 北海道大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学. 理学博士. 日本昆虫学会, 日本生態学会, 日本動物行動学会, 国際社会性昆虫学会, 兵庫県生物学会, 日本直翅類学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

生涯学習推進室副室長, スクールパートナーマネージャー

2. 研究開発部門

資料担当(資料審査会座長)

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

- ミツバチ類の収穫ダンスに関する基礎的研究
- 1 個体追跡法に基づく動物の行動研究
- 動物の歩行肢に関する考察

■論文・著書

Sugiura, M., Imafuku, M. and Ohtani, T. (2010) Skipping flights in *Ypthima* butterflies (Lepidoptera: Nymphalidae). *Entomological Science*, 13:183-190.

大崎浩一・北尾一真・大谷 剛 (2011) セイヨウミツバチの造巣過程—透明アクリル板の巣箱での観察—. *兵庫生物* 14:107-112.

■その他著作

大谷 剛 (2010) ミツバチと暮らして42年(ひととはくコラム). ひととはく新聞(ハーモニー69号2010.6.30).
大谷 剛 (2010) ひととはく「いきものかわらばん」実施報告. ひととはく新聞(ハーモニー71号2010.12.25).

■研究発表

溝田浩美・大谷 剛 (2010) 残し餌からみた繁殖期におけるアオバズク *Ninox scutulata japonica* の食性. 日本鳥学会, 東邦大学, 船橋市 (2010.9.18).

大谷 剛(2010) ダンス伝達系の進化の可能性. 日本昆虫学会近畿支部2010年度大会・日本鱗翅学会近畿支部第141回例会合同大会. 兵庫県立人と自然の博物館, 三田市 (2010.12.11).

N.ナハール・北尾一真・大谷 剛・竹田真木生 (2010): イミダクロブリド(ネオニコチノイド系農薬)を注入したセイヨウミツバチの行動. 日本昆虫学会近畿支部2010年度大会.

■学会役員など

兵庫県生物学会, 編集委員.

■助成を受けた研究

新規神経毒系殺虫剤がミツバチ概日振動, 帰巢行動の攪乱にかかわる可能性(研究代表者: 竹田真木生). 山田養蜂場みつばち研究助成基金・CCD緊急公募助成金・H21年10月1日~H23年9月30日(株・山田養蜂場), 研究分担者(金額225千円/450千円). ←(平成22年度分/総額).

2. 資料収集・整理

■資料収集

2010.3-7 ゲンジボタル幼虫上陸数観察・成虫飛来数. 神戸市北区道場町.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎大谷 剛, 2010.9~12, 「愛蜂家養成講座・初級」, 博物館. (全4回, 29+28+27+26=110名).

◎大谷 剛, 2010.6~9, 「初級鳴く虫インストラクター養成講座」, 博物館・深田公園. (全3回, 22+20+15=57名).

◎大谷 剛 2010.7.4, 「芦屋でまなぶ初夏の鳴く虫」, あしや市民活動センター. (全1回, 28名).

◎大谷 剛 2010.7.29; 8.5, 「親子で楽しむ昆虫標本(全2回)」, 博物館. (全2回, 11+25=36名).

◎大谷 剛・沢田佳久, 2010.8(土・日・月), 「昆虫標本づくり実演コーナー2010」, 博物館 (全14回 392名).

◎大谷 剛, 2010.8.11 「ミツバチの巣箱から蜂蜜を取ってみませんか?」(教職員セミナー), 博物館. (全1回, 30名).

大谷 剛, 2010.8.19, 「教室にハチが入ってきたときどうするか(ミツバチの巣箱観察付)」, (教職員セミナー), 博物館. (全1回, 25名).

◎大谷 剛, 2010.8~2010.10, 「上級鳴く虫インストラクター養成講座」道場町日下部・博物館 (全4回, 4+4+4+2=14名).

◎「きんひばり」・大谷 剛, 2010.10.2, 「親と子の鳴く虫の夕べ」神戸市北区道場町日下部ふれあい会館. (全1回, 25名).

谷 剛, 2010.4.30, 「昆虫トピックス30分」, 宝塚市立すみれが丘小学校, (110名).

大谷 剛, 2010.5.29, 「蜂蜜しばり体験会」, 夢クラブ, (69名).

大谷 剛, 2010.6.7, 「昆虫トピックス30分」, 神戸市立有野台小学校, (116名).

大谷 剛, 2010.6.7, 「ハチの体の観察」, 神戸市立大池小学校, (63名).

大谷 剛, 2010.6.19, 「ハチミツ絞り」, あかしあ台1丁目子ども会, (31名).

大谷 剛, 2010.7.13, 「ミツバチの巣箱観察」, 西脇市

立芳田小学校, (18 名).
 大谷 剛, 2010.7.31, 「昆虫標本づくり①」, 三菱電機
 三田製作所, (36 名).
 大谷 剛, 2010.8.14, 「昆虫標本づくり②」, 三菱電機
 三田製作所, (12 名).
 大谷 剛, 2010.8.15, 「昆虫標本づくり②」, 三菱電機
 三田製作所, (6 名).
 大谷 剛, 2010.8.22, 「昆虫標本づくり②」, 三菱電機
 三田製作所, (4 名).
 大谷 剛, 2010.9.10, 「昆虫トピックス 30 分」, 尼崎
 市立武庫の里小学校, (114 名).
 大谷 剛, 2010.10.20, 「身近な外来生物ミツバチ」, 小
 野市立河合小学校, (45 名).
 大谷 剛, 2010.10.29, 「生物多様性トーク」, 淡路市立
 学習小学校, (113 名).
 大谷 剛, 2010.11.5, 「生物多様性トーク」, 加古川市
 立加古川中学校, (334 名).
 大谷 剛, 2011.3.29, 「ハナバチという育種家」, 摘み菜
 を伝える会(見山里菜グループ)(18 名).

館外講演など

◎大谷 剛 2010.4.10, NPO こどもとむしの会主催「ミ
 ツバチさんの基礎講座①」, 三木山森林公園 (9 名).
 ◎大谷 剛 2010.4.24, NPO こどもとむしの会主催「ミ
 ツバチさんの基礎講座②」, 三木山森林公園 (8 名).
 ◎大谷 剛 2010.5.15, NPO こどもとむしの会主催「ミ
 ツバチさんの基礎講座③」, 三木山森林公園 (7 名).
 ◎大谷 剛 2010.5.30, NPO こどもとむしの会主催「ミ
 ツバチさんの基礎講座④」, 三木山森林公園 (9 名).
 ◎大谷 剛 2010.6.27, NPO こどもとむしの会主催「ミ
 ツバチさんの基礎講座⑤」, 三木山森林公園 (7 名).
 ◎大谷 剛, 2010.7.11, 「昆虫採集と標本の作り」, 講
 師, NPO 法人北はりま田園空間博物館, 道の駅北は
 りまエコミュージアム (13 名).
 ◎大谷 剛, 2010.7.18, たかつき子ども自然体験学校
 「昆虫標本づくり」, 講師, NPO 法人たかつき, 大阪
 府衛生会地域交流支援センター (28 名).
 ◎大谷 剛, 2010.7.19, 「昆虫標本の作り方, 仕上げ,
 同定」, 講師, NPO 法人北はりま田園空間博物館, 道
 の駅北はりまエコミュージアム (13 名).
 ◎大谷 剛, 2010.8.1, 「ひとはく大谷先生の夜の昆虫
 観察会」, 講師, 「ゆりのきフィールドウォーカー」,
 三田市ゆりのき台駒ヶ谷運動公園, (28 名).
 ◎大谷 剛・溝田浩美, 2010.8.6, 「チアーズクラブ昆
 虫標本作成①」, 猪名川イオンチアーズクラブ (36
 名).
 ◎大谷 剛・溝田浩美, 2010.8.24, 「チアーズクラブ
 昆虫標本作成②」, 猪名川イオンチアーズクラブ
 (36 名).
 ◎大谷 剛, 2010.8.29, NPO たかつき子ども自然体験
 学校「昆虫標本づくり, 仕上げ, 標本へ」, 大阪府衛
 生会地域交流支援センター (27 名).
 大谷 剛, 2010.11.11, ウォーキング講習会「身近な昆

虫の生態」, 尼崎市立老人福祉センター手代木園 (10
 名).
 大谷 剛, 2011.2.16, おもしろ理科教室「カブトムシ・
 クイズ」, 神戸市立有野児童館 (44 名).
 大谷 剛, 2011.3.13, カップの行動楽 (財) 柳田國男・
 松岡家顕彰会記念館 (17 名).
 ◎大谷 剛・金子留美子・片岡義方, 2010.10.19, 「明
 石公園での環境学習」, 明石市立明石小学校 (84 名)
 大谷 剛, 2011.1.12, 「昆虫と食文化」, 神戸国際大学
 ゲストティーチャー講義, (56 名).
 大谷 剛, 2011.1.26, 「ミツバチの CCD・大量死はなぜ
 起こったか」, 兵庫県立福崎高校特別非常勤講師授業,
 (45 名).

兵庫県立大学・大学院教育

昆虫行動特論 (主任)

非常勤講師

2010.5.10, 「昆虫野外観察」, 神戸市シルバーカレッジ.

ラジオ・テレビ等出演

2010.4.21, 「ミツバチの盗難について」, 東海ラジオ「安
 蒜豊三 夕焼けナビ」

■連携事業

連携グループ等

アピス同好会 (主担当), 鳴く虫研究会「きんひばり」
 (主担当), NPO さんぽくらぶ (主担当).

成果発表

2010.2, 共生の広場 「クツワムシはどこにいる?—加
 西市・篠山市の分布調査—」(口頭発表), 高田要・
 河井典子・鳴く虫研究会「きんひばり」(指導).
 2010.2, 共生の広場 「一粒の大豆から, 親子で味噌
 作り」(ポスター発表), 鈴木久代他 6 名・NPO さん
 ぽくらぶ (指導).
 2010.2, 共生の広場 「鳴く虫ワールド 2010」(ポスタ
 ー発表), 鳴く虫研究会「きんひばり」(指導).

共催事業

2010.8, 「北はりま昆虫展」, NPO 法人北はりま田園空
 間博物館 (展示制作, セミナー実施).
 2010/4/24-5/9 ~民俗学のふるさと・銀の馬車道ふれあ
 い事業~「福崎の蝶~世界の蝶展」, 福崎町教育委
 員会福崎町立神崎郡歴史民俗資料館 (展示制作, セ
 ミナー実施).
 2010/10/19-11/7 『ゾウのエココロ』展~増井さんが
 愛した生きものたち~ 第 4 回コウノトリ未来・国
 際かいぎ実行委員会 (展示制作).
 2010/10/11-11/10 いきもの多様性"製"絵画展「ぞうが描
 いたぞう・・・」タオル美術館 ICHIHIRO (展
 示制作, セミナー実施).

協力事業

2010/6/4;7/4;8/23;8/28;10/4 ①ホテルの観察会②はち
 みつ搾り③昆虫標本づくり④イナゴを獲って食べる
 ひとはく連携活動グループ・NPO 法人「さんぽく
 らぶ」(セミナーの実施).

■学校教育支援

トライやるウィーク

2010.6.1-6.4, 三田市立長坂・八景・ゆりのき台中学校
3名, 丹波市立山南中学校1名.

学校団体対応

2010.4.30, 「昆虫トピックス30分」, 宝塚市立すみれ
が丘小学校, (110名).

2010.6.7, 「昆虫トピックス30分」, 神戸市立有野台小
学校, (116名).

2010.6.7, 「ハチの体の観察」, 神戸市立大池小学校, (63
名).

2010.7.13, 「ミツバチの巣箱観察」, 西脇市立芳田小学
校, (18名).

2010.9.10, 「昆虫トピックス30分」, 尼崎市立武庫の
里小学校, (114名).

2010.10.20, 「身近な外来生物ミツバチ」, 小野市立河合
小学校, (45名).

2010.10.29, 「生物多様性トーク」, 淡路市立学習小学校,
(113名).

2010.11.5, 「生物多様性トーク」, 加古川市立加古川中
学校, (334名).

講師派遣

2010.10, 「明石公園での環境学習」, 講師, 明石市立明
石小学校3年生(84名).

2011.1, 「昆虫と食文化」, 講師, 神戸国際大学3年生
(56人).

2011.1, 「ミツバチのCCD・大量死はなぜ起こったか」,
講師, 兵庫県立福崎高校1年生(45人).

■展示

企画展

2010.7.17-12.26, 企画展示「ひょうごの生物多様性 瀬
戸内海 VS 日本海」(分担者).

ミニ企画展

2010.12.11-2011.1.10, ミニ企画展「ウサギさんようこ
そ」(分担者).

2010.8.7-10.6, ミニ企画展「生物多様'製'絵画展—ゾウ
が描いたぞう—」(責任者).

2010.10.9-2011.1.10, 臨時展示「ひとはくいきものかわ
らばん展」<818点>(責任者).

2011.3.5-5.8, ミニ企画展「タヨウ星人原画展」(責任者).

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 5回, 12名.

■行政支援

委員会等

相談・指導助言

来訪者2件, 4名. 電話・FAX相談8件, メール相談
7件.

■学会開催等支援

2010.12, 日本昆虫学会近畿支部2010年度大会・日本
鱗翅学会近畿支部第141回例会合同大会開催 55名.

三谷 雅純, Masazumi MITANI

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ／研究・シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門
准教授

昭和29年香川県生. 京都大学大学院動物学研究科博士後
期課程修了. 理学博士. 日本霊長類学会, International
Primatological Society, 日本熱帯生態学会, 日本生態学会,
日本アフリカ学会, 日本哺乳類学会, 兵庫県政学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

2.研究開発部門

会計担当, ほ乳類標本担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 熱帯林の霊長類の生態と保全
2. 身体障がい者／障がい児の社会教育のあり方

■その他著作

- ◎三谷雅純(2010) さまざまな人間－2/障害が持つ
平等化の力. 霊長類学の窓：ヒトは人のはじまり
(70), 毎日新聞(4月6日).
- ◎三谷雅純(2010) 日本の看護師試験/この合格率は
あんまりだ. 霊長類学の窓：ヒトは人のはじまり
(71), 毎日新聞(4月13日).
- 三谷雅純(2010) ミナンカバウの人たち－1/小皿に入
ったパダン料理. 霊長類学の窓：ヒトは人のはじま
り(72), 毎日新聞(4月20日).
- 三谷雅純(2010) ミナンカバウの人たち－2/インドネ
シア語の起源. 霊長類学の窓：ヒトは人のはじまり
(73), 毎日新聞(4月27日).
- 三谷雅純(2010) ミナンカバウの人たち－3/お母さ
んとイスラームの関係. 霊長類学の窓：ヒトは人
のはじまり(74), 毎日新聞(5月11日).
- 三谷雅純(2010) ゾウを家畜にする－1/<怪物>と
<野生の使い>と. 霊長類学の窓：ヒトは人のはじ
まり(75), 毎日新聞(5月18日).
- 三谷雅純(2010) ゾウを家畜にする－2/作業に来て
いた村の青年. 霊長類学の窓：ヒトは人のはじまり
(76), 毎日新聞(5月25日).
- 三谷雅純(2010) ミナン人とスイギュウ/異民族との
争いをつつむ機知. 霊長類学の窓：ヒトは人のはじ
まり(77), 毎日新聞(6月1日).
- 三谷雅純(2010) 地面が燃える－1/人の住まない湿
地の活用. 霊長類学の窓：ヒトは人のはじまり(78),
毎日新聞(6月8日).
- 三谷雅純(2010) 地面が燃える－2/「地球環境の危
機」? 霊長類学の窓：ヒトは人のはじまり(79),

毎日新聞(6月15日).

- ◎三谷雅純(2010) スマトラ島のことを書く理由/
生き物と人の多様性. 霊長類学の窓：ヒトは人のは
じまり(80), 毎日新聞(6月22日).
- ◎三谷雅純(2010) ユニバーサル・ミュージアムを
めざして：全国(ぜんこく)の失語症(しつごし
ょう)の皆(みな)さんとご家族(ご・かぞく)
が人と自然の博物館(ひととしぜんのはくぶつかん)
にお見え(お・み・え)になりました。ひとはくブ
ログ(6月23日).
- ◎三谷雅純(2010) ユニバーサル・ミュージアムを
めざして(2)：なぜ、「全国(ぜんこく)の失語症
(しつごしょう)の皆(みな)さんとご家族(ご・
かぞく)が人と自然の博物館(ひととしぜんのはく
ぶつかん)にお見え(お・み・え)になりました」
を, あのような文章にしたのか. ひとはくブログ(7
月13日).
- ◎三谷雅純(2010) 暑い季節のすごし方/水が決める
本当の生活. 霊長類学の窓：ヒトは人のはじまり
(81), 毎日新聞(7月27日).
- 三谷雅純(2010) それ行け, ミャンマー野球－1/
岩崎亨さんと若者たち. 霊長類学の窓：ヒトは人
のはじまり(82), 毎日新聞(8月3日).
- 三谷雅純(2010) それ行け, ミャンマー野球－2/
ゴールデンゴールズとの試合. 霊長類学の窓：ヒト
は人のはじまり(83), 毎日新聞(8月10日).
- 三谷雅純(2010) 米と塩からカレー/日本に通じる
ミャンマー文化. 霊長類学の窓：ヒトは人のはじま
り(84), 毎日新聞(8月17日).
- 三谷雅純(2010) サイクロンに襲われた/知合いは
ぶじだったが..... 霊長類学の窓：ヒトは人のはじ
まり(85), 毎日新聞(8月24日).
- 三谷雅純(2010) シャン州の村で－1/中尾佐助の残
したこと. 霊長類学の窓：ヒトは人のはじまり(86),
毎日新聞(8月31日).
- 三谷雅純(2009) シャン州の村で－2/ナットウとつ
け物と梅干し. 霊長類学の窓：ヒトは人のはじまり
(87), 毎日新聞(9月7日).
- 三谷雅純(2010) 多民族国家のことば事情/子どもに
英語を教える? 霊長類学の窓：ヒトは人のはじま
り(88), 毎日新聞(9月28日).
- 三谷雅純(2010) 霊長類学研究者・今昔－1/京都に
行ってきました. 霊長類学の窓：ヒトは人のはじま
り(89), 毎日新聞(10月5日).
- 三谷雅純(2010) 霊長類学研究者・今昔－2/へだて
るものと結ぶもの. 霊長類学の窓：ヒトは人のはじ
まり(90), 毎日新聞(10月19日).
- ◎三谷雅純(2010) 霊長類学研究者・今昔－3/先生
が最後に言ったこと. 霊長類学の窓：ヒトは人のは
じまり(91), 毎日新聞(10月26日).
- ◎三谷雅純(2010) <ことば>の不思議－1/「文化」
から「生まれつきの行動」へ. 霊長類学の窓：ヒト

は人のはじまり (92), 毎日新聞 (11 月 2 日).

◎三谷雅純 (2010) <ことば>の不思議ー 2/チンパンジーとことば. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (93), 毎日新聞 (11 月 9 日).

◎三谷雅純 (2010) <ことば>の不思議ー 3/新しく生まれた自然手話. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (94), 毎日新聞 (11 月 16 日).

◎三谷雅純 (2010) <ことば>を身に付ける/「リンゴを探せ」だって? 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (95), 毎日新聞 (11 月 23 日).

◎三谷雅純 (2010) <ことば>を失う?ー 1/わたしの失語症体験. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (96), 毎日新聞 (11 月 30 日).

◎三谷雅純 (2010) <ことば>を失う?ー 2/失語症でろうになる. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (97), 毎日新聞 (12 月 7 日).

◎三谷雅純 (2010) 書き方を学び直すー 1/本当に読みやすい文章とは? 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (98), 毎日新聞 (12 月 14 日).

◎三谷雅純 (2010) ユニバーサル・ミュージアムをめざして (3): 「神話や説話に登場するウサギ」の文章は, なぜあんなふうにしたのか? ひとはくブログ (12 月 14 日).

◎三谷雅純 (2010) 書き方を学び直すー 2/<ことば>を捨てたいと思うとき. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (99), 毎日新聞 (12 月 21 日).

◎三谷雅純 (2011) 高校生に授業をするー 1/学問はおもしろい. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (100), 毎日新聞 (1 月 25 日).

◎三谷雅純 (2011) 高校生に授業をするー 2/なぜ仲間はずれはおきるのか. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (101), 毎日新聞 (2 月 1 日).

◎三谷雅純 (2011) 高校生に授業をするー 3/もうひとつの<ビッグ・バン>. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (102), 毎日新聞 (2 月 8 日).

◎三谷雅純 (2011) 高校生に授業をするー 4/<こころ>から<ことば>へ. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (103), 毎日新聞 (2 月 22 日).

◎三谷雅純 (2011) 「おばあさん仮説」の話ー 1/おばあさんの役割. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (104), 毎日新聞 (3 月 1 日).

◎三谷雅純 (2011) 「おばあさん仮説」の話ー 2/チンパンジーのおばあさん. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (105), 毎日新聞 (3 月 8 日).

◎三谷雅純 (2011) 震災の中の障がい者/非常の時に気を付けること. 霊長類学の窓: ヒトは人のはじまり (106), 毎日新聞 (3 月 29 日).

■ブログへの情報提供

3 件

■研究発表

M. Mitani, K. Watanabe, K. J. Gurmaya and E.N. Megantara (2010) Foraging behaviors of silvered lutong

(*Trachipithecus auratus*) during the 1997/98 El Niño in Indonesia. International Primatological Society XXIII Congress Kyoto 2010, Kyoto University (Yoshida Main Campus), kyoto.

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4-2011.3, ユニバーサル・ミュージアムに関する資料.

■整理同定担当資料

インドネシア, 西ジャワ州パンガンダランの植物の同定.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

三谷雅純, 2010.4, オープンセミナー「道具を使うチンパンジー」, 博物館. (15 名).

三谷雅純, 2010.4, 特注セミナー「道具を使うチンパンジー」, (56 名).

三谷雅純, 2010.5, 「霊長類学の冒険: ヒトの本質を探る」, 博物館. (8 名).

三谷雅純・平松紳一, 2010.6, 特注セミナー「展示案内」, (第 4 回言語リハビリ交流のつどいイン兵庫) 博物館. (31 名).

三谷雅純, 2010.8, 夏期教職員セミナー「『障害』のある子どもたちとの野外活動入門」, 博物館. (14 名).

三谷雅純, 2010.9, オープンセミナー「チンパンジー, アイの描いた絵について」, 博物館. (17 名).

三谷雅純, 2010.11, 「ヒト言語の起源: 洞窟壁画から現代手話まで」, 博物館. (7 名).

三谷雅純, 2010.12-2011.1, 「霊長類学が描くヒトの姿ーわれわれは何者か?」(県立有馬高等学校連携セミナー), 博物館. (全 2 回, 88 名).

三谷雅純, 2010.12, 「コンゴ, インドネシア, 屋久島サルたちの森」, 博物館. (5 名).

館外講演など

谷雅純, 2011.1, 「専門講座 5 環境創造 ヒトとは何者なのか?」, 淡路文化会館「いざなぎ学園」大学. (30 名).

三谷雅純, 2011.3, 「パソコンを使った言語リハビリ」, 小規模作業所トークゆうゆう. (10 名).

■連携事業

連携グループ等

東中国クマ集会 (協働)

市民団体「サイエンス・サロン」(主催)

■学校教育支援

学校団体対応

2010.10, 宝塚市立長尾台小学校. (56 名).

2010.12, 兵庫県立有馬高等学校. (41 名).

2011.1, 兵庫県立有馬高等学校. (41 名).

■フェスティバル等

- 2010.11, ひとはくフェスティバル, 記録担当.
- 2011.2, 共生のひろば 2010, 記録担当.

■展示

ミニ企画展

- 2010.9.1-2010.10.31, トピックス展「インドネシア, ジャワ島パンガンダランで採集したシルバールトンの食べる植物」(責任者).
- 2010.12.11-2011.1.10, 「ウサギさんようこそ!」(展示「神話(しんわ)や 説話(せつわ)に登場する ウサギ」と, その子どもや文章の読みにくい人, 視覚障がい者への配布物・インターネット資料制作)(分担者).

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等 (3 件)

- 2010.4-2011.3, Primate Specialist Group, member, The World Conservation Union (IUCN).
- 2010.4-2011.3, Species Survival Commission, member, The World Conservation Union (IUCN).
- 2010.4- 青少年育成事業団, 理事, 関西テレビ青少年育成事業団.

相談・指導助言

- 来訪者 10 件, 20 名. メール相談 200 件.
- 2010.4- 失語症者の発話機能回復リハビリについて.
- 2010.4- 脳梗塞者に無理のない野外活動について.
- 2010.4- 青少年のキャンプを中心とした野外活動について.
- 2010.4- インドネシア, パンガンダラン自然保護区などの自然について.

遠藤 菜緒子, Naoko ENDO

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ／研究シンクタンク推進室

研究員

昭和 48 年宮城県生. 立教大学大学院理学研究科博士課程
後期課程修了. 博士(理学). 日本鳥学会, 日本生態学会,
Waterbirds Society (アメリカ) 所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

地域担当 (西播磨)

2.研究開発部門

研究促進・総合共同研究推進担当, 部門研究調整担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. カワウおよびサギ類の集団繁殖地に係る研究
2. ひととはくリサーチプロジェクト「カワウ」

■その他著作

◎遠藤菜緒子 (2010) カワウによる漁業被害～人間の
ルール, カワウのルール. ひととはく新聞 2010/6/30
号 (ハーモニー69 号).

■ブログへの情報提供

1 件

■研究発表

- ◎遠藤菜緒子 (2010) 農業集落向けアンケートを利用
したサギ類コロニー情報収集の可能性. 日本鳥学会
2010 年度大会, 東邦大学, 船橋市.
- ◎江崎保男・遠藤菜緒子・前畑晃也 (2010) 人と軋轢
を生じているカワウ・サギ類との共生を果たす戦略
の基礎研究. 平成 22 年度兵庫県立大学研究発表会,
兵庫県立大学, 明石市.

2.資料収集・整理

■資料収集

- 2010.4-2010.8 兵庫県のカワウ・サギ集団繁殖地のデ
ータ収集. 県内各地.
- 2009.4-2010.12 兵庫県のカワウねぐらのデータ収集.
県内各地.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- ◎遠藤菜緒子, 2010.4, 「みんなで野鳥図鑑をつくろう」,
博物館. (1 名).
- ◎遠藤菜緒子, 2010.4, 「野鳥にみる季節と環境～春の
武庫川」, 武庫川 (生瀬～武田尾). (16 名).
- ◎遠藤菜緒子・フロアスタッフ, 2010.5, 「ふかたん初
夏の鳥」, 博物館. (8 名).

◎遠藤菜緒子, 2010.6, 「野鳥にみる季節と環境～初夏
の田んぼ」, 武庫川 (三田市). (12 名).

◎遠藤菜緒子, 2010.6, 「鳥の声のある風景」, 博物館.
(9 名).

北村俊平・江崎保男・田中哲夫・三橋弘宗・遠藤菜緒
子, 2010.6, 「生態学からみた生物多様性」, 博物館.
(37 名).

◎遠藤菜緒子・石田弘明, 太田英利, 布施静香, 上田,
山崎義人, 山本伸子, 三橋弘宗, 北村俊平, 田中哲
夫, 2010.7-2010.12, 「ちりめんモンスターをさがそ
う!」, 博物館. (全 6 回, 938 名).

◎遠藤菜緒子, 2010.8, 「鳥のくちばしを観察しよう」
(全 3 回), 博物館. (全 3 回 81 名).

◎遠藤菜緒子, 2010.9.4, 「常設展示のバードウォッチ
ングツアー」, 博物館 (7 名).

◎遠藤菜緒子, 2010.10-2010.12, 「リサーチプロジェク
ト カワウ」博物館・武庫川 (三田市). (全 3 回,
16 名).

◎遠藤菜緒子, 2010.11, 「野鳥にみる季節と環境～秋
の田んぼ」, 武庫川 (三田市). (10 名).

◎遠藤菜緒子, 2010.12, 「野鳥にみる季節と環境～冬
の福島大池」, 有馬富士公園. (18 名).

◎遠藤菜緒子, 2011.1, 「芦屋川と野鳥のくらし」, ク
ラーク国際記念高等学校・芦屋川. (8 名).

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2010.10-2011.2, ひょうごカワウリサーチグループ養成
事業.

副担当

脇坂英弥 (ひととはく地域研究員)

楠瀬雄三 (ひととはく地域研究員)

工 義尚 (ひととはく地域研究員)

リサーチプロジェクト

2010.4-2011.3, リサーチプロジェクト「カワウ調査」(実
施・企画運営).

セミナー担当

2010.10-12, リサーチプロジェクト・カワウ (全 3 回)
(企画運営).

成果発表

2011.2, 共生のひろば 「リサーチプロジェクト・カ
ワウ」, ひょうごカワウリサーチグループ(指導・協働).

■連携事業

連携グループ等

NPO 法人人と自然の会カワセミの会 (副担当)

明石市立大観小学校 3 年生 (主担当)

明石のはらくらぶ (主担当)

成果発表

2010.9, ひょうごのいきものふるさとを見守るなかま
環境体験学習でつなぐ「身近な自然」と「人の輪づく
り」, 明石のはらくらぶ (協力).

2011.2, 共生のひろば 「三田は自然が豊か, 鳥がい
っぱい!」, NPO 法人人と自然の会カワセミの会 (指

導・協働).

2011.2, 共生のひろば 「鳥を知ろう! 自然をみつめよう!」, 明石市立大観小学校3年生(協力).

■学校教育支援

学校団体対応

2010.5, 武庫川女子大学附属中学校 SS クラス (37 名).

2010.7, 三菱社宅子ども会 (34 名).

2010.10, 甲南小学校 3・4 年生 (130 名).

2010.10, 大阪教育大学附属甲南小学校 5 年生 (121 名).

2010.11, 三田市立あかしあ台小学校 2 年生 (83 名).

2010.11, 明石市立大観小学校 3 年生 (44 名).

2011.1, クラーク国際記念高等学校 1 年生 (82 名).

■フェスティバル等

2011.11, ひとはくフェスティバル, 「ちりめんモンスタ―をさがそう!」(責任者).

■展示

企画展

2010.7.17-12.26, 企画展示「ひょうごの生物多様性 瀬戸内海 VS 日本海」(分担者).

ミニ企画展

2010.12.11-2011.1.10, ミニ企画展「干支展 ウサギさんようこそ」(分担者).

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 12 回, 65 名.

■行政支援

相談・指導助言

来訪者 2 件, 4 名. 電話・FAX 相談 12 件, メール相談 8 件.

北村 俊平, Shumpei KITAMURA

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ／企画調整室

研究員

昭和50年石川県生. 京都大学大学院理学研究科博士課程
後期課程修了. 理学博士. 日本生態学会, 日本熱帯生態
学会, Association for Tropical Biology and Conservation 所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

経営戦略会議, 月例報告会, ミュージアムショップ担
当

地域担当 (神戸)

2.研究開発部門

紀要担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 東南アジアの熱帯林における動物による種子散布の
研究

2. 日本国内の動物による果実食と種子散布情報の収集

■共同研究

部門研究「生態学的にみた共生の現実と未来」, 研究分
担者.

■論文・著書

Kim, H.-J., Hur, W.-H., Kitamura, S., & Kim, J.-H. (2010)
First record of a specimen of the Tufted Puffin *Fratercula*
cirrhata from Korea. Korean Journal of Ornithology
17:387-389.

Kitamura, S., Thong-Aree, S., Madsri, S., & Poonswad, P.
(2011) Characteristics of hornbill-dispersed fruits in
dipterocarp forests of southern Thailand. Raffles Bulletin
of the Zoology Supplement 24:137-147.

■その他著作

How hornbill keep Asian rainforest healthy and diverse.
Interview by Jeremy Hance (26 April 2010,
http://news.mongabay.com/2010/0425-hance_kitamura.html)

北村俊平(2010) 第12回ボルネオジャングル体験スク
ール ひとはく新聞 (ハーモニー70号)

北村俊平(2011) 自動撮影カメラがとらえた深田公園
の動物たち ひとはく新聞 (ハーモニー72号)

■ブログへの情報提供

16件

■研究発表

Kitamura, S. (2010) Frugivory and seed dispersal by
hornbills (Bucerotidae) in tropical forests. The 5th
International Symposium-Workshop on Frugivores and
Seed Dispersal (13-18 June 2010, Montpellier, France).

Chutipong, W., Ngoprasert, D., Reed, D. H., Lynam, A. J.,

Sukmasuang, R., Tantipisanuh, N., Steinmetz, R., Jenks,
K. E., Grassman Jr., L. I., Kitamura, S., Howard, J., Cutter,
P., Cutter, P., & Gale, G. A. (2011) Broad scale habitat
selection of small carnivores. Annual Meetings of
Asia-Pacific Chapter of the Associations for Tropical
Biology and Conservation (12-15 March, 2011, Bangkok,
Thailand).

Ngoprasert, D., Lynam, A. J., Sukmasuang, R., Tantipisanuh,
N., Chutipong, W., Steinmetz, R., Jenks, K. E., Gale, G.
A., Grassman Jr., L. I., Kitamura, S., Howard, J., Cutter, P.,
Cutter, P., & Reed, D. H. (2011) Occurrence of three felids
across a network of protected areas in Thailand: prey,
intraguild, and habitat associations. Annual Meetings of
Asia-Pacific Chapter of the Associations for Tropical
Biology and Conservation (12-15 March, 2011, Bangkok,
Thailand).

北村俊平, Poonswad Pilai (2011) 大型の果実食鳥類サ
イチョウ類による種子散布距離の推定. 第58回日本
生態学会 (2011年3月, 札幌).

■学会役員など

日本熱帯生態学会, 広報幹事 (ニューズレター編集担
当).

Acta Oecologica, レフェリー.

Biological Conservation, レフェリー.

Ecological Research, レフェリー.

Ecology, レフェリー.

Ecotropica, レフェリー.

Integrative Zoology, レフェリー.

Journal of Natural History, レフェリー.

Journal of Plant Research, レフェリー.

Journal of Tropical Ecology, レフェリー.

Mammalian Biology, レフェリー.

Ornithological Science, レフェリー.

Oryx, レフェリー.

Raffles Bulletin of Zoology, レフェリー.

Strix, レフェリー.

Tropical Conservation Science, レフェリー.

Tropics, レフェリー.

日本生態学会誌, レフェリー.

日本鳥学会誌, レフェリー.

人と自然, レフェリー.

■助成を受けた研究

小型種のサイチョウ類は大型種の生態系機能 (種子散
布) を代替できるのか? 文部科学省科学研究費若手
研究(B), 研究代表者 (金額 140 万円/320 万円).

■海外調査

2010.5, タイ・バンコク

2011.1-2, タイ・バンコク

2.資料収集・整理

■整理同定担当資料

陸生脊椎動物 (鳥類).

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー（演示に相当するセミナーは◎印を記載）

北村俊平, 2010.4, 「研究と私」, 博物館. (45 名)

北村俊平・遠藤奈緒子・江崎保男・三橋弘宗・田中哲夫,
2010. 6, 「生態学からみた生物多様性」, 博物館. (37
名)

北村俊平, 2010.9, 「動物たちがつくる熱帯の森」, 博物
館. (4 名)

北村俊平, 2010.10, 「動物にタネを運んでもらう仕組み」,
神戸市立森林植物園. (8 名)

北村俊平, 2010.11, 「植物と動物のつながり:花と果実」,
博物館. (16 名)

北村俊平, 2010.12, 「自動撮影カメラでさぐる動物たち
のくらし」, 博物館. (11 名)

北村俊平, 2010.8, 「熱帯の森の音を楽しむ」, 博物館. (11
名)

北村俊平, 2010.11, 「みどころズバリ!まるわかり!!
ギャラリートーク」, 博物館. (32 名)

高橋晃・橋本佳明・布施静香・北村俊平, 2010.11, 「生
物系収蔵庫ツアー」, 博物館. (52 名)

遠藤奈緒子・石田弘明・三橋弘宗・北村俊平, 2010.11,
「チリメンモンスターを探そう」, 博物館. (125 名)

◎北村俊平, 2011.2, 「ふかたん:冬の鳥を見よう」, 博
物館. (7 名)

北村俊平, 2011.3, 「熱帯の森の音を楽しむ」, 博物館. (7
名)

橋本佳明・高橋晃・布施静香・山本伸子・北村俊平, 2011.3,
「生物系収蔵庫ツアー」, 博物館. (36 名)

■フェスティバル等

2011.11, ひとはくフェスティバル, 「芝生ステージ担
当」.

■展示

企画展

2010.7.17-12.26, 企画展示「ひょうごの生物多様性 瀬
戸内海 VS 日本海」(分担者).

ミニ企画展

2010.12.11-2011.1.10, ミニ企画展「干支展 ウサギさ
んようこそ」(分担者).

2011.2.15-2011.5.15, ミニ企画展「六甲山のキノコ展
2011」(分担者).

2.シンクタンク事業

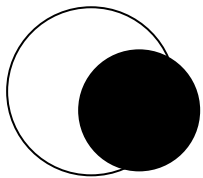
■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 3 回, 12 名.

■行政支援

相談・指導助言

来訪者 1 件, 1 名, 電話・FAX 相談 11 件, メール相談
12 件.



個人別成果報告に関する資料

No. 4

●自然・環境マネジメント価値研究部 コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/
コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ

中瀬 勲, Isao NAKASE

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/事業
推進部 副館長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部
門 教授.

昭和23年大阪府生. 大阪府立大学大学院農学研究科修士
課程修了. 農学博士. 日本造園学会, 日本都市計画学会,
環境情報科学センター等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

事業推進部長

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 多自然居住地域でのまちづくりに関する実践的研究
2. ランドスケープ計画・設計論

■共同研究

総合共同研究

部門研究「大規模公園での住民参画型運営システムと
ソーシャルキャピタル形成」, 研究分担者.

■論文・著書

中瀬勲(2010)「生物多様性と地域づくり」, 都市計画
Vol.59/No.5 287, 005-008.

木本一宏・赤澤宏樹・嶽山洋志・中瀬勲(2010)「和歌
山県旧大塔村の集落移転の検証」, 環境情報科学論文
集 24, 2010, 143-148.

◎中瀬勲(2011)「島の自然景観～淡路島における取り
組み～」, 隔月刊誌「島へ」, MARCH2011, VOL.58,
(株)海風舎, 76-77.

◎Isao NAKASE・Mayumi HAYASHI(2011)「Realizing
Community Design that is in Harmony with
Nature—Tamba Forest Plan Case Study」, Program and
Abstracts of the 7th Pacific Rim.

◎藤本真里・中瀬勲(2010)有馬富士公園運営・計画
協議会の議論内容からみた住民参画型公園運営の課
題と展望. ランドスケープ研究, Vol. 74(5), 793-798.

◎赤澤宏樹・武田重昭・藤本真里・中瀬勲(2011)兵庫
県立西武庫公園におけるコミュニティ型協議会によ
るパークマネジメント, ランドスケープ研究,
Vol.73(5), 799-804.

■その他著作

◎中瀬勲(2010)「クオリティライフとパークマネジメ

ントプランについて」, 平成21年度日本造園学会全
国大会分科会講演集, 45-46.

◎中瀬勲(2010)「博物館連携のあり方について」, 国際
博物館の日記念シンポジウム「都市の」魅力発信と
博物館連携記録集, 43-45.

◎中瀬勲(2010)「多自然居住地と生物多様性」, 2010
年度地域地理学会シンポジウム資料集.

中瀬勲(2010)「近江楽座のスズメー学生力で地域が変
わる/4年間の軌跡」, ランドスケープデザイン.

中瀬, 管, 延藤, 金子, 林, 名畑, 藤本(2010)「クオ
リティライフの構築に向けたパークマネジメントプ
ランの意味と役割」, ランスケープ研究 74(3),
235-236.

中瀬勲(2011)「2011年頭所感」, 環境緑化新聞社.

中瀬勲(2011)「21世紀社会への挑戦」, 情報誌丹波の
森(No.21), (財)兵庫丹波の森協会・丹波の森公苑.

中瀬勲(2011)「年代に応じた生き方」, 「丹波 OB 大学
大学院」2010年のまとめ, 巻頭言, (財)兵庫丹波の
森協会・丹波の森公苑.

中瀬勲(2011)「大学時代の思い出」, 巻頭言, ぬくもり
第8号, 丹波 OB 大学自治会, (財)兵庫丹波の森協
会・丹波の森公苑.

中瀬勲・熊谷信昭(2011)「対談・人と自然の共生」, ひ
ょうごサイエンス, (財)ひょうご科学技術協会, 1-12.

中瀬・崎須賀・兼村・永野・高橋(2011)「ALPHA 座談
会『研究科1期生, 大いに2年間をふりかえる』」,
兵庫県立大学緑環境景観マネジメント研究科ホーム
ページ. 中瀬勲(2011)「21世紀社会への挑戦」, 情報
誌丹波の森, 丹波の森協会.

Takeyama/Yamashita/Akazawa/Nakase(2010)「Game
Development for Environmental Education -Biotop
Simulation Game-」, URBIO2010, p. 131.

Takayama/Yamashita/Nakase(2010)「Development of
Learning Tool which used "Mobile-Phone with GPS" and
"Web-GIS" for Environmental Education」, Pac-RIM,
p.25.

◎中瀬勲(2011)「ジオパーク」, 環境緑化新聞 3月 11/21
日号, (社)日本造園組合連合会.

■研究発表

◎中瀬勲(2010.6.27)「多自然居住地と生物多様性」,
2010年度地域地理学会シンポジウム(岡山大学).

◎Isao NAKASE・Mayumi HAYASHI(2010)「Realizing
Community Design that is in Harmony with
Nature—Tamba Forest Plan Case Study」, 7th Pacific
Rim.

T. KASUTANI, M. KATAHIRA, TAKEYAMA,

S.YAMAMOTO, I.NAKASE(2010) 「Learning is Play!!」
How Education in Remote Places Should be in the Future
Landscape for Different Generation, 7th Pacific Rim.

■学会役員など

日本造園学会, 評議員.
日本造園学会, 校閲委員.
日本造園学会, ランドスケープマネジメント研究委員会, 企画責任者.
日本造園学会, 景観計画・デザイン研究委員会, 委員.
日本造園学会, 代議員.
日本都市計画学会, 学術研究発表論文・一般研究論文審査部会, 委員.
環境情報科学センター, 評議員.
環境情報科学センター, 環境情報科学論文集査読委員会, 委員.
兵庫県政学会, 評議員.
日本造園学会 CPD プログラム認定委員会, 委員.

■賞罰

兵庫県教育功労者表彰 (知事表彰)

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

中瀬勲, 2010. 7-2010. 9, 「ランドスケープマネジメントへ」, 博物館 (全3回, 11名)

館外講演など

中瀬勲, 2010.5.9 「こどもの遊び国際フォーラム」, コーディネーター, 淡路花博 2010 記念フォーラム, 150人, 淡路市.
中瀬勲, 2010.5.16 「環境フォーラム in 淡路島, 地域の豊かさを実感するには」, パネラー, 淡路花博 2010 花みどりフェア県民提案事業, 300人, 淡路市.
中瀬勲, 2010.5.21 「日本の花文化の継承と国際化」, コーディネーター, 淡路花博 10 周年記念フォーラム, 150人, 淡路市.
中瀬勲, 2010.5.22 「『国際生物多様性の日』記念シンポジウム」, パネラー, 200人, (社) 日本造園学会. 名古屋市.
中瀬勲, 2010.5.24 「クオリティライフとパークマネジメントプランについて」, 話題提供, 平成 22 年度日本造園学会分科会「クオリティライフの構築に向けたパークマネジメントプランの意味と役割」, 80人, 名古屋市.
中瀬勲, 2010.6.16 「みんなつながりあって生きている-生物多様性-」, 講師, 豊中市市民環境会議総会記念講演, 豊中市, 200人.
中瀬勲, 2010.6.26 「生態系から学ぶ-みんなつながりあって生きている-」, 講師, 第二回こども環境フォーラム, 神戸市, 250人.
中瀬勲, 2010.6.27 「多自然居住地と生物多様性」, 講師, 2010 年度地域地理科学会シンポジウム, 岡山市,

50人.

中瀬勲, 2010.7.4 「鼎談『水ネットワークの再発見』」, 鼎談者, 疎水フォーラム in ひょうご 2010, 神戸市, 450人.
中瀬勲, 2010.7.6 「生物多様性とわたしたちの暮らし」, 講師, CAST クラブ第 38 回例会, 光都, 80人.
中瀬勲, 2010.7.17 「市民が主役の花と緑のまちづくり」, 講師, 平成 22 年度緑化リーダー第一回講習会, 大阪市みどり推進部, 260人, 大阪市.
中瀬勲, 2010.7.18 「地域が元気になるためには?」, 講師, 2010 年度 (社) 淡路青年会議所社会開発委員会, 60人, 洲本市.
中瀬勲, 2010.7.18 「子どもに達に残したい淡路島にするには?」, 講師, 2010 年度 (社) 淡路青年会議所社会開発委員会, 60人, 洲本市.
中瀬勲, 2010.7.22 「真のパークマネジメントとは何か」, パネラー, ニューヨーク市の公園監査プログラム(PIP)から学ぶパークマネジメントの実際, (社) 日本公園緑地協会, 260人, 東京都.
中瀬勲, 2010.8.2 「多自然居住の現状と課題」, 講師, 兵庫県自治研修所, 64人, 神戸市.
中瀬勲, 2010.8.3 「ひょうごの環境学習・教育について」, 講師, 現場で使える!環境学習・教育, 16人, 神戸市.
中瀬勲, 2010.8.31 「生物多様性保全の重要性と行政の役割」, 講師, 高槻市職員研修所, 100人, 高槻市.
中瀬勲, 2010.9.6 「生物多様性保全の重要性と行政の役割」, 講師, 高槻市職員研修所, 100人*2回=200人, 高槻市.
中瀬勲, 2010.9.11 「ウエルカムスピーチ」, みどりが地域を元気にする国際まちづくりフォーラム, 淡路景観園芸学校, 300人, 淡路市.
中瀬勲, 2010.9.11 「公開フォーラム」, コーディネーター, みどりが地域を元気にする国際まちづくりフォーラム, 淡路景観園芸学校, 300人, 淡路市.
中瀬勲, 2010.9.16 「景観園芸学校について」, 講師, 丹波の森大学, 60人, 淡路市.
中瀬勲, 2010.9.18 「環境と私たちの暮らし」, 講師, 宝塚環境リーダー育成講座, 20人, 宝塚市.
中瀬勲, 2010.10.18 「淡路島の景観づくり」, 講師, 淡路島景観づくり懇話会, 20人, 兵庫県淡路県民局.
中瀬勲, 2010.10.23 「水辺と緑のある高槻の街づくり構想」, 講師, 高槻市・たかつき市民環境会議, 80人, 高槻市.
中瀬勲, 2010.10.29 「生物多様性と私たちのくらし」, 講師, 生物多様性交流フェア, 神戸市シルバーカレッジ・神戸市環境局, 250人, 神戸市.
中瀬勲, 2010.11.11 「森づくりは水づくり」, 講師, 日本水道協会兵庫県支部平成 22 年度全会員講習会, 60人, 高砂市.
中瀬勲, 2010.11.12 「行動する多自然居住地」, 講師, 丹波の森大学, 70人, 丹波市.

中瀬勲, 2010.11.13 「計画策定後の地域主体の環境づくりのポイント」, 講師, 加東市環境市民会議, 160人, 加東市.

中瀬勲, 2010.11.15 「生物多様性と私たちの暮らし」, 講師, 第28回ひょうご科学技術トピックスセミナー, (財)ひょうご科学技術協会, 320人, 神戸市.

中瀬勲, 2010.11.16 「兵庫県ビジョンについて」, 講師, 新任職員研修会・兵庫県自治研修所, 80人, 神戸市.

中瀬勲, 2010.11.20 「生物多様性と私たちの暮らし」, 講師, 建築士会柏原支部創立50周年記念式典, 60人, 丹波市.

中瀬勲, 2010.11.20 「ため池の自然環境をいかした地域づくり」, 講師, 県民エコ広場事業; わがまのため池自慢フォーラム, 水辺に学ぶプロジェクト, 80人, 加古川市.

中瀬勲, 2010.11.25 「兵庫県における自然共生社会のへの取り組み」, 事例報告者, シンポジウム: 近未来における環境都市の実現を目指して, (社)環境情報センター, 170人, 東京都.

中瀬勲, 2010.11.26 「日本の庭園, 世界の庭園」, 講師, 神戸シルバーカレッジ, 30人, 神戸市.

中瀬勲, 2010.11.29 「淡路未来島構想について」, 講師, 兵庫県シンクタンク等協議会, 15人, 淡路市.

中瀬勲, 2010.11.30 「兵庫県ビジョンについて」, 講師, 新任職員研修会・兵庫県自治研修所, 80人, 神戸市.

中瀬勲, 2010.12.2 「都市と農村の交流」, 講師, 淡路園芸学校生涯学習講座, 60人, 淡路市.

中瀬勲, 2010.12.9 「都市と農村の交流」, 講師, 淡路園芸学校生涯学習講座, 60人, 淡路市.

中瀬勲, 2010.12.9 「経験と人脈を活かす」, コメンテーター, 阪神南ビジョンOB会第3回活動アピール大会, 60人, 西宮市.

中瀬勲, 2010.12.14 「農村における良好な自然環境の保全と創造」, 講師, 平成22年度土地改良専門技術者研修, 全国土地改良団体連合会, 70人, 京都市.

中瀬勲, 2010.12.16 「日本の未来・淡路の可能性」, モデレーター, あわじ環境未来島シンポジウム, 700人, 淡路市.

中瀬勲, 2010.12.18 「生物多様性条約第10回締約国会議を受けて」, 講師, アースパル神戸環境フォーラム2010, 40人, 神戸市.

中瀬勲, 2011.1.19 「緑のまちづくりと私たちの役割」, 講師, 阪神シニアカレッジ, 40人, 宝塚市.

中瀬勲, 2011.1.23 「淡路島らしい景観づくりに向けて」, 進行役, 淡路県民局・淡路景観園芸学校, 500人, 淡路市.

中瀬勲, 2011.2.1 「淡路島の自然や地域の力を生かした環境体験事業」, 講師, 環境体験事業淡路地域フォーラム, 兵庫県教育委員会淡路教育事務所, 160人, 淡路市.

中瀬勲, 2011.2.9 「地域の景観を学ぶ」講師, 阪神シニアカレッジ伊丹, 36人, 伊丹市.

中瀬勲, 2011.2.19 「成熟社会における地域が主体のまちづくり」, 講師, 高槻市コミュニティ推進協議会総会, 250人, 高槻市.

中瀬勲, 2011.2.25 「生物多様性について」, 講師, 高槻市民環境講座, 50人, 高槻市.

中瀬勲, 2011.3.4 「生態系サービスについて」, 講師, 高槻市民環境講座, 50人, 高槻市.

兵庫県立大学・大学院教育

環境戦略特論 (主任, 分担, 指導補助)

20010.4, 緑景観マネジメント論, (主任).

20010.10-2011.3, 緑地計画, (主任).

非常勤講師

2010.12-2011.3, 「ランドスケープデザイン論」の一部, 国立大学法人名古屋工業大学.

■ミニキャラバン事業

2010.10, 生物多様性交流フェア (分担者), COP10 支援実行委員会, COP10 白鳥会場

2010.11, ふれあいの祭典 (分担者), 兵庫県, 有馬富士公園

■学校教育支援

トライやるウィーク

2010.6.5-6.8, 八景中学校, 富士中学校, 西谷中学校 3名.

■研究生等の受入

博物館実習

2010.8.12-8.17, 神戸学院大学, 尾道大学, 摂南大学, 神戸芸術工科大学, 京都文教大学, 5名.

■フェスティバル等

2010.11 ひとはくフェスティバル, (実行委員長).

■展示

企画展

2010.7.17-2011.1 企画展「ひょうごの生物多様性瀬戸内海 VS 日本海」(分担者).

ミニ企画展

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等 (計101件)

1993.3- (財) 丹波の森協会, 理事.

1994.10- 姫路市環境審議会, 会長, 姫路市.

1996.4- (財) 丹波の森協会, 丹波の森研究所, 所長.

1996.7- 兵庫県立丹波の森公苑運営委員会, 委員, (財) 丹波の森公苑.

1997.8- 阪神シニアカレッジ運営委員会, 委員, 兵庫県.

1997.8- 「なぎさ海道」推進会議, 代表委員, (財) 大阪湾ベイエリア開発推進機構.

1997.8- 建設省近畿地方建設局, 自然環境アドバイザー, (国土交通省) 建設省.

1998.8- 環境アドバイザー, (財) ひょうご環境創造

協会.
 1999.4 (財) 都市緑化技術開発機構, 研究顧問.
 2000.6 里山保全アドバイザー, (社) 大阪自然環境保全協会.
 2001.5 (財) 兵庫県(高齢者)生きがい創造協会, 理事.
 2001.8 関電公害防止協議会, 委員長, 兵庫県・姫路市・関西電力株式会社.
 2001.9 丹波地域ビジョン委員会専門委員, 兵庫県丹波県民局.
 2002.3 (財) 日本グラウンドワーク協会, 評議員.
 2002.5 兵庫県立有馬富士公園運営・計画協議会, 会長, 兵庫県県土整備部.
 2002.7 長期ビジョン推進委員会, 副委員長, 兵庫県企画管理部(県民政策部).
 2002.7 尼崎 21 世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備部.
 2002.12 兵庫県環境審議会, 委員, 兵庫県生活文化部(県民政策部).
 2003.2 コミュニティ・ガーデン・ネットワーク, 理事, (財) 都市緑化基金.
 2003.6 (社) 日本公園緑地協会, 研究顧問.
 2003.10 兵庫県高大連携等推進協議会, 委員長, 兵庫県教育委員会.
 2004.6 (財) 日本グラウンドワーク協会東海・近畿・北陸ブロック会議, 委員, (財) 日本グラウンドワーク協会.
 2004.7 島本町環境保全審議会, 会長, 島本町.
 2004.7 グリーンスクール審査委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.
 2004.12 国営事業環境配慮アドバイザーグループ, アドバイザー, 近畿農政局.
 2005.1 加古川市環境審議会, 委員, 加古川市.
 2005.1 兵庫県立甲山森林公園管理運営協議会, 委員長, 兵庫県阪神南県民局.
 2005.4 阪神北ビジョン委員会, アドバイザー, 兵庫県阪神北県民局.
 2005.5 ひょうご環境学校事業, アドバイザー, 兵庫県健康生活部.
 2005.5 神戸市建設局指定管理者候補者選定委員会, 委員長, 神戸市.
 2005.7 独立行政法人評価委員会日本万国博覧会記念機構分科会, 臨時委員, 財務省.
 2005.7 大門寺整備委員会, 委員, 宗教法人大門寺.
 2005.7 長期ビジョン推進委員会公募委員審査委員会, 委員, 兵庫県県民政策部.
 2005.8 兵庫県立丹波の森公苑, 公苑長, (財) 丹波の森協会.
 2005.8 丹波 OB 大学, 学長, 兵庫県立丹波の森公苑.
 2005.8 たんば共創の森, 塾長, 兵庫県立丹波の森公苑.
 2006.2 事業評価監視委員会, 常任委員, 西日本高速

道路株式会社.
 2006.3 (財) 大阪市文化財協会, 理事.
 2006.4 (財) 公園緑地管理財団, 研究顧問.
 2006.4 (財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構, 参与.
 2006.4 (財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構研究企画委員会, 委員.
 2006.5 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会公苑長杯, 実行委員長, 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会実行委員会.
 2006.5 丹波の森子ども環境塾『エコキッズクラブ』, 塾長, (財) 兵庫丹波の森協会.
 2006.6 兵庫県高大等連携推進協議会, 委員長, 兵庫県教育委員会.
 2006.7 近畿農政局農村景観・自然環境保全再生パイロット事業審査委員会, 委員長, 農林水産省近畿農政局.
 2006.8 兵庫楽農生活センター運営協議会, 顧問, (財) 兵庫みどり公社.
 2006.9 (財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構, 安全・安心研究所, 上級研究員.
 2006.10 内ヶ池整備に関する検討委員会, 委員長, 大阪府, 高槻市.
 2006.10 ひょうごっこグリーンガーデン研究会, 会長, 兵庫県健康生活部.
 2007.1 丹波年輪の里運営協議会, 委員, 兵庫県立年丹波年輪の里.
 2007.1 環境体験支援委員会, 副委員長, 兵庫県教育委員会.
 2007.4 神戸市公園緑地審議会, 委員, 神戸市.
 2007.4 神戸市公園緑地審議会運営部会, 部会長, 神戸市.
 2007.4 機関誌「公園緑地」編集委員会, 委員, (財) 日本公園緑地協会.
 2007.6 丹波市恐竜を活かしたまちづくり協議会, 委員, 丹波市.
 2007.6 西播磨風景づくり支援センター, 登録, 兵庫県西播磨県民局.
 2007.6 平成 19 年度助成事業審査委員会, 委員, 特定非営利法人しみん基金・こうべ.
 2007.7 丹波恐竜化石にかかるとの事業連携推進会議, 会長, 県立人と自然の博物館, 丹波県民局, 丹波市.
 2007.8 平成 19 年度環境体験丹波地域支援委員会, 委員長, 兵庫県教育委員会丹波教育事務所.
 2008.1 野生動物保護管理運営協議会, 会長(201001 から), 副会長, 兵庫県農林水産部.
 2008.1 野生動物保護管理運営協議会, WLM 推進部会, 部会長代行, 兵庫県農林水産部.
 2008.4 丹波縄文の森塾, 塾長, (財) 兵庫丹波の森協会.
 2008.4 やしろの森公園運営協議会, 委員, やしろの森公園協会.

- 2008.6- 恐竜を活かしたまちづくりプロジェクトチーム，座長，兵庫県丹波県民局。
- 2008.6- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議，委員，兵庫県阪神南県民局。
- 2008.6- 農産漁村（ふるさと）地域力発掘支援モデル事業アドバイザー，全国土地改良事業団体連合会。
- 2008.12- 「尼崎の森中央緑地海辺エリア整備計画検討委員会」，委員，兵庫県阪神南県民局。
- 2009.1- 「丹波の森大学」，学長，（財）兵庫丹波の森協会。
- 2009.4- 加古川流域委員会，委員長，国土交通省姫路河川国道事務所。
- 2009.5-2011.4 「県立祥雲館高等学校に係るスーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会」，委員，兵庫県教育委員会。
- 2009.6- 「兵庫の将来像研究会」，委員，「地域構造チーム」，委員，兵庫県企画県民部。
- 2009.6- 「兵庫の将来像研究会地域構造チーム」，委員，兵庫県企画県民部。
- 2009.6- 「地域空間再生検討チーム」，メンバー，兵庫県企画県民部。
- 2009.6- 「環境体験淡路地域支援委員会」，委員長，兵庫県教育委員会淡路教育事務所。
- 2009.12- 「都市緑化推進検討委員会」，委員長，（財）兵庫県園芸・公園協会。
- 2009.12- 「丹波地域ビジョン検討委員会」，委員，兵庫県丹波県民局。
- 2009.12- 「神戸市環境保全審議会」，臨時委員，神戸市。
- 2009.12- 「県立三木防災公園運営協議会」，会長，兵庫県北播磨県民局三木土木事務所。
- 2010.01- 「高槻市総合計画審議会」，委員・部会長，高槻市。
- 2010.01- 「新名神高速道路兵庫県域自然環境保全検討委員会」，委員長，西日本高速道路株式会社。
- 2010.02- 「（財）淡路島くとうみ協会」，評議員，会長，（財）淡路島くとうみ協会。
- 2010.02- 「たんば恐竜・哺乳類化石を活かしたまちづくり推進協議会」，副会長。
- 2010.02- 「円山川水系自然再生推進委員会」，委員，近畿地方整備局，兵庫県但馬県民局。
- 2010.03- 「阪神北ふれあいフェスティバル実行委員会」，委員長，兵庫県阪神北県民局。
- 2010.05- 「2040年の兵庫研究会」，委員，兵庫県企画県民部。
- 2010.05- 「淡路島国際環境戦略特区構想委員会」，座長，兵庫県県民企画部。
- 2010.05- 「兵庫の貴重な自然改訂委員会」，委員，兵庫県農政環境部。
- 2010.06- 「ひょうごの貴重な自然再生プロジェクト選定委員会」，委員，兵庫県農政環境部。
- 2010.05- 「新名神高速道路大阪府域自然環境保全検討委員会」，委員長，西日本高速道路株式会社。
- 2010.06- 「全国花のまちづくり三田大会実行委員会」，委員長，三田市。
- 2010.06- 「地域を元気にする国際会議実行委員会」，委員長，兵庫県など。
- 2010.08- 「宝塚市立宝塚自然の家指定管理者選定委員会」，委員長，宝塚市教育委員会。
- 2010.10- 「淡路島景観づくり懇話会」，委員長，兵庫県淡路県民局。
- 2010.10- 「北はりま定住圏共生ビジョン懇談会」，座長，西脇市・多可町。
- 2010.11- 「社会資本整備審議会専門委員会」，委員，国土交通省。
- 2010.11- 「国営明石海峡公園管理運営協議会」，委員長，（財）兵庫県公園案芸協会。
- 2010.12- 「新名神高速道路兵庫県域自然環境保全検討委員会」，委員長，西日本高速道路株式会社。
- 2010.12- 「川代恐竜街道道路サイン選定委員会」，委員長，兵庫県丹波県民局。
- 2011.1- 「（仮称）淡路島検定実行委員会」，委員，兵庫県淡路県民局，（財）くとうみ協会。
- 2011.1-2 「神戸総合運動公園野球場ネーミングライツ審査委員会」，委員長，神戸市。
- 2011.2-3 「兵庫県立三木総合防災公園「球技場」ネーミングライツ審査委員会」，委員長，兵庫県県土整備部。

相談・指導助言

来訪者 100 件 150 名。電話・FAX 相談 50 件，メール相談 150 件。

藤本 真里, MariFUJIMOYO

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ
研究員

兵庫県立大学自然・環境科学研究所環境計画研究部門助教

兵庫県立大学自然・環境科学研究所ジオ環境研究部門助教

兵庫県立コウノトリの郷公園研究員

昭和36年兵庫県生。大阪市立大学生生活科学部卒。日本造園学会、日本都市計画学会、社会経済システム学会、等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.タスクフォース

サブリーダー・担当 山陰海岸ジオパーク推進協議会
サポート

恐竜化石タスクフォース 担当 人材養成セミナー
担当 人材養成セミナー

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 住民参画型の公園運営に関する研究
2. 住民主導・行政支援型のまちづくり活動支援に関する研究

■共同研究

総合共同研究「ジオパークにおける博物館の役割—持続可能なサポートシステム構築に関する研究—」, 研究分担者。

部門研究「兵庫県の○○の保全を目的とした自然環境調査」, 研究分担者。

■論文・著書(県政課題に関連するものは、先頭に◎)

◎藤本真里・中瀬勲(2010) 有馬富士公園運営・計画協議会の議論内容からみた住民参画型公園運営の課題と展望。ランドスケープ研究, Vol. 74(5), 793-798.

◎赤澤宏樹・藤本真里・武田重昭・中瀬勲(2010) 兵庫県立西武庫公園におけるコミュニティ型協議会によるパークマネジメント。ランドスケープ研究, Vol. 74(5), 799-804.

■その他著作

藤本真里他(2010) 地域と企業を結ぶ里山づくり。ランドスケープデザイン, NO. 74, 28-32. (株)マルモ出版。

藤本真里(2010)ミツカンよかわバイオトープの効果的な広報に関する研究 その2. 株式会社ミツカングループ本社受託研究報告書。

藤本真里(2010)清流猪名川を取り戻そう町民運動推進活動支援。猪名川町協定報告書。

藤本真里(2010)パークマネジメントの人材養成に関する研究 その4. 兵庫県阪神北県民局受託研究報

告書。

■学会役員など

日本造園学会, 代議員。

日本造園学会, 論文校閲委員。

■助成を受けた研究

博物館による古写真と記憶の広域収集とテキストマイニングによる活用方策。文部科学省科学研究費挑戦的萌芽研究, 研究分担者(金額110万円/300万円) 恐竜発掘を素材にした, 地域と博物館をつなぐ学習プログラムの構築。文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究分担者

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4-2011.3, 山陰海岸ジオパーク景観写真。豊岡市, 香美町, 新温泉町。

2010.6, 「姫路城 市民が撮った昭和の大修理」写真等資料。姫路市。

2011.3, 区報「小柿のニュースステーション」平成12年~23年。三田市。

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

藤本真里・赤澤宏樹・中瀬勲, 2010.7, ひとはくパークマネジメントゼミ第1回「公園運営の現場から趣旨と概要」, 博物館。(10名)

藤本真里・赤澤宏樹・中瀬勲, 2010.11, ひとはくパークマネジメントゼミ第7回「有馬富士公園の取り組み」, 有馬富士公園。(9名)

藤本真里・赤澤宏樹・中瀬勲, 2010. 11, ひとはくパークマネジメントゼミ第8回「有馬富士公園で活躍する人々」, 有馬富士公園。(9名)

藤本真里, 2010.6, 簡単料理教室 味で感じる三田, 博物館。(18名)

藤本真里, 2010.6, 簡単料理教室 味で感じる山陰海岸ジオパーク, 博物館。(11名)

藤本真里, 2010.7-2011. 3, 「クイズ うんちく博物館」, 博物館。(全3回 50名)

藤本真里, 2010.7-2011. 3, 特注セミナー「クイズ うんちく博物館」, 博物館。(97名)

館外講演など

藤本真里, 2010.11, 芦屋のまちづくり, クラーク記念国際高等学校連携セミナー, クラーク記念国際高等学校。(107名)

藤本真里, 2011.9, 「住民参画型公園運営」, 講師, 有馬富士公園公開セミナー'10, 兵庫県阪神北県民局と共催, 三田市。(8名)

藤本真里, 2010.11-12, 「有馬富士公園のしくみ」他, 講師およびセミナー全体の企画・運営, 有馬富士公園公開セミナー'10, 兵庫県阪神北県民局と共催, 三

田市. (16名×4日 64名)

藤本真里, 2010.9-2011.1, セミナー全体の企画・運営, 有馬富士公園公開セミナー'10, 兵庫県阪神北県民局・兵庫県立有馬高校と共催, 三田市. (14名×12日 168名)

藤本真里, 2010.5-2011.2, みんなのまちの公共施設, プロジェクト学習, 兵庫県立大学附属中学校. (5名×9日 45名)

藤本真里, 2010.11, 「住民参画型の公園運営」, 講師, 神戸シルバーカレッジ, 神戸市. (31名)

藤本真里, 2010.6, 「みんなで育てる公共施設」, 講師, 関西大学, 吹田市. (9名)

藤本真里, 2010.5, 「NPO法人 人と自然の会とひととはく」, 講師, NPO法人 人と自然の会 新人研修, NPO法人 人と自然の会, 博物館. (10名)

藤本真里, 2010.6, 「知る・出会う・わかりあう 宝塚のまちづくり」, 講師, いきいき学舎・フレミラ専門コース「環境・自然コース」1年生, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市. (34名)

藤本真里, 2010.6, 「知る・出会う・わかりあう 宝塚のまちづくり」, 講師, いきいき学舎・フレミラ専門コース「環境・自然コース」2年生, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市. (35名)

藤本真里, 2010.7, 「まちづくりと公共施設」, 講師, 兵庫県立御影高校環境学習, 三田市. (10名)

藤本真里, 2011.1, 「みんなでつくり育てる公共空間」, 講師, 西播磨高齢者大学, たつの市. (60名)

兵庫県立大学・大学院教育

環境戦略特論 (分担)

人と自然の共生 (分担)

ジオと地域 (分担)

■ミニキャラバン事業

2010.10, ふれあいフェスティバル (分担者), ふれあいフェスティバル実行委員会, 但馬ドーム.

■連携事業

連携グループ等

NPO法人 人と自然の会 (副担当)

協力事業

2010.5, NPO法人 人と自然の会 新人研修, NPO法人 人と自然の会(セミナー実施)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2010.6.5-6.8, 八景中学校, 富士中学校, 西谷中学校 3名.

■研究生等の受入

博物館実習

2010.8.12-8.17, 神戸学院大学, 尾道大学, 摂南大学, 神戸芸術工科大学, 京都文教大学, 5名.

卒論生等

■フェスティバル等

2010.11, ひととはくフェスティバル, 「まんぷく屋台」(責任者).

2.シンクタンク事業

■受託研究

「清流猪名川を取り戻そう町民運動支援に関わる調査研究」. 猪名川町. (30万円)

「ミツカンよかわビオトープの効果的な広報に関する研究」. 研究代表者, 株式会社ミツカングループ本社. (75万円)

「パークマネジメントの人材養成に関する研究 その3」. 研究代表者, 兵庫県阪神北県民局. (100万円)

■行政支援

委員会等 (計22件)

2006.7- 有馬富士公園運営・計画協議会, 委員, 兵庫県阪神北県民局.

1998.4- 豊中市まちづくり専門家会議, 委員, 豊中市.

2001.8- 阪神北地域ビジョン委員会, 専門委員, 阪神北県民局.

2005.6- 三木市都市計画審議会, 委員, 三木市.

2003.4- 宝塚市都市景観デザイン審査会, 委員, 宝塚市.

2009.5-2010.1 宝塚市総合計画検討市民会議委員及び第1部会長, 宝塚市.

2010.2-11 宝塚市総合計画審議会委員及び第1部会長, 宝塚市.

2005.9- 財団法人しそ森林王国協会, 理事, 財団法人しそ森林王国協会.

2008.12- 兵庫県内水面漁場管理委員会, 委員, 兵庫県.

2007.7- 尼崎の森中央緑地 植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪神南県民局.

2008.6- 姫路市提案型協働事業審査会, 委員, 姫路市.

2008.8- 尼崎市都市公園等指定管理者選定委員会, 委員長, 尼崎市.

2009.6- 市民活動・ボランティアサポートセンター運営会議, 委員長, 姫路市.

2009.4-2010.3 山陰海岸ジオパーク専門部会, 委員, 兵庫県但馬県民局.

2009.1- 高砂市歴史文化基本構想等策定委員会, 委員, 高砂市教育委員会.

2010.5-2011.3 平成22年度地域づくり活動支援会議, 委員, こころ豊かな美しい阪神北推進会議.

2011.1 姫路城応援事業審査会, 委員, 姫路市.

2009.5- 岩塊流を活かした地域づくり検討会, 委員, 宍粟市.

2010.6-2011.3 2040年の兵庫研究会, 委員, 兵庫県企画県民部政策室ビジョン課.

2010.4-2010.5 平成22年度尼崎21世紀の森づくり協議会事業企画提案コンペ審査会, 委員, 兵庫県県土整備部まちづくり局.

2010.11-2011.3 安室川自然再生計画検討会, 委員, 兵庫県西播磨県民局.

2010.9 但馬地域づくり活動支援会議, 委員, こころ

豊かな美しい但馬推進会議.

相談・指導助言

来訪者 60 件, 110 名. 電話・FAX 相談 80 件, メール
相談 50 件.

赤澤 宏樹, HirokiAKAZAWA

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン（多自然居住）研究グループ／企画調整室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画部門 講師。

昭和45年大阪府生。大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了。農学博士。日本造園学会，日本都市計画学会，環境情報科学センター，人間・植物関係学会，IFPRA 所属。

＜事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事＞

1.事業推進部門

企画調整室

＜研究開発＞

1.調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. コミュニティ・ランドスケープの形成に関する基礎的研究
2. 多自然居住地域におけるまちづくりに関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山の保全・再生と担い手育成」，研究分担者。

部門研究「大規模公園での住民参画型運営システムとソーシャルキャピタル形成」，研究分担者。

■論文・著書

木本一宏・赤澤宏樹・嶽山洋志・中瀬勲（2010）和歌山県旧大塔村の集落移転の検証，環境情報科学論文集，24，143-148。

◎赤澤宏樹・武田重昭・藤本真里・中瀬勲（2011）兵庫県立西武庫公園におけるコミュニティ型協議会によるパークマネジメント，ランドスケープ研究，Vol.73(5)，799-804。

◎田原直樹・上甫木昭春・杉本容子・赤澤宏樹（2011）江戸から現代までの都市の樹木に対する価値意識の変化，ランドスケープ研究，Vol.73(5)，395-398。

◎赤澤宏樹（2010）まちの景観 みどりの保全と整備，新修芦屋市史続編，625-682。

■その他著作

◎Takeyama H・Yamashita Y・Akazawa H・Nakase I（2010）Game development for environmental education - biotope simulation game，Proceedings of the 2nd International Conference of Urban Biodiversity and Design，131。

◎Akazawa H（2010）An approach of new forest creation by self-producing regional characteristic seedlings in industrial area - trial by citizen's participation in Amagasaki Forest Central Green，Proceedings of the 2nd International Conference of Urban Biodiversity and Design，132。

◎赤澤宏樹・山崎義人・武田重昭・上田萌子・藤本真里・田原直樹（2010）博物館による古写真と記憶の収集と活用，平成22年度日本造園学会関西西部大会研究・事例報告発表要旨集，41-42。

■研究発表

◎赤澤宏樹・藤本真里・中瀬勲（2010）国営明石海峡公園神戸地区におけるアクションリサーチを通じたソーシャル・キャピタル形成。日本造園学会，名城大学，愛知県。

◎Takeyama H, Yamashita Y, Akazawa H, Nakase I（2010）Game development for environmental education - biotope simulation game. Urban Biodiversity & Design 2010, ウィンクあいち，愛知県。

◎Akazawa H（2010）An approach of new forest creation by self-producing regional characteristic seedlings in industrial area - trial by citizen's participation in Amagasaki Forest Central Green, Urban Biodiversity & Design 2010, ウィンクあいち，愛知県。

木本一宏・赤澤宏樹・嶽山洋志・中瀬勲（2010）和歌山県旧大塔村の集落移転の検証，環境情報科学センター，日本大学，東京都。

◎赤澤宏樹・山崎義人・武田重昭・上田萌子・藤本真里・田原直樹（2010）博物館による古写真と記憶の収集と活用，日本造園学会関西支部，鳥取環境大学，鳥取県。

■学会役員など

日本造園学会，代議員。

日本造園学会，論文校閲委員。

日本造園学会，ランドスケープ・マネジメント研究委員会 委員。

日本造園学会，造園技術報告集刊行委員会，委員。

日本造園学会関西支部，幹事。

日本造園学会関西支部，第27回全国都市緑化ならフェアフォーラム実行委員会，委員。

日本造園学会関西支部，ランドスケープ遺産研究会，世話人。

日本造園学会関西支部・みどりの5団体合同設計競技事務局，委員。

日本都市計画学会，校閲委員。

環境情報科学センター，校閲委員。

情報処理学会，校閲委員。

■助成を受けた研究

博物館による古写真と記憶の広域収集とテキストマイニングによる活用方策。文部科学省科学研究費挑戦的萌芽研究，研究分担者（金額120万円／300万円）

■海外調査

2010.11 中国・香港

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4-2011.3 古写真の収集。淡路市，佐用町，朝来市，神戸市等。

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 赤澤宏樹, 2010.4, 「自然の力をかりて公園やまちをつくる」, 博物館. (50 名)
- 赤澤宏樹, 2010.7, 「古写真にみる暮らしと自然」, 博物館. (50 名)
- 赤澤宏樹, 2010.7, 「ミニ逆さビデオカメラを作ろう」, 博物館. (50 名)
- 赤澤宏樹, 2010.8, 「牛乳パックでカメラづくり」(教職員セミナー), 博物館. (50 名)
- 赤澤宏樹, 2010.8, 「針穴(ピンホール)カメラをつくって撮影・現像まで」(教職員セミナー), 博物館. (30 名)
- 赤澤宏樹, 2010.8, 「カメラをつくって撮影・現像まで(初級編)」, 博物館. (30 名)
- 赤澤宏樹, 2010.8, 「針穴(ピンホール)カメラをつくって撮影・現像まで(中級編)」, 博物館. (10 名)
- 赤澤宏樹, 2010.8, 「ひととはくパークマネジメントゼミ 第2回 尼崎21世紀の森構想と中央緑地(視察)」, 尼崎中央緑地スポーツの森 (11 名)
- 赤澤宏樹, 2010.8, 「ひととはくパークマネジメントゼミ 第3回 地域へ貢献する公園づくりと活動」, 尼崎中央緑地スポーツの森 (11 名)
- 赤澤宏樹, 2010.9, 「逆さビデオカメラの原理を知ろう」, クラーク記念国際高等学校 (200 名)
- 赤澤宏樹, 2010.11, 「立版古(たてばんこ)を作ろう」, 博物館. (35 名)
- 赤澤宏樹, 2011.1, 「ひととはくパークマネジメントゼミ 第5回 神戸市のパークマネジメント方針と現状(視察)」, 神戸市立みなとの森公園 (11 名)
- 赤澤宏樹, 2011.1, 「ひととはくパークマネジメントゼミ 第6回 神戸市のパークマネジメント方針と現状」, 神戸市立みなとの森公園. (11 名)

館外講演など

- 赤澤宏樹, 2010.4, 阪神南地域ビジョン委員会総会, コメンテーター (50 名).
- 赤澤宏樹, 2010.6, 「アメリカの公園・コミュニティガーデンとライフスタイル」, 講師, 阪神シニアカレッジ国際理解コース, 尼崎市中小企業センター (50 名).
- 赤澤宏樹, 2010.7, 「セミの幼虫をつかまえよう」, 講師, 西武庫公園子ども農園, 兵庫県立西武庫公園 (12 名).
- 赤澤宏樹, 2010.8, 阪神南地域夢会議, コーディネーター, 尼崎市労働福祉会館 (80 名).
- 赤澤宏樹, 2010.8, 第27回全国都市緑化ならフェアフォーラム・ワークショップ事前演習, アドバイザー, 奈良県立大学 (6 名).
- 赤澤宏樹, 2010.8, 第27回全国都市緑化ならフェアフォーラム・ワークショップその1, アドバイザー,

奈良県立大学 (20 名).

赤澤宏樹, 2010.8, 第27回全国都市緑化ならフェアフォーラム・ワークショップその2, アドバイザー, 奈良県立大学 (20 名).

赤澤宏樹, 2010.10, 第27回全国都市緑化ならフェアフォーラム・ワークショップその3, アドバイザー, 奈良県立大学 (20 名).

赤澤宏樹, 2010.10, 「THE 但馬力を考える『振り返る』視点」, 講師, 但馬地域夢会議, 日高文化体育館, (80 名).

赤澤宏樹, 2010.11, 「尼崎21世紀の森づくりと地域」, 有馬富士公開セミナー2010, 兵庫県立有馬富士公園 (20 名).

赤澤宏樹, 2010.12, 「古写真にみる風景と自然」, 神戸シルバーカレッジ・園芸コース, 神戸市立しあわせの村 (60 名).

赤澤宏樹, 2011.1, 「生物多様性にむけた都市緑化フォーラム」, コーディネーター, 尼崎南部グリーンワークス, 尼崎市立成良中学校. (80 名).

赤澤宏樹, 2011.2, 「カメラをつくって原理を知ろう」, 科学の達人招聘事業, 尼崎市立園田中学校 (240 名).

赤澤宏樹, 2011.2, 「子どもの環境理解に向けたアメリカでの取り組み」, 西日本自然史系博物館ネットワーク総会, 徳島県立博物館 (20 名).

赤澤宏樹, 2011.2, 兵庫みらいフォーラム, コーディネーター, 兵庫県公館 (120 名).

赤澤宏樹, 2011.2, 阪神南地域夢会議, コーディネーター, 芦屋市民センター (80 名).

赤澤宏樹, 2011.3, 里山フォーラム2011, パネリスト, 篠山チルドレンズミュージアム (60 名).

赤澤宏樹, 2011.3, 阪神南地域ビジョン委員会総会, コメンテーター (50 名).

兵庫県立大学・大学院教育

共生博物学(分担)

環境戦略特論(指導補助)

非常勤講師

2005- 「中山間地域振興論」, 奈良県立大学.

2005- 「農業と社会」, 奈良県立大学.

2006- 「博物館事前実習」, 神戸大学, 分担.

■学校教育支援

トライやるウィーク

2010.6.5-6.8, 八景中学校, 富士中学校, 西谷中学校 3 名.

講師派遣

2011.2, 「カメラをつくって原理を知ろう」, 科学の達人招聘事業, 講師, 尼崎市立園田中学校2年生 (240 名).

■研究生等の受入

博物館実習

2010.8.12-8.17, 神戸学院大学, 尾道大学, 摂南大学, 神戸芸術工科大学, 京都文教大学, 5 名.

■展示

企画展

2010.7-2011.1, 企画展「ひょうごの生物多様性瀬戸内海 vs 日本海」, 海辺の風土に合わせた暮らし, 分担.

2.シンクタンク事業

■受託研究

「南公園里山保全・育成プロジェクト基本調査業務」, 分担者, 三田市. (70 万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

■行政支援

委員会等 (計 23 件)

- 2003.10- 西武庫公園ネットワーク, アドバイザー, 兵庫県阪神南県民局.
- 2003.8- 尼崎 21 世紀の森づくり協議会森部会, アドバイザー, 兵庫県県土整備部.
- 2004.4- 尼崎 21 世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備部.
- 2004.4- 尼崎 21 世紀の森づくり協議会森部会鉄工団地小部会, アドバイザー, 兵庫県県土整備部.
- 2004.12- 宝塚市都市景観デザイン審査会, 委員, 宝塚市.
- 2005.10- 兵庫県立西武庫公園管理運営協議会, 委員, 兵庫県阪神南県民局.
- 2006.8- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪神南県民局.
- 2006.8 西宮市都市景観アドバイザーグループ, 委員, 西宮市.
- 2006.8- 芦屋市史編纂委員会専門部会, 委員, 芦屋市教育委員会.
- 2007.4- 阪神南地域ビジョン委員会, 委員, 阪神南県民局.
- 2007.4- 阪神南地域ビジョン委員会グループ活動支援事業審査会, 委員, 阪神南県民局.
- 2009.6- 兵庫県地域空間再生検討チーム, メンバー, 兵庫県県民政策部.
- 2009.9- 尼崎市総合計画審議会, 委員, 尼崎市.
- 2009.9- 尼崎市総合計画審議会「あり方検討」専門部会, 委員, 尼崎市.
- 2009.10- 西宮市都市景観審議会, 委員, 西宮市.
- 2009.10- 西宮市都市景観審議会アドバイザー部会, 委員, 西宮市.
- 2010.4- 大阪市立長居公園管理運営協議会, 会長, 大阪市.
- 2010.5-2011.3 貴重な野生生物等 (地形・地質・自然景観) 専門委員会, 委員, 兵庫県自然環境課.
- 2010.6-2011.3 阪神南地域ビジョン見直し検討会, アドバイザー, 阪神南県民局.
- 2010.7- 三田市景観形成推進員, 三田市.
- 2010.9- 三田市景観審議会審査部会, 委員, 三田市.
- 2011.3- 国営明石海峡公園神戸地区管理運営計画検討会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.
- 2011.3 尼崎 21 世紀の森中央緑地コーディネーター会

議準備会, 座長, 尼崎港管理事務所.

相談・指導助言

来訪者 15 件, 40 名. 電話・FAX 相談 20 件, メール相談 40 件.

■学会開催等支援

2010.10 造園学会関西支部第 27 回全国都市緑化ならフェアフォーラム. 120 名.

武田 重昭, Shigeaki TAKEDA

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン（多自然居住）研究グループ
研究員

昭和50年兵庫県神戸市生. 大阪府立大学大学院生命環境
科学研究科博士後期課程修了. 博士（緑地環境科学）. 日
本造園学会, 日本都市計画学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

研究促進・総合共同研究推進マネージャー、研究企画
開発マネージャー

2.研究開発部門

会計担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 屋外空間の活用による団地及びニュータウン再生に
関する研究
2. 兵庫県立公園の今後のあり方に関する考察
3. 屋外空間の使いこなしによる地域活性化に関する研
究
4. 地域に対する誇りや愛着の醸成に関する考察
5. 都市再生における建築とオープンスペースとの関係
性に関する考察
6. 1960年代の都市計画及び緑地計画思想に関する研
究
7. 「都市をつくる仕事」の魅力と今後の展望に関する
考察

■共同研究

総合共同研究「ジオパークにおける博物館の役割―持
続可能なサポートシステム構築に関する研究―」, 研
究分担者.

部門研究「大規模公園での住民参画型運営システムと
ソーシャルキャピタル形成」, 研究分担者.

■論文・著書

武田重昭・西川文香・加我宏之・下村泰彦・増田昇 (2010)
利用実態から捉えたニュータウン再生に資する屋外
空間の活用に関する研究. 都市計画論文集 NO.45
vol.3, 787-792.

武田重昭・西川文香・加我宏之・下村泰彦・増田昇 (2010)
居住者の緑地環境に対するマネジメント意識の視点
から捉えたニュータウン再生に関する研究. 環境情
報科学論文集 NO.24, 195-200.

◎赤澤宏樹・藤本真里・武田重昭・中瀬勲 (2010) 兵
庫県立西武庫公園におけるコミュニティ型協議会に
よるパークマネジメント. ランドスケープ研究, Vol.
74(5), 799-804.

■その他著作

武田重昭 (2010) 公共空間の使いこなしによる都市の

新しいパブリックスタイル. 区画整理平成22年12月
号, 44-47.

武田重昭 (2010) 都市の公共性 ―都市に生きるルー
ル. 京都建築スクール (編), 「ルールのデザイン/デザ
インのルール 2009 境界線のルール」, 44-45, 建築
ジャーナル.

武田重昭 (2010) ランドスケープデザインの確立をめ
ざして. 武田史朗他 (編), 「テキスト ランドスケ
ープデザインの歴史」, 131-132, 学芸出版社.

武田重昭 (2010) 風景の声を聴きに. 「ランドスケープ
デザイン」, 103, マルモ出版.

武田重昭 (2010) “おそと”がつくる都市のムード.
OSOTO Web.

武田重昭 (2011) 1960年代の都市計画再考. Art and
Architecture Review Web.

◎赤澤宏樹・山崎義人・武田重昭・上田萌子・藤本真
里・田原直樹 (2010) 博物館による古写真と記憶の
収集と活用, 平成22年度日本造園学会関西西部大会研
究・事例報告発表要旨集, 41-42.

■ブログへの情報提供

1件

■研究発表

武田重昭・増田昇・永井心平・小木曾裕・村岡政子 (2010)
利用実態から捉えた団地屋外空間の活用による団地
再生に関する研究. 日本造園学会, 名城大学, 名古
屋市.

山崎義人, 武田重昭, 赤澤宏樹, 上田萌子, 藤本真里,
田原直樹, 中瀬勲 (2010) 博物館による古写真の収
集・分析・還元. 第12回日中韓国際ランドスケ
ープ専門家会議, 横浜市.

武田重昭・西川文香・加我宏之・下村泰彦・増田昇 (2010)
利用実態から捉えたニュータウン再生に資する屋外
空間の活用に関する研究. 日本都市計画学会, 名古
屋大学, 名古屋市.

武田重昭・西川文香・加我宏之・下村泰彦・増田昇 (2010)
居住者の緑地環境に対するマネジメント意識の視点
から捉えたニュータウン再生に関する研究. 環境情
報科学センター, 日本大学, 千代田区.

◎赤澤宏樹・山崎義人・武田重昭・上田萌子・藤本真
里・田原直樹 (2010) 博物館による古写真と記憶の
収集と活用, 日本造園学会関西支部, 鳥取環境大学,
鳥取県.

■学会役員など

日本造園学会, 作品選集刊行委員会委員

日本造園学会, 代議員

日本都市計画学会, 編集委員会委員

日本都市計画学会関西支部, 「次世代の関西」検討委員
会

兵庫県立大学政策科学研究所, 客員研究員

NPO法人パブリックスタイル研究所, 理事

(財) ひょうご震災記念21世紀研究機構, 研究協力者

■助成を受けた研究

公共空間を介した「新しい公」の形成に関する事例研究. 兵庫県シンクタンク等協議会, 研究代表者 (金額 25 万円/50 万円)

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4 沼島祭事写真収集. 南あわじ市.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

武田重昭, 2010.4, 「研究と私 1」, 博物館, (兵庫県立大学附属中学校 45 名)

武田重昭, 2010.6, 「人と自然のピクニック」, 博物館 (2 名)

武田重昭, 2010.7, 「名画・名景に見る人と自然」, 博物館 (5 名)

武田重昭, 2010.8, 「直線のまち・曲線のまち」, 博物館 (教職員セミナー18 名)

武田重昭, 2010.9, 「ひとはくパークマネジメントゼミ」, 博物館 (全 9 回, 8 名)

武田重昭, 2010.9, 「みんなで木をかこう」, 博物館 (篠山市立篠山小学校 35 名)

武田重昭, 2010.10, 「生物多様性トーク」, 博物館 (西宮市立段上小学校 109 名)

武田重昭, 2010.11, 「まちは誰がつくったのだろう?」, 博物館 (兵庫県立大学付属中学校 11 名)

武田重昭, 2010.11, 「生物多様性トーク②」, 博物館 (大阪府立北野高等学校 43 名)

武田重昭・遠藤菜緒子, 2010.11, 「収蔵庫見学」, 博物館 (淡路景観園芸学校 8 名)

館外講演など

武田重昭, 2010.11, 「団地のみどり空間を使いこなす」, 独立行政法人都市再生機構, 東日本支社 (8 名)

武田重昭, 2011.1, 「団地の魅力と可能性」, 独立行政法人都市再生機構, 家原大池体育館研修室 (30 名)

兵庫県立大学・大学院教育

博物館実習 (指導補助)

非常勤講師

2010.10-2010.3, 「景観工学」神戸市立工業高等専門学校.

2010.10-2010.3, 「応用 CAD」神戸市立工業高等専門学校.

■ミニキャラバン事業

2010.10, ふれあい喫茶 (分担者), 佐用町, 佐用町町役場

2010.10, 生物多様性交流フェア (分担者), COP10 支援実行委員会, COP10 白鳥会場

2010.11, ふれあいの祭典 (分担者), 兵庫県, 有馬富士公園

■学校教育支援

トライやるウィーク

2010.6.5-6.8, 八景中学校, 富士中学校, 西谷中学校 3 名

■研究生等の受入

博物館実習

2010.8.12-8.17, 神戸学院大学, 尾道大学, 摂南大学, 神戸芸術工科大学, 京都文教大学, 5 名.

■フェスティバル等

2010.11 ひとはくフェスティバル, 「公園出展者」(担当者).

■展示

企画展

2010.7.17-2011.1 企画展「ひょうごの生物多様性瀬戸内海 VS 日本海」(分担者).

2.シンクタンク事業

■行政支援

委員会等 (計 4 件)

2010.5ー. 2040 年の兵庫研究会, 委員, 兵庫県企画県民部政策室

2010.8ー. 三田市景観形成推進員, 三田市都市整備部

2010.10ー. 三田市景観審議会審査部会, 委員, 三田市都市整備部

2011.2-, 兵庫県立都市公園の今後のあり方に関する公園緑地関係者の勉強会 事務局

相談・指導助言

来訪者 2 件 2 名. 電話・FAX 相談 1 件, メール相談 10 件.

田原 直樹, NaokiTAHARA

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン（都市再生）研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 教授.

昭和28年福岡県生. 大阪大学大学院工学研究科博士課程修了. 工学博士. 日本造園学会, 日本都市計画学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.研究開発部門

次長（研究系）、部長代理（自然・環境マネジメント研究部門）

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 歴史的緑の研究
2. 環境文化に関する考察

■共同研究

総合共同研究「ジオパークにおける博物館の役割ー持続可能なサポートシステム構築に関する研究ー」, 研究分担者.

部門研究「都市公園における住民参画型公園運営に関する実践的研究ー兵庫県内の都市公園を事例として」, 研究分担者.

■論文・著書

田原直樹・上甫木昭春・杉本容子・赤澤宏樹（2011）江戸時代から現代までの都市の樹木に対する価値意識の変化. ランドスケープ研究, 74(5), 395-398.

田原直樹（2010）日本の自然史博物館ができることーひとはく（兵庫県立人と自然の博物館）の20年から見えてきたもの. 博物館研究, 第45巻第12号:21-23.

■その他著作

エヴァワニ・エリサ・田原直樹（2011）Jakarta ニュータウン開発の隆盛, 家とまちなみ, 63(2011.3), 38-41, (財)住宅生産振興財団, 東京.

■学会役員など

日本造園学会, 校閲委員.
環境情報科学センター, 校閲委員.
日本都市計画学会, 校閲委員.
日本建築学会, 校閲委員.

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.5-11, 名所写真. 朝来町, 岡山県, 姫路市など.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

田原直樹, 2010.5, 「博物館の建物を見るツアー」, 博物館. (16名)

田原直樹, 2010.9, 「収蔵資料をお見せします! 名所図会の巻」, 博物館. (16名)

田原直樹, 2010.4, 「都市の歩き方・名所編 大阪市平野界限を歩く」, 大阪市. (15名)

田原直樹, 2010.4, 「都市の歩き方・名所編 大阪市野田・福島界限を歩く」, 大阪市. (15名)

田原直樹, 2010.5, 「都市の歩き方・名所編 大阪府茨木・摂津富田界限を歩く」, 大阪府茨木市・高槻市. (10名)

田原直樹, 2010.6, 「都市の歩き方・名所編 大阪市新町・堀江・西九条界限を歩く」, 大阪市. (10名)

田原直樹, 2010.10-11, 「都市の歩き方・企画編 名所図会探検倶楽部」, 博物館, 京都市. (全4回, 19名)

田原直樹, 2010.10, 「都市の歩き方・名所編 兵庫県高砂市界限を歩く」, 高砂市. (10名)

田原直樹, 2010.10, 「都市の歩き方・名所編 兵庫県姫路市界限を歩く」, 姫路市. (10名)

田原直樹, 2010.11, 「都市の歩き方・番外編 名所図会探検倶楽部の皆さんと歩く京都」, 京都市. (10名)

館外講演など

田原直樹, 2010.8, 「専門家が考える駅前広場のデザインとは」, 「姫路の顔づくり」を考える専門家会議 Vol.3, パネリスト, 姫路市姫路駅周辺整備室, 西播磨地域地場産業振興センター (50人)

田原直樹, 2010.10, 「環境と共生する地域づくり」, 篠山JC 研修会, 講師, 篠山JC, 四季の森健康福祉センター (30人)

田原直樹, 2010.12, 「大学と地域はどう連携するかー丹波の事例を通してー」, 丹波地域大学・地域連携4大学合同シンポジウム, パネラー, 大学・地域連携4大学合同シンポジウム実行委員会, JA 丹波ひかみ柏原支店 (100人)

田原直樹, 2011.1, 「環境と共生するまちづくり」, 地域指導者養成講座, 講師, (財)兵庫県生きがい創造協会, 兵庫県いなみ野学園 (34名)

田原直樹, 2011.1, 「名所図会にみる江戸期から現代までの植生の変化」, 人と植物コース, 講師, 姫路市立生涯学習大学校 (80人)

田原直樹, 2011.1, 「都市の緑と人とのかかわり」, 人と植物コース, 講師, 姫路市立生涯学習大学校 (80人)

田原直樹, 2011.3, 「成熟社会に求められる都心とは」, 第2回高架後の姫路都心部まちづくりフォーラム, 講師, 姫路市 (50人)

兵庫県立大学・大学院教育

環境文化特別演習（環境人間学研究科, 兼任, 2単位）

非常勤講師

都市景観保全論（兵庫県立大学緑環境景観マネジメント研究科, 兼任, 1単位）

都市設計論及び演習（兵庫県立大学環境人間学部，兼担，2単位）

化石と地域づくりフィールドワーク（総合教育科目，兼担，2単位）

■フェスティバル等

着ぐるみ誘導担当

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内，3回，25名。

■行政支援

委員会等（計17件）

2010.4－ 揖保川流域委員会，委員，国土交通省近畿地方整備局。

2010.4－ 兵庫県土地収用事業認定審議会，委員，兵庫県。

2010.4－ 兵庫県国土利用計画審議会，委員，兵庫県。

2010.4－ 中播磨地域ビジョン委員会，専門委員，兵庫県中播磨県民局。

2010.4－ 千種川委員会，委員，兵庫県西播磨県民局。

2010.4－ 環境体験丹波地域支援委員会，委員長，兵庫県教育委員会。

2010.4－ SSH 運営指導委員会，委員，兵庫県教育委員会。

2010.4－ 姫路市都市計画審議会，委員，姫路市。

2010.4－ 姫路市景観・広告物審議会，委員，姫路市。

2010.4－ 姫路市景観・広告物審議会専門部会，部長，姫路市。

2010.4－ 姫路市コアゾーン等整備検討懇話会，委員，姫路市。

2010.10－ 姫路市立生涯学習大学校並びに好古学園大学校のあり方に関する検討懇話会，会長，姫路市。

2010.4－ 加西市都市計画審議会，会長，加西市。

2010.4－ 加西市都市計画マスタープラン改訂業務委託業者選考委員会，委員長，加西市。

2010.4－ 三田市環境保全審議会，会長，三田市。

2010.4－ 西はりま天文台公園運営協議会，委員，佐用町。

2010.4－ 丹波 OB 大学運営委員会，委員，（財）丹波の森協会。

相談・指導助言

来訪者 10 件，30 名。電話・FAX 相談 10 件，メール相談 10 件。

2010.4－ いなみ野学園大学院，指導教官，（財）兵庫県高齢者生きがい創造協会。

2010.4，兵庫県地域ビジョン見直し会議，講師，兵庫県企画県民部政策室ビジョン課。

2010.5，姫路駅北駅前広場整備推進に係る相談会，講師，姫路市姫路駅周辺整備室。

山崎 義人, YoshitoYAMAZAKI

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ/恐竜TF

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 講師.

昭和47年神奈川県生. 早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程修了. 博士(工学). 日本建築学会, 日本都市計画学会, 農村計画学会, 日本生活学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

生涯学習推進室アウトリーチ拠点づくり地域担当(丹波地域担当)

2.タスクフォース

恐竜化石タスクフォース, サブリーダー

3.研究開発部門

研究シンクタンク推進室, 研究担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 集落持続に向けた民俗慣行にみる居住継承システムの解明
2. 太平洋沿岸におけるペンキ塗り住宅の実態把握に関する研究
3. コミュニティの拠点となる農産物直売所に関する研究

■共同研究

総合共同研究「丹波地域における地域連携に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「古写真にみる自然との共生に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書(県政課題に関連するものは, 先頭に◎)

◎塩山沙弥香, 山崎義人, 中瀬勲(2011)地域コミュニティに寄与しうる機能を持つ農産物直売所のシステム, ランドスケープ研究論文集第74巻5号.

◎山崎義人(2010)古写真を通じた戦前開拓村の空間的変遷の解説 ―兵庫県三田市下相野平野集落を事例として―. 日本建築学会第5回住宅系研究報告会論文集, pp99-106.

◎山崎義人(2010)農村集落における「ムラ・ノラ・ヤマ」に着目した環境学習の実践 ―兵庫県立大学附属中学校のプロジェクト学習を通じて―. 日本建築学会技術報告集第35号, pp325-328,

■その他著作

◎山崎義人(2011)「古写真にみるムラの成り立ち」ひとはく新聞第16号, 兵庫県立人と自然の博物館.

山崎義人, 中塚雅也, 内平隆之, 中塚華奈(2010)NPOで農山漁村, 梓の組み直し., 建築雑誌 vol.125 no.1607,

日本建築学会.

◎山崎義人(2010)美の現場から 村野藤吾の建築作品を巡って, 芸術文化雑誌「紫明」第27号, 紫明の会, pp79-83

■ブログへの情報提供

1件

■研究発表

◎山崎義人, 武田重昭, 赤澤宏樹, 上田萌子, 藤本真里, 田原直樹, 中瀬勲(2010)博物館による古写真の収集・分析・還元. 第12回日中韓国際ランドスケープ専門家会議,

◎山崎義人(2010)古写真を通じた戦前開拓村の空間的変遷の解説 ―兵庫県三田市下相野平野集落を事例として―. 日本建築学会第5回住宅系研究報告会論文集, pp99-106.

■学会役員など

日本建築学会, 農村計画委員会, 委員

日本建築学会, 農村計画委員会, ルーラルネットWG, 幹事

日本建築学会, 農村計画委員会, 集落居住小委員会, 委員
日本建築学会, 農村計画委員会, 中山間地域組織小委員会, 委員

日本建築学会, 近畿支部, 農村計画部会, 委員

日本建築学会, 近畿支部, 都市計画部会, 委員

日本都市計画学会, 関西支部, 幹事

日本都市計画学会, 関西支部, 国際交流委員会, 副委員長
日本都市計画学会, 関西支部, 国際シンポジウム実行委員会, 委員

日本都市計画学会, 関西支部, 創立20周年記念事業委員会, 委員

日本都市計画学会, 関西支部, 創立20周年記念事業委員会, 次世代の関西検討WG, 代表

■助成を受けた研究

集落持続に向けた民俗慣行にみる居住継続システムの解明. 文部科学省科学研究費若手研究(B), 研究代表者(金額170万円/320万円).

◎恐竜発掘を素材にした地域と博物館をつなぐ学習プログラムの構築. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究分担者.(金額/370万円).

◎博物館による古写真と記憶の広域収集とテキストマインニングによる活用方策. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究分担者.(金額/300万円).

市街地の生活環境資源としての「谷戸」の研究. 文部科学省科学研究費基盤研究(B), 研究分担者.(金額30万円/320万円).

◎フィールド・ミュージアム型の地域再生人材養成の実験的試行. 兵庫県立大学特別教育研究助成金大学・部局の個性化・特色化, 研究分担者, (金額/100万円).

■海外調査

2010.9, 中国・麗江およびその周辺

2.資料収集・整理

■資料収集

- 2010.4-7, 特別企画関連資料の収集 (模型制作等). 姫路市,兵庫県
2010.4-7, 特別企画関連資料の収集 (模型制作等). 新温泉町,兵庫県
2010.4-7, 特別企画関連資料の収集 (映像資料等). 沼島,兵庫県

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー (演示に相当するセミナーは◎印を記載)

- 山崎義人,2010.4,「風と集落デザイン」,人と自然の博物館.(100名)
◎山崎義人,2010.5,「多面体おもちゃをつくろう」人と自然の博物館(20名)
◎三橋弘宗,山崎義人他「瀬戸内海 vs 日本海 巨大テトラポットの作成WS」人と自然の博物館
◎遠藤菜緒子,上田萌子,山崎義人「瀬戸内海 vs 日本海 チリメンモンスター」人と自然の博物館
◎山崎義人,2010.9,「建築スケッチ紀行・竜と獣の道学編」,丹波市山南町,(2名)
◎山崎義人,2010.9,「建築スケッチ紀行・芦屋川セミナー編」,芦屋市,(8名)
池田忠広,山崎義人,2010.9,「竜と獣の道学・連続セミナー「恐竜時代の動物たち」」,篠山市,(35名)
◎山崎義人,2010.10,「建築スケッチ紀行・村野藤吾作品04「尼崎市役所」」,尼崎市,(3名)
◎山崎義人,2010.10,「建築スケッチ紀行・村野藤吾作品05「大庄村役場」」,尼崎市,(5名)
古谷裕,藤本真里,山崎義人,2010.10「竜と獣の道学・連続セミナー「福井県立恐竜博物館ツアー」」,福井県勝山市,(16名)
松原尚志,山崎義人,2010.11,「竜と獣の道学・連続セミナー「兵庫の化石」」,人と自然の博物館,(28名)
山崎義人,2010.11,「風と集落デザイン」,人と自然の博物館,(44名)
◎山崎義人,2010.12,「瀬戸内海 vs 日本海ギャラリーートーク」人と自然の博物館,
◎山崎義人,2010.12,「多面体おもちゃをつくろう」人と自然の博物館(20名)
山崎義人,2011.2,「まち歩きからまちづくりへ 内発的まちづくり実践編」,人と自然の博物館,(39名)

館外講演など

- 山崎義人,2010.10,「小規模農村集落研究の未来像」,日本建築学会近畿支部農村計画部会,コメンテーター,宝塚大学(40名).
塩山沙弥香,2010.12,「農産物直売所のススメーおいしく食べて,地域を元気にー」,講師,
NPO 法人棚田 Lover's,ミドリカフェ(10名).
山崎義人,2011.2,「ハイカラと塩屋集落 近現代から

集落を捉えよう」,講師,
塩屋まちづくり推進会,旧グッゲンハイム邸(50名).
河本大地,山崎義人,2011.3,「地域づくりを通じた生き方ー地域の宝物を伝えていく戦略」,モデレーター,NPO 法人棚田 Lover's,三田市高平ふるさと交流センター(100名).

兵庫県立大学・大学院教育

化石と地域づくりフィールドワーク (分担)
兵庫県立大学山南スタジオの開設および運営調整
兵庫県立大学山南スタジオ,オープンニングセレモニーの実施

非常勤講師

2010.4-2011.3. 早稲田大学理工学術院,客員研究員
ラジオ・テレビ等出演
2011.3,「週刊ひょうご夢情報」,サンテレビ

■ミニキャラバン事業

2010.10, ふれあい喫茶 (分担者), 佐用町, 佐用町町役場
2010.11, ふれあいの祭典 (分担者), 兵庫県, 有馬富士公園

■学校教育支援

トライやるウィーク
2010.6.2, 4名
学校団体対応
2010.4,須磨学園中学校1年生(100名).
2010.11,西神中学校(40名)

■研究生等の受入

博物館実習
2010.8.12-8.17, 尾道大学,神戸芸術工科大学,摂南大学,京都造形大学,神戸学院大学,学生5名.

卒論生等

2010.4.1-2010.3.31, 跡部嵩幸 (早稲田大学大学院理工学研究科修士課程2年), 小規模漁村集落における地域協働のプラットフォームの形成に関する研究.
2010.4.1-2010.3.31, 小野ちれか (早稲田大学大学院理工学研究科修士課程2年), 市民活動を通じたモダンイズム建築群の保存による社会的価値の醸成.
2010.4.1-2010.3.31, 矢島拓弥 (早稲田大学大学院理工学研究科修士課程2年), 自転車利用者の観光地における行動実態.
2010.4.1-2010.3.31, 溝口裕規 (早稲田大学大学院理工学研究科修士課程2年), 豪雪地帯における除雪を規範とした山間市街地の形成と維持管理.

■フェスティバル等

2010.11, ひとはくフェスティバル,「会場整理, 交通整理」(担当者).

■展示

企画展

2010.7.17-2011.1 企画展「ひょうごの生物多様性瀬戸内海 VS 日本海」(分担者).

ミニ企画展

2010.11.2-2011.1.10, トピックス展「古写真から読みと

く三田の戦前開拓村」(分担者).
2010.8.18-2010.9.30 「2010 博物館実習生(環境計画)の
学習成果, プチ企画展」(担当者)

2.シンクタンク事業

■受託研究

「丹波地域の化石資源を活かした人づくりのための調査研究委託」, たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会. (委託金額,50 万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫等の案内, 2 回, 40 名.

■行政支援

委員会等 (計 1 件)

2010.9-, 森の学校復活大作戦実行委員会, 委員, 篠山市環境保全課.

相談・指導助言

来訪者 2 件, 3 名. 電話・FAX 相談 1 件, メール相談 1 件.

■学会開催等支援

2010.9, 日本都市計画学会国際シンポジウム, "International Symposium on City Planning 2010".
200 名.

上田 萌子, MoekoUEDA

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン（都市再生）研究グループ

研究員

昭和 57 年愛知県生. 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科博士前期課程修了. 緑地環境学修士. 日本造園学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

広報・出版支援担当, 共生のひろば要旨集・報告書編集担当, アウトリーチ拠点づくり地域担当(淡路)

2.研究開発部門

資料・データバンク整備活用担当, マルチメディアデータ担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 塩生植生の変遷状況と利用履歴に関する研究

■その他著作

上田萌子(2010)「食卓に集う生物多様性〜イカナゴ漁・ホタルイカ漁レポート」ひとはく新聞 69 号, 兵庫県立人と自然の博物館

■ブログへの情報提供

5 件

■助成を受けた研究

塩生植物ハマボウの利用履歴と変遷状況から捉えた塩性湿地の活用方針の検討. クリタ水・環境科学振興財団, 研究代表者(金額 30 万円).

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4-7, 企画展関連資料の収集(古写真, 祭の動画など). 赤穂市坂越, 南あわじ市沼島.

■受贈担当資料

2010.10, 六甲山登山 9.5mm フィルム. 1 点.

2010.10, 六甲山を中心とした兵庫県内の古い絵葉書等. 785 点.

2011.2, 新修芦屋市史続篇. 1 点.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

上田萌子, 2010.4, 「立体カードで楽しむマングローブの自然」, 博物館. (13 名)

太田・高橋・池田・上田, 2010.7, 「西表島の生き物の野外観察」, 博物館・沖縄県西表島. (全 2 回, 85 名)

上田萌子, 2010.5, 「環境問題について」, 神戸大学附属中等教育学校. (117 名)

上田萌子, 2010.6, 「海辺の植物と人の暮らし(県立有馬高等学校連携セミナー)」, 博物館. (41 名)

遠藤・太田・布施・上田, 2010.7, 「チリメンモンスターを探そう」, 博物館. (全 2 回, 73 名)

上田萌子, 2010.7-2010.8, 「ぶらっと島めぐり-成ヶ島」, 洲本市由良成ヶ島・博物館. (全 2 回, 10 名)

遠藤・山崎・上田, 2010.8, 「チリメンモンスターを探そう」, 博物館. (全 2 回, 179 名)

上田萌子, 2010.9, 「立体カードで楽しむマングローブの自然」, 博物館. (25 名)

上田萌子, 2010.10-2010.11, 「生物多様性トーク」, 博物館. (全 4 回, 466 名)

上田萌子, 2010.12, 「箱庭で体験, マングローブの自然」(2 名)

上田萌子, 2010.12, 「ふかたん 深田公園の歴史探検」, 博物館. 15 名

館外講演など

兵庫県立大学・大学院教育

環境戦略特論(指導補助)

■ミニキャラバン事業

2010.10, ふれあいの祭典きらっと☆北摂フェスティバル(分担者), 阪神北ふれあいフェスティバル実行委員会, 有馬富士公園.

2010.10, COP10 生物多様性交流フェア(分担者), COP10 支援実行委員会, 名古屋.

■学校教育支援

トライやるウィーク

2010.6.5-6.8, 八景中学校, 富士中学校, 西谷中学校 3 名.

■研究生等の受入

博物館実習

2010.8.12-8.17, 神戸学院大学, 尾道大学, 摂南大学, 神戸芸術工科大学, 京都文教大学, 5 名.

卒論生等

■フェスティバル等

2010.11.7, ひとはくフェスティバル, 「ステージプログラム」(責任者).

■展示

企画展

2010.7.17-2010.12.26, 展示特別企画「ひょうごの生物多様性 瀬戸内海 VS 日本海(「海辺の風土に合わせた暮らし」担当)」(分担者).

ミニ企画展

2010.11.2-2011.1.10, トピックス展示「古写真から読みとく三田の戦前開拓村の歴史」(責任者).

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫等の案内, 11 回, 36 名.

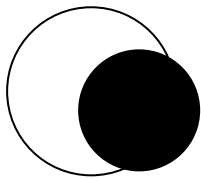
■行政支援

委員会等(計 3 件)

2010.8-, 三田市景観形成推進員.

2010.10, 但馬夢会議 分科会ファシリテーター

2011.2-, 兵庫県立都市公園の今後のあり方に関する公園緑地関係者の勉強会 事務局



個人別成果報告に関する資料

No. 5

● 自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／

生物多様性保全研究グループ

服部 保, Tamotsu HATTORI

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／事業推進部門

研究部長／総合調整担当

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 教授.

昭和23年大阪府生. 神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了. 学術博士. 日本生態学会, 日本造園学会, 植生学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

総合調整担当

2.タスクフォース

生物多様性タスクフォース リーダー

3.研究開発部門

部門研究調整担当, 会計担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 各種植生の保全・復元・創出に関する研究
2. 森づくりに関する総合的な研究
3. 里山, 草原, 照葉樹林の生物多様性保全に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究代表者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究代表者.

■論文・著書

服部 保・岩切康二・南山典子・黒木秀一・黒田有寿茂 (2010) 宮崎神宮社叢の種多様性の特性. 保全生態学研究, 15 : 47-59.

◎橋本佳延・服部 保・黒田有寿茂・石田弘明・南山典子 (2010) タケ類天狗巣病が竹林の種組成・種多様性に与える影響. 保全生態学研究, 15 : 71-87.

◎石田弘明・黒田有寿茂・橋本佳延・澤田佳宏・江間薫・服部 保 (2010) ニホンジカが暖温帯夏緑二次林の種多様性と種組成に与える影響. 保全生態学研究, 15 : 219-229.

服部 保・栃本大介・南山典子・橋本佳延・藤木大介・石田弘明 (2010) 宮崎県東諸県郡綾町川中の照葉原生林におけるニホンジカの採食の影響. 植生学会誌, 27 : 35-42.

服部 保・南山典子・岩切康二・石田弘明・橋本佳延・

栃本大介 (2010) タブ型照葉樹林の種組成および種多様性. 人と自然, No.21 : 121-131.

◎服部 保 (2010) 多様性夏緑高林を目標とする里山放置林管理と市民参加. 日本造園学会誌, 74 (2) : 90-93.

服部 保・南山典子・小川靖彦 (2010) 万葉集の植生学的研究. 植生学会誌, 27 : 45-61.

服部 保 (2011) 環境と植生 30 講, 図説生物学 30 講, 環境編. 朝倉書店.

■その他著作

◎南山典子・服部 保 (2010) シカの不着好性植物イワヒメワラビの栽培. 植生情報, 14 : 41-43.

◎服部 保・黒田有寿茂・石田弘明・南山典子 (2010) 兵庫県たつの市鶏籠山の照葉半自然林におけるニホンジカの採食の影響. 人と自然, No.21 : 137-144.

岩切康二・服部 保・南山典子 (2010) 宮崎県の河川堤防と海浜におけるチガヤ群落の種組成と種多様性. 人と自然, No.21 : 145-150.

◎栃本大介・服部 保・高野温子 (2010) 六甲山地で確認したエゾエノキ個体群の現状. 人と自然, No.21 : 197-200.

◎田村和也・橋本佳延・服部 保 (2010) 兵庫県におけるヒメヘビイチゴの新産地とその生育環境. 人と自然, No.21 : 201-205.

服部 保 (2010) 万葉時代の植生景観. 日本文化と生物多様性, 12-13. 生物多様性 JAPAN.

Hattori, T. (2010) The vegetational landscape of the Man'yo era. Japanese culture and Biodiversity Network Japan. (上記英語版)

服部 保 (2010) かしわもちと生物多様性. つな環, 16 : 15.

◎服部 保 (2010) 都市山(としやま) 六甲山の特色. 都市政策, No.142 : 1-6.

服部 保 (2010) 照葉樹林について. 照葉樹林だより, 25 : 4-5.

◎服部 保 (2011) 生物多様性保全と里山林管理. 21世紀ひょうご, No.10 : 13-18.

◎服部 保・黒田有寿茂・南山典子 (2011) 里山林の基礎. 兵庫県緑化推進協会, 24p.

◎服部 保・黒田有寿茂・石田弘明 (2011) シカの食害による植生への影響評価. 兵庫の森のチカラを生かす研究, 39-40.

◎南山典子・服部 保 (2011) シカの不着好性植物イワヒメワラビの増殖技術の開発. 兵庫の森のチカラを生かす研究, 41-42.

◎石田弘明・服部 保 (2011) シカの不着好性植物の

緑化材料としての活用。兵庫の森のチカラを生かす研究, 43-44.

■研究発表

服部 保・南山典子 (2010) 万葉集の植生学的研究 (II). 植生学会第 15 回大会, かでる 2・7, 札幌市.

黒田有寿茂・石田弘明・岩切康二・福井 聡・服部 保 (2010) 屋久島低地部の照葉樹林とスギ人工林における種組成および種多様性の比較. 植生学会第 15 回大会, かでる 2・7 (北海道立道民活動センター), 札幌市.

◎黒田有寿茂・服部 保 (2010) 工場敷地における生物多様性保全の推進. 兵庫県立大学シンポジウムー実りある産学官連携の推進ー, イーグレ姫路, 姫路市.

石田弘明・服部 保・黒田有寿茂・橋本佳延・岩切康二 (2010) 屋久島低地帯の照葉二次林における種組成・種多様性の特徴とシカの影響. 植生学会第 15 回大会, かでる 2・7 (北海道立道民活動センター), 札幌市.

■学会役員など

植生学会 群集に関する検討ワーキング

日本生態学会 地区委員

■助成を受けた研究

照葉型里山林の生物多様性保全に係わる基礎的研究.

日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C), 研究代表者 (金額 91 万円/442 万円).

六甲山系の生物多様性保全に関する研究. コベルコ環境創造基金, 研究代表者 (金額 100 万円/200 万円). 西脇市等における植生等調査. サントリーホールディング(株), 研究代表者 (金額 50 万円).

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4-2011.3 植物および植生景観の映像資料収集. 神戸市, 宝塚市, 尼崎市, 姫路市, 伊丹市, 三田市, 川西市, 大阪府, 鹿児島県, 宮崎県, 沖縄県.

2010.4-2011.3 照葉樹林の映像資料収集. 沖縄県 (石垣島, 沖縄本島), 鹿児島県 (種子島, 奄美大島), 宮崎県, 東京都 (八丈島).

■整理同定担当資料

植物および植生景観の映像資料収集, 照葉樹林の映像資料収集.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

服部 保, 2010.5, 「博物館セミナー 里山林・自然林観察会」, 川西市. (21 名)

服部 保, 2010.8, 「教職員セミナー 里山についての講義と観察」, 博物館. (23 名)

服部 保, 2010.9, 「博物館セミナー 里山・ジーンフ

ーム講義と観察」, 博物館. (17 名)

服部 保, 2010.4, 「特注セミナー 里山」, 大阪大学理学部化学科, 博物館. (98 名).

服部 保, 2010.5, 「特注セミナー 万葉集」, 神戸市立蘆谷中学校, 博物館. (120 名).

服部 保, 2010.6, 「特注セミナー さとやま」, 明石市立鳥羽小学校, 博物館. (97 名).

服部 保, 2010.6, 「特注セミナー 里山について」, 武庫川女子大学附属高等学校, 博物館. (43 名).

服部 保, 2010.6, 「特注セミナー 種の保全」, 博物館の役割」, 神戸市シルバーカレッジ, 博物館. (68 名).

服部 保, 2010.6, 「特注セミナー 兵庫県内にある 5 つの日本一の自然」, 上郡中学校 PTA, 博物館. (36 名).

服部 保, 2010.10, 「特注セミナー 里山について」, 尼崎市立西小学校, 博物館. (71 名).

服部 保, 2010.11, 「特注セミナー 里山とは何かー里山の重要性について学ぶー」, 宝塚市環境リーダー, 博物館. (18 名).

服部 保, 2011.3, 「講演 里山林管理の考え方と今後の課題」, 里山フォーラム, 博物館. (140 名).

服部 保, 2010.5, 「かしわもちとちまき」, 博物館. (25 名)

服部 保, 2010.9, 「月見と七種」, 博物館. (15 名)

館外講演など

服部 保, 2010.4, 「講演 三田の自然」, 講師, 三田魅力寺子屋, (50 名).

服部 保, 2010.4, 「見学会 日本一の里山黒川地区ウォーキング」, 講師, 池田銀行, (30 名).

服部 保, 2010.4, 「講演 森林のはたらき①照葉樹林と里山林の保全」, 講師, 神戸市シルバーカレッジ, (100 名).

服部 保, 2010.4, 「講演 生物種の絶滅と生物多様性」, 講師, 人と植物コース①, 姫路市立生涯学習大学校, (70 名).

服部 保, 2010.5, 「講演 宝塚の里山を考える」, 講師, フレミラ宝塚, (70 名).

服部 保, 2010.5, 「講演 植物種保全への取り組み①フジバカマなど」, 講師, 人と植物コース②, 姫路市立生涯学習大学校, (70 名).

服部 保, 2010.5, 「講演 植物種保全への取り組み②外来種対策」, 講師, 人と植物コース②, 姫路市立生涯学習大学校, (70 名).

服部 保, 2010.6, 「講演 市民と企業, これからの森づくり」, 講師, 森づくりフォーラム, (150 名).

服部 保, 2010.6, 「講演 六甲山の緑の現状と課題」, 講師, 六甲山の緑について考えるフォーラム, (250 名).

服部 保, 2010.6, 「講義 神戸の都市山・六甲山」, 講師, 神戸学, 神戸市看護大学, (130 名).

服部 保, 2010.6, 「講演 里山とチガヤ・ちまき」, 講師, 国崎クリーンセンター, (25 名).

服部 保, 2010.6,「講演 企業の生物多様性への取り組み」, 講師, 大阪ガス姫路製造所, (60名).

服部 保, 2010.6,「講演 植物群落とは何か(植生, 群落)」, 講師, 人と植物コース⑤, 姫路市立生涯学習大学校, (70名).

服部 保, 2010.7,「講演 地域の自然を学ぶⅠ」, 講師, 阪神シニアカレッジ, (40名).

服部 保, 2010.7,「講演 原生林から里山林へ」, 講師, 森林ボランティア講座, (90名).

服部 保, 2010.7,「講演 地域の自然を学ぶⅡ」, 講師, 阪神シニアカレッジ, (40名).

服部 保, 2010.7,「講演 里山保全活動入門」, 講師, 島本町「フォレストサポーター養成講座」, (40名).

服部 保, 2010.7,「講演 兵庫県の生物多様性」, 講師, 自然環境課シンポジウム, (250名).

服部 保, 2010.8,「講演 鎮守の森の管理と育成」, 講師, 三田神社庁, (40名).

服部 保, 2010.8,「講演 照葉樹林と里山林」, 講師, 兵庫県立大学セミナー, (40名).

服部 保, 2010.8,「講演 里山放置林から環境林・文化林へ」, 講師, 兵庫県立大学セミナー, (40名).

服部 保, 2010.8,「観察会 里山観察」, 講師, シニア自然大学, (70名).

服部 保, 2010.9,「講演 日本の植生①照葉樹林」, 講師, 人と植物コース⑨, 姫路市立生涯学習大学校, (70名).

服部 保, 2010.9,「講演 六甲山の緑の現状と生物多様性について」, 講師, 住友ゴム, (361名).

服部 保, 2010.9,「講演 川西・黒川の里山のおはなし」, 講師, 能勢電鉄「のせでん悠遊セミナー」, (120名).

服部 保, 2010.10,「講演 生物多様性と氷上回廊」, 講師, 丹波の森大学, (70名).

服部 保, 2010.10,「講演 日本の植生②夏緑林」, 講師, 人と植物コース⑩, 姫路市立生涯学習大学校, (70名).

服部 保, 2010.10,「講演 里山の基本知識」, 講師, みの森の学校, (30名).

服部 保, 2010.10,「講演 生物多様性と里山の保全」, 講師, 宝塚東公民館, (50名).

服部 保, 2010.10,「講演 生物多様性(神戸市の生物多様性)」, 講師, 神戸市シルバーカレッジ, (250名).

服部 保, 2010.10,「講演 里山林・自然林観察会と社家郷山の現状に関する基礎知識」, 講師, 「コープの森・社家郷山」ボランティアセミナー, (30名).

服部 保, 2010.10,「現地指導 佐璞丘の植生調査・視察見学」, 講師, 万葉の森・佐璞丘再生プロジェクト, (30名).

服部 保, 2010.11,「講演 尼崎の自然環境と生物多様性」, 講師, あまがさき環境オープンカレッジ, (30名).

服部 保, 2010.11,「講演 自然, 生物多様性について」, 講師, エコウィングあかし, (30名).

服部 保, 2010.11,「観察会 日本一の里山を歩こう」, 講師, 能勢電鉄, (60名).

服部 保, 2010.11,「講演 草原と湿原の保全」, 講師, 人と植物コース⑭, 姫路市立生涯学習大学校, (70名).

服部 保, 2010.12,「講演 六甲山」, 講師, 神戸市, (20名).

服部 保, 2010.12,「環境学習会」, 講師, 伊丹市環境ネットワーク研修会, (35名).

服部 保, 2010.12,「講演 生物多様性と里山の保全」, 講師, 島根県希少野生動植物の保護と生物多様性を語る会, (100名).

服部 保, 2010.12,「講演 万葉の森・佐璞丘」, 講師, 万葉の森・佐璞丘再生プロジェクト, (60名).

服部 保, 2010.12,「講演 里山の保全①雑木林」, 講師, 人と植物コース⑯, 姫路市立生涯学習大学校, (70名).

服部 保, 2011.2,「講演 生物多様性って?」, 講師, 塩瀬地区エココミュニティ会議地域フォーラム, (80名).

服部 保, 2011.2,「講演 植生と文化(万葉集の植物群落)」, 講師, 人と植物コース⑳, 姫路市立生涯学習大学校, (70名).

服部 保, 2011.3,「講演 生物多様性戦略」, 講師, 宝塚市, (50名).

服部 保, 2011.3,「講演 GENKIの森の生物多様性」, 講師, 第2回GENKIの森づくり植樹, 住友ゴム, (130名).

兵庫県立大学・大学院教育

2010.5.26,6.2,6.9 植生保全管理論(大学院)

2010.9.15,16 共生生物学(分科講義)

非常勤講師

神戸市看護大学

ラジオ・テレビ等出演

2010.4.29,「ガラスの地球を救え スペシャル」, 朝日放送環境特別番組

2010.10.6,「植物の遺伝子を残せ ジーンバンク」, NHK「ニュース神戸発」

2010.10「シカの食害」, NHK「ニュース神戸発」

2011.2.13,「豊かな自然を取り戻そう」, サンテレビ「日曜さわやかトーク」

■連携事業

共催事業

2011.3, 里山フォーラム(責任者)

■研究生等の受入

卒論生等

大学院修士1名, 大学院博士1名

2.シンクタンク事業

■受託研究

「シダ類, ラン類の栽培等業務」. 財団法人ひょうご環

境創造協会. 研究代表者 (170 万円)
「平成 22 年度尼崎の森中央緑地地域性苗木栽培業務」.
兵庫県阪神南県民局. 研究代表者 (110.04 万円)
「平成 22 年度兵庫県域新名神高速道路における貴重
種の保全業務」. 西日本高速道路株式会社関西支社兵
庫工事事務所. 研究代表者 (48.2 万円)
「貴重な種の仮置き養生管理業務」. 財団法人ひょうご
環境創造協会. 研究代表者 (16.45 万円)
「平成 22 年度大阪ガス株式会社姫路製造所等におけ
る生物多様性対応関連委託業務」. 大阪ガス株式会社.
研究代表者 (74.34 万円)
「森林ボランティア育成教本の発行業務」. 兵庫県緑化
推進協会. 研究代表者 (140 万円)
「西宮市生物多様性地域戦略策定に関わる調査・資料
作成業務」. 西宮市. 研究代表者 (229.32 万円)
「南公園里山保全・育成プロジェクト基本調査業務」.
三田市. 研究分担者 (70 万円)
「シカに関する植物調査」. 兵庫県森林動物研究センタ
ー. 研究代表者 (90 万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファーム等の案内, 24 回, 103 名.

■行政支援

委員会等 (計 63 件)

1992.7- 国土交通省河川水辺の国勢調査 (猪名川, 加
古川, 揖保川, 円山川), アドバイザー, 国土交通省
近畿地方整備局.
1993.7- 一庫ダム河川水辺の国勢調査, アドバイザー,
(独) 水資源機構.
1995.8- 自然環境アドバイザー, アドバイザー, 国土
交通省近畿地方整備局.
1996.5- 宝塚市環境審議会, 委員, 宝塚市.
1996.7- 兵庫県緑化推進協会運営協議会, 委員, (社)
兵庫県緑化推進協会.
1996.10- 宝塚市文化財審議会, 委員, 宝塚市.
1997.9- 兵庫県環境影響評価審査会, 委員, 兵庫県農
政環境部.
2000.10- 有馬富士公園運営・計画協議会, 委員, 兵
庫県阪神北県民局.
2001.2- 宝塚市環境影響評価専門委員会, 委員, 宝塚
市.
2001.9- 自然環境保全基礎調査・植生調査に係わる
近畿ブロック調査会議, 委員, 環境省.
2002.3- ささやまの森公園運営協議会, 委員, (財)
丹波の森協会.
2002.7- 玄武洞公園整備事業検討会, 委員, 豊岡市.
2002.12- 兵庫県環境審議会, 特別委員, 兵庫県.
2003.1- 円山川水系自然再生計画検討委員会, 委員,
近畿地方整備局・兵庫県但馬県民局.
2003.3- ゆめさきの森公園運営協議会, 委員, ゆめさ
きの森公園運営協議会.
2004.1- 猪名川自然環境委員会, 委員, 国土交通省猪
名川河川事務所.

2005.2- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員長,
兵庫県阪神南県民局.
2005.4- 六甲山系グリーンベルト整備事業, 景観アド
バイザー, 国土交通省六甲砂防事務所.
2005.4- 近畿地方整備局景観アドバイザー, アドバイ
ザー, 国土交通省近畿地方整備局.
2005.6- 猪名川上流広域ごみ処理施設環境保全委員
会, 委員, 猪名川上流広域ごみ処理施設組合.
2005.6- 慶野松原保存管理計画策定委員会, 委員長,
南あわじ市.
2005.7- 近畿地方整備局事業評価監視委員会, 委員,
国土交通省近畿地方整備局.
2006.6- 琵琶湖・淀川流域圏再生推進会議, 委員, 国
土交通省近畿地方整備局.
2006.11- 兵庫県河川審議会特別委員会, 委員, 兵庫
県土整備部.
2007.1- 野生動物育成林整備にかかる指導・助言, ア
ドバイザー, 兵庫県農林水産部.
2007.4- 丹波の森公苑運営委員会, 委員, 兵庫丹波の
森協会.
2007.6- 六甲山自然保護センター環境学習運営委員
会, 委員長, 兵庫県神戸県民局.
2007.7- 箕面体験学習の森整備事業検討委員会, 委員
長, 近畿中国森林管理局.
2008.1- 明石市環境審議会, 委員, 明石市.
2008.4- やしろの森公園協会評議会, 委員, やしろの
森公園協会.
2008.11- 一庫公園管理運営協議会, 委員長, (財)兵庫
県園芸・公園協会.
2009.1- 尼崎の森中央緑地海辺エリア整備計画検討
委員会, 委員, 兵庫県阪神南県民局.
2009.3- 日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会
調査委員, 委員, 文部科学省.
2009.5- 「ひょうごの川・自然環境調査」アドバイザー,
アドバイザー, 兵庫県.
2009.5- 国道 178 号余部・東浜居組道路, アドバイザ
ー, 兵庫県新温泉土木事務所.
2009.6- 気候変動と河川環境 (影響) 委員会, 委員,
(財)河川環境管理財団.
2009.10- 河川堤防及び周辺域における生態緑化技術
の開発に関する研究会, 委員, (財)河川環境管理財団.
2009.11- 猪名川・藻川河川保全利用委員会, 委員,
国土交通省近畿地方整備局.
2009.11- 和田山八鹿道路, アドバイザー, 国土交通
省豊岡河川国道事務所.
2009.12- 神戸市環境保全審議会 (生物多様性神戸戦
略), 臨時委員, 神戸市.
2009.12- 川西市環境審議会, 委員, 川西市.
2009.12- 森づくりセンター運営委員会, 会長, 兵庫
県・他.
2010.1- 鶏籠山国有林森林整備検討会, 委員長, 林野
庁兵庫森林管理署.

- 2010.1- 第2 阪和道路淡輪孝子地区, アドバイザー, 国土交通省浪速国道事務所.
- 2010.1- 国営明石海峡公園神戸地区管理運営計画検討会, 委員, 国土交通省国営明石海峡公園整備局.
- 2010.1- 加古川河道掘削, アドバイザー, 国土交通省姫路河川国道事務所.
- 2010.2- 「森と緑のふれあい支援事業」実行委員会, 委員, 黒川自治会.
- 2010.2- 豊岡道路, アドバイザー, 国土交通省豊岡河川国道事務所.
- 2010.3- 運営懇話会, 委員長, 国崎クリーンセンター.
- 2010.3- 加古川自然再生, アドバイザー, 国土交通省姫路河川国道事務所.
- 2010.4- 公共事業等審査会, 委員, 兵庫県県土整備部.
- 2010.5- 貴重な野生生物等(生態系)専門委員会, 委員長, 兵庫県農政環境部.
- 2010.5- 兵庫の貴重な自然改訂委員会, 委員, 兵庫県農政環境部.
- 2010.6- ひょうごの貴重な自然再生プロジェクト選定委員会, 委員, 兵庫県農政環境部.
- 2010.6- 伊丹市緑の基本計画改訂委員会, 委員, 伊丹市.
- 2010.7- 生物多様性地域戦略策定協議会, 委員長, 西宮市.
- 2010.9- 兵庫県ナラ枯れ被害対策連絡会議, 座長, 兵庫県農政環境部.
- 2010.9- 西紀ダム検討会議, 委員, 兵庫県県土整備部.
- 2010.10- 新名神高速道路兵庫県域自然環境保全検討会, 委員, 西日本高速道路(株).
- 2010.12- 国道178号浜坂道路, アドバイザー, 兵庫県新温泉土木事務所.
- 2011.1- 加西市における生物多様性戦略策定のアドバイザー, 加西市.
- 2011.1- 科学研究費委員会, 専門委員, 日本学術振興会.
- 2011.3- 阪神北県民局政策アドバイザー, 兵庫県阪神北県民局.

相談・指導助言

来訪者 222 件, 612 名. 電話・FAX 相談 200 件, メール相談 200 件.

小館 誓治, Seiji KODATE

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門
助教.

昭和 37 年福岡県生. 神戸大学大学院自然科学研究科博士
課程修了. 学術博士. 日本生態学会, 森林立地学会, 植
生学会, 日本ペドロロジー学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

企画調整室 室長

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 森林群落における植生と土壌に関する研究
2. 環境保全に関する土壌生態学的研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研
究」, 研究分担者.

部門研究「21 世紀の森構想支援のための都市林および
里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■その他著作

◎小館誓治・武田義明・飯島尚子・遠田けい(2010)再
度山永久植生保存地における植生遷移と土壌理化学
性との関係.再度山永久植生保存地調査報告書 第 8
回.神戸市. 81-116.

◎武田義明・飯島尚子・遠田けい・小館誓治(2010)再
度山永久植生保存地における植生遷移.再度山永久
植生保存地調査報告書 第 8 回.神戸市. 1-80.

■ブログへの情報提供

8 件

■研究発表

◎武田義明・飯島尚子・猿田けい・小館誓治 (2010)
神戸市再度山永久植生保存区における植物群落の
35 年間の変化. 植生学会第 15 回全国大会, 北海道
大学, 札幌市.

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4-2011.3 植物・植生・景観などの写真撮影・資
料収集. 神戸市, 芦屋市など.

■整理同定担当資料

土壌断面映像資料.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎小館誓治, 2010.4, 「ちょっと観察! この植物 (春の
植物)」, 博物館・深田公園 (6 名).

小館誓治, 2010.5, 「六甲山「森の植物」観察会 (春)」,
六甲山 (16 名).

小館誓治, 2010.6, 「太山寺周辺の樹林で多様性を知る」,
神戸市・太山寺 (29 名).

小館誓治, 2010.7, 「再度山周辺の樹林で多様性を知
る」, 再度山 (23 名).

小館誓治, 2010.8, 夏季教職員セミナー「身近な植物
の観察の仕方」, 博物館・深田公園 (26 名).

小館誓治, 2010.9-10, 高校連携セミナー (有馬高等学
校)「里山の自然」, 博物館・深田公園 (全 2 回, 87
名).

小館誓治, 2010.11, 「六甲山「森の植物」観察会 (秋)」,
六甲山 (23 名).

◎小館誓治, 2010.10, 「ちょっと観察! この植物 (秋
の植物)」, 博物館 (10 名).

小館誓治, 2010.12, 「芦屋市奥山地域の樹林で多様性
を知る」, 芦屋市 (17 名).

館外講演など

小館誓治, 2010.9, 「六甲山の植物観察とその手法を学
ぶ」, 平成 22 年度六甲山自然案内人養成研修プログ
ラム入門コース, 六甲山 (47 名).

小館誓治, 2010.9, 「植物の観察方法 (役に立つ植物と
怖い植物)」, いきいき学舎フレミラ 環境・自然コ
ース, 講師, 宝塚市. (24 名).

小館誓治, 2010.9, 「中山寺周辺で植物の見分け方実習」,
いきいき学舎フレミラ 環境・自然コース, 講師,
宝塚市. (29 名).

小館誓治, 2010.9, 平成 22 年度アカデミック・ツーリ
ズム・プログラム「兵庫県立人と自然の博物館・兵
庫県立有馬富士公園・丹波恐竜化石発掘現場」, 有馬
富士公園, 講師, 三田市. (20 名).

小館誓治, 2010.10, 現地調査Ⅱ『地域の自然を知る』
「里山林の保全・復元・再生」, 阪神ひと・まち創造
講座 2 年生, 講師, 三田市. (26 名).

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

副担当

2010.7-8 夏休み展示「加東市まちまるごとミュージ
アム」, 加東市 (2033 名)

2010.12 冬休み展示「加東市環境学習地域研究作品展
および生物多様性の展示」, 加東市 (902 名)

■ミニキャラバン事業

2010.5, ひとはくキャラバン・里山の春を楽しもう!
(分担者), ありまふじフェスティバル, ありまふじ
フェスティバル実行委員会, 兵庫県三田市.

2010.10, ひとはくキャラバン (分担者), COP10 生物
多様性交流フェア, COP10 支援実行委員会, 愛知県
名古屋市.

■連携事業

連携グループ等

おおばこの会（アドバイザー）

増井啓治（副担当）

古田理人（アドバイザー）

成果発表

2011.2 共生のひろば『『おおばこの会』の平成22年度活動報告―冬の野鳥観察から』, 北播磨自然観察サポーターチーム「おおばこの会」(指導・助言)

2011.2 共生のひろば「森のマドンナ! ヒメユズリハ」, 増井啓治 (指導・助言)

2011.2 共生のひろば『『葉っぱ』で作った生き物たち』, 小野市立小野東小学校: 代表古田理人 (指導・助言)

共催事業

2010.5-2011.3 「自然観察サポーターチーム活動への支援事業」. NPO 法人北播磨市民活動支援センター, 小野市他 (全7回)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2009.6.4 けやき台中学校 2 名.

学校団体対応

2010.4 神戸朝鮮初中級学校中 1 年生 (40 名).

2010.5 芦屋市立山手小学校 5 年生 (105 名).

2010.7 加東市立東条西小学校 3 年生 (20 名).

2010.8 養父市教育研修所 (小学校教員) (13 名).

2010.11 小野市立小野東小学校 3 年生 (128 名).

2010.11 加東市立東条西小学校 3 年生 (20 名).

講師派遣

2010.8 東・北播磨地区小学校研究会理科部会「平成22年度 夏季教職員研修会」, 講師, 東・北播磨地区小学校教職員, 小野市 (80 名).

2011.3 「春をさがそう (早春の植物観察)」, 講師, 小野市立小野東小学校 3 年生, 小野市 (117 名).

■フェスティバル等

2010.11 ひとくフェスティバル, 「植物採れ取れビンゴ」 (責任者).

■展示

ミニ企画展

2010.4.1-2011.3.31 深田公園植物情報 (責任者)

2. シンクタンク事業

■受託研究

「南公園里山保全・育成プロジェクト基本調査業務」, 三田市. (70 万円) (分担者)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 2 回, 10 名.

■行政支援

委員会等

2010.5-2011.3 加東市協力協定連携推進会議, 委員, 加東市教育委員会.

相談・指導助言

電話・FAX・メール等の相談 15 件.

石田 弘明, Hiroaki ISHIDA

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／生涯学習推進室
研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 講師。

昭和46年兵庫県生。神戸大学大学院教育学研究科修士課程修了。農学博士。日本生態学会、植生学会、日本造園学会、森林立地学会所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

演示フロアサービスマネージャー

2.タスクフォース

COP10 推進タスクフォース

恐竜・化石タスクフォース

3.研究開発部門

研究促進・総合共同研究推進担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 森林群落、特に照葉樹林、ブナ林、里山林の生物多様性とその保全・復元に関する研究
2. 絶滅危惧植物の保全に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」、研究分担者。

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」、研究分担者。

■論文・著書

◎石田弘明・黒田有寿茂・橋本佳延・澤田佳宏・江間薫・服部保（2010）ニホンジカが暖温帯夏緑二次林の種多様性と種組成に与える影響。保全生態学研究 15：219-229。

◎橋本佳延・服部保・黒田有寿茂・石田弘明・南山典子（2010）タケ類天狗巣病が竹林の種組成・種多様性に与える影響。保全生態学研究 15：71-87。

服部保・栃本大介・南山典子・橋本佳延・藤木大介・石田弘明（2010）宮崎県東諸県郡綾町川中の照葉原生林におけるニホンジカの採食の影響。植生学会誌 27(1)：35-42。

服部 保・南山典子・岩切康二・石田弘明・橋本佳延・栃本大介（2010）タブ型照葉樹林の種組成および種多様性。人と自然 21：121-131。

■その他著作

石田弘明（2010）ひょうごの生物多様性—瀬戸内海 VS 日本海—。ひとはく新聞 2010年6月30日号。

◎石田弘明（2010）川西市のエドヒガン群落。ひとはく新聞 2010年9月30日号。

◎石田弘明・服部 保（2011）シカの不嗜好性植物の

緑化材料としての活用。兵庫の森のチカラを生かす研究, 43-44. 社団法人兵庫県治山林道協会。

◎服部 保・黒田有寿茂・石田弘明・南山典子（2010）兵庫県たつの市鶏籠山の照葉半自然林におけるニホンジカの採食の影響。人と自然, 21：137-144。

◎服部 保・黒田有寿茂・石田弘明（2011）シカの食害による植生への影響評価。兵庫の森のチカラを生かす研究, 39-40. 社団法人兵庫県治山林道協会。

■研究発表

石田弘明・服部 保・黒田有寿茂・橋本佳延・岩切康二（2010）屋久島低地帯の照葉二次林における種組成・種多様性の特徴とシカの影響。植生学会第15回大会、かでの2・7（北海道立道民活動センター）、札幌市。

黒田有寿茂・石田弘明・岩切康二・福井 聡・服部 保（2010）屋久島低地帯の照葉樹林とスギ人工林における種組成および種多様性の比較。植生学会第15回大会、かでの2・7（北海道立道民活動センター）、札幌市。

■学会役員など

植生学会、運営委員。

植生学会、会計幹事。

日本生態学会近畿地区会、運営委員。

日本造園学会誌、論文査読。

■助成を受けた研究

シカの不嗜好性植物が生態系保全に果たす役割とその緑化への応用に関する研究。日本学術振興会科学研究費補助金若手研究（B）、研究代表者（金額80万円）。

照葉型里山林の生物多様性保全に係わる基礎的研究。

日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（C）、研究分担者（分担金なし／91万円）。

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4-2011.3 植物・植生・景観等に関する写真・標本収集。南あわじ市、洲本市、川西市、朝来市、新温泉町、香美町、大阪府、鹿児島県。

■整理同定担当資料

種子標本

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

石田弘明, 2010.4, 「特注セミナー 里山の現状と保全」, NPO 法人エコラ倶楽部, 篠山市. (25名)。

石田弘明 (分担), 2010.5, 「気ままに植物ウォッチング ②～安芸の宮島～」, 広島県廿日市市宮島. (11名)。

石田弘明, 2010.5-6, 「校内の植物群落を調べよう」, 祥雲館高等学校・博物館. (全3回, 27名)。

石田弘明, 2010.5, 「特注セミナー 身近な植物の不思議

議」,伊丹市立昆陽里小学校,博物館。(96名)。
 石田弘明,2010.5,「特注セミナー 身近な植物の不思議」,開明中学校,博物館。(260名)。
 石田弘明,2010.5,「特注セミナー 身近な植物の不思議」,西宮市立小松小学校,博物館。(138名)。
 石田弘明,2010.6,「オープンセミナー 色々なタネを観察しよう」,博物館。(32名)。
 石田弘明,2010.6,「特注セミナー 植物からみた河川の生物多様性とその問題」,NPO 法人川西再発見,川西市。(30名)。
 石田弘明,2010.7,「オープンセミナー 展示特別企画 プレビュー」,博物館。(35名)。
 石田弘明,2010.7,「オープンセミナー みどころズバリ!まるわかり!!ギャラリートーク」,博物館。(24名)。
 石田弘明,2010.9,「武田尾溪谷の植物を観察しよう」,宝塚市。(27名)。
 石田弘明,2010.9,「特注セミナー エドヒガンの特徴と保全」,川西市立緑台小学校。(87名)。
 石田弘明,2010.10,「特注セミナー 身近な植物の不思議」,西宮市立鳴尾小学校,博物館。(81名)。
 石田弘明(分担),2010.10,「オープンセミナー チリメンモンスターをさがそう!」,博物館。(125名)。
 石田弘明,2010.10,「特注セミナー 身近な植物の不思議」,養父市立大屋小学校,博物館。(103名)。
 石田弘明,2010.10,「特注セミナー 博物館の活動と研究」,西宮今津高等学校,博物館。(29名)。
 石田弘明,2010.11,「特注セミナー 生物多様性の保全」,大阪府北野高等学校,博物館。(44名)。
 石田弘明,2010.11,「オープンセミナー 色々なタネを観察しよう」,博物館。(36名)。
 石田弘明(分担),2010.11,「オープンセミナー チリメンモンスターをさがそう!」,博物館。(338名)。
 石田弘明,2010.12,「特注セミナー 里山林の現状とその問題解決に向けた兵庫県の取り組み」,講師,第23回民主三田市民塾学習会,三田市。(30名)。
 石田弘明(分担),2010.12,「オープンセミナー チリメンモンスターをさがそう!」,博物館。(119名)。
 石田弘明,2011.2,「特注セミナー エドヒガンののはなし」,川西市立陽明小学校,博物館。(55名)。
 石田弘明,2011.3,「兵庫県の森林の特徴と多様性」,博物館。(11名)。
 石田弘明,2011.3,「シカによる里山林の食害」,博物館。(140名)。

館外講演など

石田弘明,2010.5,「環境、植物と地球温暖化」,講師,NPO 法人すいた環境学習協会,吹田市。(65名)。
 石田弘明,2010.8,「世界の植生②熱帯雨林の自然」,講師,姫路市立生涯学習大学校,姫路市。(49名)。
 石田弘明,2010.9,「兵庫県立大学公開講座アカデミック・ツーリズム・プログラム 人と自然の博物館・有馬富士公園・丹波恐竜化石発掘現場をめぐる」,講

師,兵庫県立大学自然・環境科学研究所,博物館・三田市・篠山市。(37名)。
 石田弘明,2010.9,「里山の現状と保全」,講師,神戸大学ささやまファン倶楽部,篠山市。(21名)。
 石田弘明,2010.10,「武田尾溪谷の植物観察会」,講師,宝塚市老人福祉センター,宝塚市。(26名)。
 石田弘明,2010.10,「武庫川の植物」,講師,宝塚市老人福祉センター,宝塚市。(29名)。
 石田弘明,2010.10,「都市における生物多様性」,講師,宝塚市環境政策課,宝塚市。(28名)。
 石田弘明,2010.11,「孤立林の保全」,講師,姫路市立生涯学習大学校,姫路市。(48名)。
 石田弘明,2010.11,「ひょうごの植生の多様性」,講師,神戸市シルバーカレッジ,神戸市。(74名)。
 石田弘明,2011.2,「エドヒガンの現状と保全」,講師,溪のサクラを守る会,川西市。(50名)。

兵庫県立大学・大学院教育

2010.6.16 植生保全管理論(大学院)(分担講義)

非常勤講師

2010.11. 集中講義「生物圏循環論Ⅰ」,信州大学理学部。

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

主担当

2010.4-2011.3 阪神北地域 テーマ「里山林の保全・復元・再生」

セミナー担当

2010.4, エドヒガン調査研修会(責任者)(15名)

2010.5, エドヒガン調査研修会(責任者)(12名)

2010.11, エドヒガン調査研修会(責任者)(15名)

成果発表

■ミニキャラバン事業

2010.5, ひとくキャラバン・里山の春を楽しもう!(分担者),ありまふじフェスティバル,ありまふじフェスティバル実行委員会,兵庫県三田市。

2010.10, ひとくキャラバン(分担者),COP10 生物多様性交流フェア, **COP10** 支援実行委員会,愛知県名古屋市。

■連携事業

連携グループ等

山東の自然に親しむ会(アドバイザー:主)

菊炭友の会(アドバイザー:主)

櫻守の会(アドバイザー:主)

共催事業

2010.9, 兵庫県立大学公開講座アカデミック・ツーリズム・プログラム 人と自然の博物館・有馬富士公園・丹波恐竜化石発掘現場をめぐる, 兵庫県立大学自然・環境科学研究所, 博物館・三田市・篠山市(責任者)。

2011.3, 里山フォーラム「これからの里山管理ーナラ枯れ被害を見据えてー」, ひょうご森づくりセンター, 博物館(分担者)。

■学校教育支援

トライやるウィーク

2010.6.3, 宝塚市立西谷中学校 1 名, 三田市立富士中学校 1 名, 三田市立ゆりのき台中学校 1 名.

学校団体対応

2010.5 伊丹市立昆陽里小学校 (96 名).
2010.5 開明中学校 (260 名).
2010.5 西宮市立小松小学校 (138 名).
2010.9 川西市立緑台小学校 (87 名).
2010.10 西宮市立鳴尾小学校 (81 名).
2010.10 養父市立大屋小学校 (103 名).
2010.10 西宮今津高等学校 (29 名).
2010.11 大阪府北野高等学校 (44 名).
2011.2 陽明小学校 (55 名).

■フェスティバル等

2010.11, ひとはくフェスティバル搬出入整理 (責任者).
2010.11, チリメンモンスターをさがそう! (分担者).

■展示

企画展

2010.7.17-12.26, 展示特別企画「ひょうごの生物多様性
ー瀬戸内海 VS 日本海」(責任者).

ミニ企画展

2010.8.7-10.6, ミニ企画展「ゾウが描いたぞう・・・」
(分担者).
2010.10.31-2010.11.30, ミニ企画展 COP10 に行っ
てきました展」(分担者).
2010.12.12-2010.1.11, ミニ企画展「ウサギさんようこ
そ!」(責任者).
2011.3.5-2011.5.8, ミニ企画展「タヨウ星人原画展」(分
担者).

2.シンクタンク事業

■受託研究

「西宮市生物多様性地域戦略策定に関わる調査・資料
作成業務」, 西宮市環境課. 研究分担者 (228 万円)
「南公園里山保全・育成プロジェクト基本調査業務」,
三田市. 研究分担者 (70 万円)
「シカに関する植物調査」. 兵庫県森林動物研究センタ
ー. 分担者 (90 万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内, 2 回, 37 名.

■行政支援

委員会等 (計 2 件)

2010.4-12. MAB 計画委員会, 委員, MAB 国内委員
会.
2010.4-2011.3. 野生動物育成林整備事業, アドバイザ
ー, 豊かな森づくり課.

相談・指導助言

来訪者 5 件, 8 名. 電話・FAX 相談 4 件, メール相談
7 件.

橋本 佳延, Yoshinobu HASHIMOTO

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／生涯学習推進室

研究員

昭和 51 年愛知県生.神戸大学大学院総合人間科学研究科
修士課程修了.学術博士.日本生態学会, 植生学会, 環境教
育学会, 造園学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

生涯学習推進室 連携マネージャー

キャラバン事業総括, 地域研究員養成事業総括, 連
携事業総括, 「共生のひろば」発表会実施総括

2.タスクフォース

生物多様性タスクフォース サブリーダー

生物多様性ひょうご戦略の実践, 県自然環境課等と
の調整

COP10 推進タスクフォース

COP10 交流フェアへの出展展示作成, サイドイベ
ントでの発表

3.研究開発部門

資料・データバンク整備活用担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 半自然草原の生物多様性の再生に関する研究
2. タケ類天狗巣病による竹林の衰退に関する研究
3. 里山の生物多様性保全に関する研究
4. 外来植物の侵入・定着に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研
究」, 研究分担者.

部門研究「21 世紀の森構想支援のための都市林および
里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎橋本佳延・服部保・黒田有寿茂・石田弘明・南山典
子(2010)タケ類天狗巣病が竹林の種組成・種多様性
に与える影響. 保全生態学研究 15 : 71-87

服部保・栃本大介・南山典子・橋本佳延・藤木大介・
石田弘明(2010)宮崎県東諸県郡綾町川中の照葉原生
林におけるニホンジカの採食の影響. 植生学会誌
27 : 35-42

◎橋本佳延(2010)都市河川におけるアレチウリ群落で
の刈り取りが種組成・種多様性に与える影響. ラン
ドスケープ研究(オンライン論文集) 3, 32-38

◎石田弘明・黒田有寿茂・橋本佳延・澤田佳宏・江間
薫・服部保(2010)ニホンジカが暖温帯夏緑二次林
の種多様性と種組成に与える影響. 保全生態学研究
15 : 219-229

服部 保・南山典子・岩切康二・石田弘明・橋本佳延・

栃本大介(2010)タブ型照葉樹林の種組成および種多
様性. 人と自然 21 : 121-131

■その他著作

◎田村和也・橋本佳延・服部 保(2010)兵庫県におけ
るヒメヘビイチゴの新産地とその生育環境. 人と自
然 21, 205-209

◎橋本佳延(2010)ひとはく・兵庫県の生物多様性の
取り組み.ひとはく新聞, 70, 1

橋本佳延(2010)生物多様性の課題をより身近に感じ
られるものとするために. 環境と健康 23(3),
354-359

橋本佳延(2010)東お多福山のススキ草原の保全・再
生活動.ひとはく新聞, 70, 2

橋本佳延(2010)第 6 回共生のひろばを開催いたしま
す.ひとはく新聞, 71, 3

橋本佳延(2011)第 6 回共生のひろばが 2/11(金・祝)
に開催されました! .ひとはく新聞, 72, 3

■ブログへの情報提供

3 件

■研究発表

石田弘明・服部 保・黒田有寿茂・橋本佳延・岩切康
二(2010)屋久島低地帯の照葉二次林における種組
成・種多様性の特徴とシカの影響. 植生学会第 15
回大会, かでる 2・7 (北海道立道民活動センター),
札幌市.

◎橋本佳延(2011)社会と生態学の接点に身を置く博
物館のシンクタンク機能一人と自然の博物館の事例
ー(企画集会 博物館の生態学ー生物多様性保全の
シンクタンクを目指してー), 第 58 回日本生態学会
大会, 札幌コンベンションセンター, 北海道

◎橋本佳延(2011)地方博物館が地域戦略策定に果た
す役割ー兵庫県の事例を中心にー(シンポジウム
COP10 後に生物多様性地域戦略に込められた期待
と課題ー地域の保全活動において必要な生態学と政
策のつながりー), 第 58 回日本生態学会大会, 札幌
コンベンションセンター, 北海道

■学会役員など

2010.04 Landscape and Ecological Engineering 論文
査読 1 件

■助成を受けた研究

シカ・イノシシ高密度生息地域における, ススキ草原
の生物多様性と観光資源利用の持続性を保全するた
めの管理手法の開発.国際科学技術財団.研究代表
者.100 万円.(助成期間 2010.1-2010.12)

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4-2011.3 里地・里山における植物および植生景
観映像資料の収集(川西市, 神河町, 神戸市).

■整理同定担当資料

植生映像資料.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

橋本佳延.2010.4「日本一の里山，北摂地域の早春を観察しよう」川西市黒川（24名）

橋本佳延.2010.5「春の六甲山ハイキング」六甲山（13名）

◎橋本佳延，2010.6「オープンセミナー くるくる回って落ちる種子を観察しよう！」（29名）

橋本佳延，2010.8「教職員セミナー「児童・生徒とできる里山の調べ方」」（19名）

◎橋本佳延，2010.12「オープンセミナー くるくる回って落ちる種子を観察しよう！」（11名）

橋本佳延.2010.9-10「ススキ草原の生物多様性（植物）の復元をめざして」博物館，東お多福山（全2回，5名）

橋本佳延.2010.10「特注セミナー シカが脅かす草原の植物の多様性」博物館・砥峰高原，34名

橋本佳延.2010.11「特注セミナー 生物多様性と里山」人と自然の博物館（20名）

橋本佳延.2010.11「特注セミナー 外国からやってきた植物」人と自然の博物館（23名）

館外講演など

橋本佳延，2010.5，「館外特注セミナー 環境講演会「生物多様性と私たちのかわり」」，講師，西宮市（59名）

橋本佳延 2010.5 「川西市黒川の里山」，講師，URBIO実行委員会（15名）

橋本佳延.2010.6 「生物多様性とひょうごその先進性と課題（地球都共生・環境の集い2010）」，講師，兵庫県主催（300名）

橋本佳延.2010.7 「館外特注セミナー「竹がひろがる！？竹が枯れる！？」」，講師，猪名川町シルバー人材センター，25名

橋本佳延.2010.7 「平成22年度河川講習会「生物多様性とわたしたちの暮らし」」，講師，兵庫県県土整備部土木局河川整備課河川計画室，63名

橋本佳延.2010.8 「東お多福山草原保全・再生フォーラム 生き物豊かなススキ草原をふたたび」，講師，東お多福山草原保全・再生研究会，115名

橋本佳延.2010.9 「館外特注セミナー 里山観察」，講師，シニア自然大学，56名

橋本佳延.2010.10 「館外特注セミナー 生物多様性とCOP10」，講師，自然と文化の森協会，（20名）

橋本佳延，2010.10 「生物多様性交流フェアフォーラム「県民参加による兵庫県の生物多様性保全の取組」「ひょうごから発信する里山の明るい未来」」，講師，兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課（40名）

橋本佳延，2012.10 「COP10/MOP5 side event "ACTIVITIES FOR THE CONSERVATION OF BIODIVERSITY IN HYOGO PREFECTURE."Our

suggestions for building a bright future for the relationship between humans and biodiversity in satoyama"」，講師，兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課（50名）

橋本佳延，2010.11 「生物多様性リレーシンポジウム KOBE-HYOGO」，コーディネーター，神戸市環境局，270名

橋本佳延，2010.11 「里山観察会」，講師，川西里山クラブ（26名）

橋本佳延，2010.12 「館外特注セミナー 六甲山環境保全・活用体験ツアー～東お多福山でササ刈り～」，講師，国立公園六甲山地区整備促進協議会（54名）

橋本佳延，2010.12 「ひょうごサイエンスフォーラム「市民活動の科学分野を支援する～生物多様性分野の市民活動支援～」」，講師，ひょうごサイエンス・クロスオーバーネット（30名）

橋本佳延，2011.1 館外講師派遣「東お多福山草原保全・再生研究会設立までの歩みとこれまでの活動の成果」，講師，東お多福山草原保全・再生研究会（30名）

橋本佳延.2011.2 「生物多様性を考える環境NGO・NPO，市民のHyogo対話事業 第5回生物多様性連携講座「生物多様性Hyogo市民宣言を広げよう」」，アドバイザー，50名

橋本佳延，2011.2 「生物多様性の観点からみた湿地植生について（湧水湿地シンポジウム～湧水湿地の特徴とその保全に向けて」」，講師，丸山湿原エコミュージアム推進協議会（80名）

橋本佳延，2011.2 「館外特注セミナー 生物多様性と里山」，講師，六甲山自然案内人の会（41名）

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

成果発表

2011.2 共生のひろば 「東お多福山草原保全活動3年間の実績とこれからの活動」，東お多福山草原保全・再生研究会。（指導・協働）

■ミニキャラバン事業

2010.10. COP10 生物多様性交流フェア ひとはくブース展示（分担者：展示作成、展示解説）

■連携事業

共催事業

2010.8，東お多福山草原保全・再生フォーラム 生き物豊かなススキ草原をふたたび，東お多福山草原保全・再生研究会（フォーラムの開催）

2010.10，第206回やさしい科学技術セミナー「シカが脅かす草原の植物の多様性～現地でいっしょに確かめよう～」，財団法人 国際科学技術財団（セミナーの実施）

2011.2，湧水湿地シンポジウム～湧水湿地の特徴とその保全に向けて～，丸山湿原エコミュージアム推進協議会（シンポジウムの実施）

協力事業

2010.11，里山観察会，川西里山クラブ（セミナーの実施）

後援事業

2010.5-11, 猪名川自然林サポータークラブ・サポーター講座, 自然と文化の森協会 (セミナーの開催)

2010.11, 生物多様性リレーシンポジウム

KOBE-HYOGO, 財団法人 ひょうご環境創造協会 (シンポジウムの開催. コーディネーター)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2010.6.1-4, 宝塚市立西谷中学校 1 名, 三田市立富士中学校 1 名, 三田市立ゆりのき台中学校 1 名.

学校団体対応

2010.5, 尼崎市立七松小学校 4 年生 (90 名)

2010.9, 猪名川町立松尾台小学校 3 年生 (60 名)

2010.12, 川西市立東谷小学校 3 年生 (174 名)

■研究生等の受入

博物館実習

2010.8 滋賀県立大学環境科学部 4 回生, 京都府立大学農学部 4 回生

■フェスティバル等

2009.11 ひとはくフェスティバル (当日スタッフ)

■展示

ミニ企画展

2011.2.5-2011.4.3, ミニ企画展「いきもの・ふるさとを見守るなかま展」(主担当)

2011.2.11-2011.4.3, 企画展「共生のひろば展」(分担者)

2.シンクタンク事業

■受託研究

「平成 22 年度 大阪ガス株式会社姫路製造所等における生物多様性対応関連委託業務」. 大阪ガス株式会社. 70 万円 (分担者)

「南公園里山保全・育成プロジェクト基本調査業務」. 三田市. 70 万円 (分担者)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

■行政支援

委員会等 (計 3 件)

2008.7-、ひょうごサイエンス・クロスオーバーネット運営委員会, 運営委員, 神戸大学

2010.6-2011.3 「生物多様性を考える NGO・NPO、市民の Hyogo 対話」企画運営委員会, (財) ひょうご環境創造協会

2010.9-2011.3 生物多様性配慮指針検討委員会, 委員, 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課

2011.1-2012.12 加古川市環境審議会, 委員, 加古川市

相談・指導助言

電話・FAX 相談 5 件.

2010.4-2011.3 東お多福山ススキ草原の保全活動に対する助言・指導, ブナを植える会.

2010.8 生物多様性の保全及び再生に関する調査ヒアリング, 財団法人東京市町村自治調査会

鈴木 武, Takeshi SUZUKI

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ／生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 助教.

昭和37年千葉県生. 東京大学大学院理学研究科博士課程単位修得退学. 理学博士. 日本植物学会, 日本植物分類学会, 種生物学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

生涯学習推進室

副室長、アウトリーチ拠点づくり担当

2.タスクフォース

COP10 タスクフォース リーダー

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 絶滅危惧植物の遺伝子多様性の保全の研究
2. 市民参加による生物分布調査の方法と効果の研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■その他著作

鈴木武(2011) タンポポの種類と分類. タンポポ調査・西日本2010実行委員会(編), 「タンポポ調査西日本2010報告書」17-26, タンポポ調査・西日本2010実行委員会, 大阪.

鈴木武(2011) 兵庫県のタンポポ. タンポポ調査・西日本2010実行委員会(編), 「タンポポ調査西日本2010報告書」64-67, タンポポ調査・西日本2010実行委員会, 大阪.

鈴木武・三島美佐子・真鍋徹・筒井貞雄(2011) 福岡県のタンポポ. タンポポ調査・西日本2010実行委員会(編), 「タンポポ調査西日本2010報告書」64-67, タンポポ調査・西日本2010実行委員会, 大阪.

■ブログへの情報提供

5件

■学会役員など

日本植物分類学会, 図書幹事.

兵庫県生物学会, 事務局.

兵庫植物誌研究会, 理事,

■助成を受けた研究

巡回展「タンポポ」の企画・運営. 西日本自然史ネット 那須自然史基金, 代表者(金額30万円/30万円).

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.5-2011.3 アカウキクサ属植物の収集. 南あわじ市、豊岡市、山口県など.

2010.4-2011.3 西日本のタンポポ物の収集. 豊岡市、福岡県、山口県など.

■整理同定担当資料

シダ植物,

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー(演示に相当するセミナーは◎印を記載)

◎鈴木武, 2010.4, 「深田公園のタンポポ」, 博物館. (30名)

鈴木武, 2010.5, 「摩耶山のシダを見る」, 神戸市摩耶山. (全1回, 21名)

◎鈴木武, 2010.6, 「カタツムリをさわってみよう」, 博物館. (40名)

鈴木武, 2010.7, 「小代のシダを見る」, 香美町小代区内. (全1回, 16名)

◎鈴木武, 2010.8, 「六甲山のスミスネズミ」, 博物館. (40名)

鈴木武, 2010.10, 「東谷山のシダを見る」, 名古屋市守山区東谷山. (全1回, 3名)

鈴木武, 2011.3, 「アテツマンサクと石灰岩地のシダを見る」, 岡山県新見市. (全1回, 18名)

鈴木武・西岡徳三 2010.4, 収蔵庫見学, 兵庫県立大学附属中学校. (45名)

鈴木武, 2010.4, DNA抽出実験, 大阪府立泉北高校. (42名)

鈴木武, 2010.4, 生物分布調査, 京都府立泉北高校. (42名)

鈴木武, 2010.6, カタツムリの話と観察, 西宮市立東山小学校. (125名)

鈴木武, 2010.6, 市民参加型いきもの調査, 大阪府立大学大学院環境科学研究科. (17名)

鈴木武, 2010.8, タンポポ調査とDNA抽出実験, 西宮市総合教育センター. (13名)

平松紳一・鈴木武, 2010.8, ひとはくで学ぶ生物多様性, 和歌山県立海南高校. (40名)

鈴木武・西岡徳三, 2010.8, 博物館について; 収蔵庫見学, 大阪青山大学歴史博物館. (12名)

鈴木武, 2010.9, 希少植物の保全について, のじぎくネット. (14名)

鈴木武, 2010.11, 身近ないきもの調査〜タンポポとカタツムリ, 県立大学附属中学校. (11名)

鈴木武, 2010.11, タンポポ調査について, 県立三田祥雲館高校. (3名)

館外講演など

鈴木武, 2010.4, タンポポ調査・西日本2010について, 和歌山県立自然博物館友の会総会, 講師, 和歌山県立自然博物館 (40名)

鈴木武、2010.4、タンポポ調査について、宝塚市立すみれが丘小学校、講師、宝塚市立すみれが丘小学校（130名）

鈴木武、2010.4、綾部市のタンポポ、綾部市立天文館、講師、綾部市立天文館（25名）

鈴木武、2010.5、絶滅危惧植物の遺伝子多様性と保全、マイヅルテンナンショウを守る会総会、講師、四万十川河川工事事務所（50名）

鈴木武、2010.5、香川県での外来オオアカウキクサについて、香川自然博物館総会、講師、高松サンポート（80名）

鈴木武、2010.5、タンポポ調査について、安田女子中学高等学校、講師、安田女子中学高等学校（150名）

鈴木武、2010.5、箕面のシダ植物、シニア自然大学、講師、箕面市箕面滝周辺（30名）

鈴木武、2010.6、独鈷の滝のシダ植物、青垣いきものふれあいの郷講座、講師、丹波市氷上町（15名）

鈴木武、2010.6、六甲山の生き物、神戸市立なぎさ小学校、講師、神戸市立なぎさ小学校（170名）

鈴木武、2010.7、六甲山の生き物、六甲山自然案内人の会講座、講師、六甲山自然保護センター（45名）

鈴木武・恩地実、2010.8、六甲山のスミスネズミ、神戸市立森林植物園講座、講師、神戸市立森林植物園（10名）

鈴木武、2010.10、安全山のシダ植物、青垣いきものふれあいの郷講座、講師、丹波市氷上町（15名）

鈴木武、2010.10、でんでんむしをさわろう、神戸市立有野児童館、講師、神戸市立有野児童館（25名）

鈴木武、2010.11、身近ないきものの研究、宝塚市立第一中学校、講師、宝塚市立第一中学校（200名）

鈴木武、2010.11、六甲山の生き物、芦屋国際中等学校、講師、芦屋国際中等学校（120名）

鈴木武、2010.11、シダ植物について、フレミラ自然講座、講師、フレミラ宝塚（35名）

鈴木武、2010.11、最明寺の滝のシダ植物、フレミラ自然講座、講師、宝塚市平井（35名）

鈴木武、2010.12、研究者からみた市民参加型調査、市民参加型調査勉強会、講師、滋賀県立琵琶湖博物館（30名）

鈴木武、2010.12、タネのかたち、神戸市立なぎさ小学校、講師、神戸市立なぎさ小学校（170名）

鈴木武、2011.1、身近な生き物の研究ータンポポとカタツムリー、神戸学講座、講師、神戸市立六甲アイランド高校（160名）

鈴木武、2011.2、カタツムリにさわってみよう、明石市立花園小学校、講師、明石市立花園小学校（220名）

鈴木武、2011.2、六甲山のシダ植物、灘浜サイエンススクエア、講師、灘浜サイエンススクエア（120名）

鈴木武、2011.3、西日本のタンポポの分類と分布、タンポポ調査西日本2010報告会、講師、大阪第二ビル（100名）

鈴木武、2011.3、市民とともに身近な生き物を調べる、

山口県セミナーパーク、講師、山口県セミナーパーク（120名）

非常勤講師

2010.4、「西日本のタンポポとその研究」、神戸大学理学部。

ラジオ・テレビ等出演

2010.11、「四国の外来アカウキクサ」、NHK 高松放送局

■ミニキャラバン事業

2010.10、ひとはくキャラバン（分担者）、COP10 生物多様性交流フェア、COP10 支援実行委員会、愛知県名古屋市。

■連携事業

連携グループ等

希少植物研究会（主担当）

■学校教育支援

トライやるウィーク

2010.6.5-6.8、宝塚市立西谷中学校1名、三田市立富士中学校1名、三田市立ゆりのき台中学校1名。

学校団体対応

2010.4、兵庫県立大学附属中学校1年生（45名）

2010.4、大阪府立泉北高校1年生（42名）

2010.4、京都府立泉北高校1年生（42名）

2010.6、西宮市立東山小学校2年生（125名）

2010.6、大阪府立大学大学院環境科学研究科（17名）

2010.8、和歌山県立海南高校1年生（40名）

2010.11、県立大学附属中学校1年生（11名）

2010.11、県立三田祥雲館高校2年生（3名）

講師派遣

2010.4、「タンポポ調査について」、講師、宝塚市立すみれが丘4年生

2010.5、「タンポポ調査について」、講師、安田女子中学校1年生（150名）

2010.6、「六甲山の生き物」、講師、神戸市立なぎさ小学校3年生（170名）

2010.11、「身近ないきものの研究」、講師、宝塚市立第一中学校1年生（200名）

2010.11、「六甲山の生き物」、講師、芦屋国際中等学校4年生（120名）

2010.12、「タネのかたち」、講師、神戸市立なぎさ小学校3年生（170名）

2011.1、「身近な生き物の研究ータンポポとカタツムリー」、講師、神戸市立六甲アイランド高校1年生（160名）

2011.2、「カタツムリにさわってみよう」、講師、明石市立花園小学校3～4年生（220名）

■研究生等の受入

博物館実習

2010.8.25-8.31、滋賀県立大学環境科学部4回生、京都府立大学農学部4回生

■フェスティバル等

2010.11、ひとはくフェスティバル、「ミュージアムモ

ール」(責任者).

■展示

企画展

2010.7.17-2010.12.26, 企画展「ひょうごの生物多様性
瀬戸内海 VS 日本海」(分担者).

ミニ企画展

2010.7.20-8.15, ミニ企画展示「ウサギさんようこそ！」
(分担者).

2.シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内, 2 回, 30 名.

■行政支援

委員会等

相談・指導助言

来訪者 10 件, 15 名. 電話・FAX 相談 20 件, メール相
談 5 件.

藤井 俊夫, Toshio FUJII

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ

主任研究員

昭和39年香川県生. 大阪市立大学大学院理学研究科前期博士課程修了. 日本生態学会, 日本植物分類学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.研究開発部門

研究・シンクタンク推進室 研究紀要援助担当

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 野生植物の保全生態学的研究
2. 木本植物の種生態学的研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■その他著作

藤井俊夫・樋口清一・石田莞爾(2010)多紀連山(篠山市)のクリンソウ自生地の個体群構造と保全活動, 兵庫の植物. 20: 55-58.

藤井俊夫・樋口清一・谷口次男(2010)篠山市でみつかった絶滅危惧種ベニバナヤマシャクヤクの個体群構造, 兵庫の植物. 20: 59-62.

■ブログへの情報提供

1件

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.04-2011.03, 兵庫県内の植物標本収集

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

藤井俊夫, 2010.04.25, 「植物観察会(春の福島大池)」 (1回, 11名)

藤井俊夫, 2010.06.06, 「植物観察会(春の虚空蔵山)」 (1回, 9名)

藤井俊夫, 2010.07.04, 「オグラコオホネ観察会」 (1回, 6名)

藤井俊夫, 2010.07.25, 「オニバス観察会」 (1回, 16名)

藤井俊夫, 2010.08.29, 「サギソウ観察会」 (1回, 12名)

藤井俊夫, 2010.09.26, 「植物観察会(秋の甲山)」 (1回, 18名)

藤井俊夫, 2010.10.24, 「植物観察会(秋の福島大池)」 (1回, 7名)

藤井俊夫, 2010.11.21, 「植物観察会(秋の中山寺)」 (1回, 22名)

藤井俊夫, 2010.12.19, 「ノジギク観察会」 (1回, 16名)

藤井俊夫, 2011.01.09, 「春日山原始林観察会」 (1回, 18名)

藤井俊夫, 2011.01.06, 「春日山原始林観察会(追加版)」 (1回, 13名)

藤井俊夫, 2010.10.19, 「植物観察入門」 (クラーク記念国際高等学校連携セミナー) (1回, 6名)

藤井俊夫, 2011.01.11, 「植物の冬越し」 (クラーク記念国際高等学校連携セミナー) (1回, 3名)

藤井俊夫, 2011.02.12, オープンセミナー「冬芽の観察」 (1回, 6名)

藤井俊夫, 2011.03.26, オープンセミナー「早春の花の観察」 (1回, 15名)

■連携事業

共催事業

藤井俊夫, 2010.10.19, 「植物観察入門」 (クラーク記念国際高等学校連携セミナー) (1回, 103名)

藤井俊夫, 2011.01.11, 「植物の冬越し」 (クラーク記念国際高等学校連携セミナー) (1回, 105名)

藤井俊夫, 2010.05.11, 「植物生態学入門」 (県立大学附属中学) (第1回, 5名)

藤井俊夫, 2010.06.22, 「植物生態学入門」 (県立大学附属中学) (第2回, 5名)

藤井俊夫, 2010.07.20, 「植物生態学入門」 (県立大学附属中学) (第3回, 5名)

藤井俊夫, 2010.08.24, 「植物生態学入門」 (県立大学附属中学) (第4回, 5名)

藤井俊夫, 2010.10.06, 「植物生態学入門」 (県立大学附属中学) (第5回, 5名)

藤井俊夫, 2010.11.16, 「植物生態学入門」 (県立大学附属中学) (第6回, 5名)

藤井俊夫, 2010.12.17, 「植物生態学入門」 (県立大学附属中学) (第7回, 5名)

藤井俊夫, 2011.01.25, 「植物生態学入門」 (県立大学附属中学) (第8回, 5名)

藤井俊夫, 2011.02.18, 「植物生態学入門」 (県立大学附属中学) (第9回, 5名)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2010.06.01-06.04, 宝塚市立西谷中学1名、三田市立富士中学1名、三田市立ゆりのき台中学1名

学校団体対応

2010.04.17, 「植物標本の作り方」 大阪府立泉北高等学校(1回, 40名)

2010.07.23, 「植物生態学入門」 愛媛県立松山南高等学校(1回, 46名)

2010.08.05, 「春日山の植物とシカ」 奈良県立奈良高等

学校(1回, 13名)

2010.10.22, 「雑草の特性」伊丹市立摂陽小学校(1回, 93名)

2010.10.27, 「植物標本の作り方と利用」県立西宮今津高等学校(1回, 29名)

2010.11.24, 「ドングリの話・ドングリ拾い」三田市立狭間小学校(1回, 66名)

■講師派遣

藤井俊夫, 2010.12.08, 「日本の団栗」, 講師, 宝塚市立老人福祉センター (69名)

藤井俊夫, 2011.03.13, 「早春の里山楽校」, 講師, 東芦田まちづくり協議会(青垣) (50名)

■研究生等の受入

博物館実習

2010.08.07-08.10, 滋賀県立大環境科学部4回生(1名)、京都府立大農学部4回生(1名)

■フェスティバル等

2010.11.07. フェスティバル「とれとれビンゴ」分担

2.シンクタンク事業

■行政支援

相談・指導助言

来訪者 81件, 138名. 電話・FAX 相談 67件, メール相談 54件.

黒田 有寿茂, Asumo KURODA

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ／企画調整室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 助教.

昭和 53 年愛知県生. 広島大学大学院理学研究科博士課程修了. 博士 (理学). 植生学会, 日本生態学会, 日本造園学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1.事業推進部門

企画調整室, 事業推進会議の運営

生涯学習推進室, 地域担当 (北・東播磨)

<研究開発>

1.調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 二次林・人工林における生物多様性保全に関する研究
2. 希少植物の種生態に関する研究

■共同研究

総合共同研究「里山林の保全・復元・再生に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「21 世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■論文・著書

服部 保・岩切康二・南山典子・黒木秀一・黒田有寿茂 (2010) 宮崎神社社叢の種多様性の特性. 保全生態学研究, 15 : 47-59.

◎橋本佳延・服部 保・黒田有寿茂・石田弘明・南山典子 (2010) タケ類天狗巣病が竹林の種組成・種多様性に与える影響. 保全生態学研究, 15 : 71-87.

◎石田弘明・黒田有寿茂・橋本佳延・澤田佳宏・江間薫・服部 保 (2010) ニホンジカが暖温帯夏緑二次林の種多様性と種組成に与える影響. 保全生態学研究, 15 : 219-229.

■その他著作

◎服部 保・黒田有寿茂・石田弘明・南山典子 (2010) 兵庫県たつの市鶏籠山の照葉半自然林におけるニホンジカの採食の影響. 人と自然, 21 : 137-144.

◎服部 保・黒田有寿茂・南山典子 (2010) 里山林の基礎. (社)兵庫県緑化推進協会, 24p.

◎服部 保・黒田有寿茂・石田弘明 (2011) シカの食害による植生への影響評価. 兵庫の森のチカラを生かす研究, 39-40.

黒田有寿茂 (2010) 共生のひろばー市民との連携による環境学習・生涯学習の推進. 全科協ニュース, Vol. 40, No. 4 : 3-5.

■ブログへの情報提供

1 件

■研究発表

黒田有寿茂・石田弘明・岩切康二・福井 聡・服部 保 (2010) 屋久島低地部の照葉樹林とスギ人工林における種組成および種多様性の比較. 植生学会第 15 回大会, かでる 2・7 (北海道立道民活動センター), 札幌市.

◎黒田有寿茂・服部 保 (2010) 工場敷地における生物多様性保全の推進. 兵庫県立大学シンポジウムー実りある産学官連携の推進ー, イーグレ姫路, 姫路市.

石田弘明・服部 保・黒田有寿茂・橋本佳延・岩切康二 (2010) 屋久島低地部の照葉二次林における種組成・種多様性の特徴とシカの影響. 植生学会第 15 回大会, かでる 2・7 (北海道立道民活動センター), 札幌市.

谷川照樹・坪田博美・向井誠二・黒田有寿茂・豊原源太郎 (2010) 植生図化による松枯れ林の植物社会学的研究ー広島県宮島の過去 35 年間の例ー植生学会第 15 回大会, かでる 2・7 (北海道立道民活動センター), 札幌市.

Fujihara, M., Miura, H., Kuroda, A., Sawada, Y., Oyabu, T. and Yamamoto, S. (2010) Conservation and management of coastal pine forest. Urban Biodiversity and Design (URBIO2010), Nagoya.

■助成を受けた研究

照葉型里山林の生物多様性保全に係わる基礎的研究.

日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C), 研究分担者 (分担金なし/91 万円).

2.資料収集・整理

■資料収集

2010.4-2011.3, 植物および植生の映像資料収集. 神戸市, 川西市, 明石市, 南あわじ市, 香美町, たつの市, 三田市, 神河町, 加東市, 赤穂市, 姫路市, 宝塚市, 豊岡市, 西宮市, 広島県, 青森県, 大阪府, 京都府, 北海道, 鹿児島県, 宮崎県.

<事業推進>

1.生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー (演示に相当するセミナーは◎印を記載)

黒田有寿茂, 2010.4, 「一般セミナー 気ままに植物ウォッチング①ー丹生山ー」, 神戸市北区山田町丹生山. (24 名)

黒田有寿茂, 2010.5, 「一般セミナー 気ままに植物ウォッチング②ー安芸の宮島ー」, 広島県廿日市市宮島. (11 名)

黒田有寿茂, 2010.5, 「一般セミナー 気ままに植物ウォッチング③ー山田町下谷上ー」, 神戸市北区山田町下谷上地区. (24 名)

◎黒田有寿茂, 2010.6, 「オープンセミナー 鳴らそう草笛」, 博物館. (35 名)

◎黒田有寿茂, 2010.6, 「オープンセミナー 初夏のみどり (ふかたん)」, 博物館. (8 名)

黒田有寿茂, 2010.7, 「特注セミナー 生物多様性と里山」, 博物館. (35 名)

黒田有寿茂, 2010.8, 「一般セミナー 夏の野外植物学教室」, 神戸市北区君影町菊水山. (7 名)

黒田有寿茂, 2010.8, 「夏期教職員セミナー 葉っぱで見分ける身近な樹木」, 博物館. (20 名)

◎黒田有寿茂, 2010.9, 「オープンセミナー 鳴らそう草笛」, 博物館. (23 名)

黒田有寿茂, 2010.9, 「特注セミナー 葉っぱで見分ける身近な樹木 (理科支援員養成講座)」, 博物館. (16 名)

黒田有寿茂, 2010.10, 「一般セミナー 気ままに植物ウォッチング④～長坂山～」, 神戸市北区山田町長坂山. (25 名)

黒田有寿茂, 2010.11, 「特注セミナー 森の観察」, 博物館. (9 名)

館外講演など

黒田有寿茂, 2010.6, 「植物・植生調査」, 森の探偵団, 明石市金ヶ崎公園 (8 名).

黒田有寿茂, 2010.7, 「希少植物の重要性と保全について」, 福本水土里会, 福本揚羽ホール (50 名).

黒田有寿茂, 2010.8, 「植物・植生調査」, エコウイングあかし, 明石市金ヶ崎公園 (10 名).

黒田有寿茂, 2010.9, 「平成 22 年度兵庫県立大学アカデミック・ツーリズム・プログラム, ジーンファーム見学」, 兵庫県立大学生涯学習交流センター, 人と自然の博物館 (37 名).

黒田有寿茂, 2010.10, 「里山整備の目的と方法」, 森の探偵団, 明石市金ヶ崎公園 (10 名).

兵庫県立大学・大学院教育

植生保全・管理論 (大学院, 分担)

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

セミナー担当

2010.4, エドヒガン調査研修会 (分担者) (15 名)

2010.5, エドヒガン調査研修会 (分担者) (12 名)

2010.11, エドヒガン調査研修会 (分担者) (15 名)

成果発表

■ミニキャラバン事業

2010.5, ひととはくミニキャラバン・里山の春を楽しもう! (分担者), ありまふじフェスティバル実行委員会, 有馬富士公園.

2010.10, ひととはくキャラバン (分担者), COP10 生物多様性交流フェア, **COP10** 支援実行委員会, 愛知県名古屋市.

■連携事業

連携グループ等

菊炭友の会 (アドバイザー: 副)

櫻守の会 (アドバイザー: 副)

共催事業

2011.3, 里山フォーラム「これからの里山管理ーナラ枯れ被害を見据えてー」, ひょうご森づくりセンター,

博物館 (分担者)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2010.6.1-6.4, 西谷中学校 1 名, 富士中学校 1 名, ゆりのき台中学校 1 名.

講師派遣

2010.11, 「森と里山」, 講師, 雲雀丘学園中学校 (168 名)

■研究生等の受入

博物館実習

2010.8.7-8.10, 滋賀県立大学環境科学部学生 1 名, 京都府立大学農学部学生 1 名.

■フェスティバル等

2010.11, ひととはくフェスティバル備品担当.

■展示

企画展

2010.7.17-2010.12.26, 展示特別企画「ひょうごの生物多様性 瀬戸内海 VS 日本海」(分担者).

2. シンクタンク事業

■受託研究

「慶野松原維持のための林床植生適正化に関わるウンラン等栽培・管理研究業務」, 兵庫県立淡路景観園芸学校. 研究代表者 (50 万円)

「森林ボランティア育成教本の発行業務」, 社団法人兵庫県緑化推進協会. 研究分担者 (140 万円)

「西宮市生物多様性地域戦略策定に関わる調査・資料作成業務」, 西宮市環境課. 研究分担者 (228 万円)

「南公園里山保全・育成プロジェクト基本調査業務」, 三田市. 研究分担者 (70 万円)

「平成 22 年度大阪ガス株式会社姫路製造所等における生物多様性対応関連業務」, 大阪ガス株式会社. 研究分担者 (70 万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファームの案内, 1 回, 10 名.

■行政支援

委員会等

2010.7-2011.3 加東市とひととはく協力協定連携推進会議委員, 加東市教育委員会.

相談・指導助言

電話・FAX 相談 5 件, メール相談 5 件.

			研究開発																
			調査研究																
			特別課題研究	共同研究（総合）	共同研究（部門）	論文・著書		そのほか著作		ブログへの情報提供	研究発表		学会役員など	助成を受けた研究			海外調査	受賞等	
研究員氏名 （掲載順）	博物館	大学	テーマ数	参画数	参画数	第一著者件数	第一著者以外の件数	第一著者件数	第一著者以外の件数	件数	第一著者件数	第一著者以外の件数	件数	代表		分担	回数	件数	
														件数	（万総円額）	件数			
小林文夫	主任研究員	教授	4	1	1	3	0	1	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	
佐藤裕司	主任研究員	教授	3	1	1	1	3	1	1	0	0	6	1	0	0	1	0	0	
先山 徹	主任研究員	准教授	2	1	1	4	0	4	2	0	2	0	2	1	370	0	1	0	
加藤茂弘	主任研究員		3	1	1	1	5	5	1	2	2	12	5	1	468	3	2	0	
古谷 裕	主任研究員	准教授	2	1	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	
三枝春夫	主任研究員	准教授	2	1	1	3	1	2	1	0	1	3	4	1	1481	0	3	0	
半田久美子	主任研究員		2	1	1	0	1	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	0	
松原尚志	主任研究員		2	1	1	8	1	3	0	0	5	0	3	1	110	2	0	0	
池田忠弘	研究員		2	1	1	0	1	2	0	2	1	3	0	0	0	1	1	0	
高橋 晃	研究部長	教授	3	0	1	1	1	4	0	3	1	0	1	0	0	2	0	0	
秋山弘之	主任研究員	准教授	3	1	1	7	0	3	0	2	2	0	3	0	0	1	2	0	
高野温子	主任研究員		2	0	0	2	1	0	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	
布施静香	主任研究員		4	1	1	0	2	1	2	11	3	1	5	0	0	2	0	0	
山本伸子	研究員		1	0	0	1	1	0	0	4	1	1	0	0	0	0	0	0	
太田英利	主任研究員	教授	5	1	1	2	6	1	0	0	4	7	9	1	300	1	3	0	
橋本佳明	主任研究員	准教授	4	1	1	2	1	1	0	5	1	3	4	0	0	2	6	0	
沢田佳久	研究員	助教	1	1	0	2	0	1	0	24	2	0	1	0	0	0	0	0	
八木 剛	主任研究員		2	0	0	0	0	2	0	5	1	1	1	2	380	0	0	0	
江崎保男	研究部長/研究系次長	教授	2	0	2	1	0	2	2	0	1	2	7	1	100	0	0	0	
田中哲夫	主任研究員	准教授	4	0	1	1	0	5	0	3	2	0	0	1	196	0	0	0	
三橋弘宗	主任研究員		3	1	1	2	6	2	0	20	5	3	4	1	70	1	0	0	
大谷 剛	主任研究員	教授	3	0	0	0	2	2	0	0	1	2	1	0	0	1	0	0	
三谷雅純	主任研究員	准教授	2	0	0	0	0	40	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	
遠藤菜緒子	研究員		2	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	
北村俊平	研究員		2	0	1	1	1	3	0	16	2	2	20	1	320	0	2	0	
中瀬 勲	副館長/主任研究員	教授/副館長	2	0	1	3	3	12	2	0	2	1	10	0	0	0	0	1	
藤本真里	研究員	助教	2	1	1	1	1	4	0	1	0	0	2	0	0	2	0	0	
赤澤宏樹	研究員	講師	2	1	1	2	2	2	1	0	3	2	11	0	0	1	1	0	
武田重昭	研究員		7	1	1	2	1	6	1	1	3	2	7	1	50	0	0	0	
田原直樹	主任研究員	教授	2	1	1	2	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	
山崎義人	研究員		3	1	1	2	1	3	0	1	2	0	11	1	170	4	1	0	
上田萌子	研究員		1	0	0	0	0	1	0	5	0	0	0	1	30	0	0	0	
服部 保	研究部長	教授	3	1	1	6	2	9	6	0	1	3	2	3	241	0	0	0	
石田弘明	研究員	講師	2	1	1	1	3	3	2	0	1	1	4	1	80	1	0	0	
小館誓治	研究員	助教	2	1	1	0	0	1	1	8	0	1	0	0	0	0	0	0	
橋本佳延	研究員		4	1	1	2	3	5	1	3	2	1	1	1	100	0	0	0	
鈴木 武	研究員	助教	2	1	1	0	0	3	0	5	0	0	3	1	30	0	0	0	
黒田有寿茂	研究員	助教	2	1	1	0	3	1	3	1	2	3	0	0	0	1	0	0	
藤井俊夫	研究員		2	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計			101	27	32	63	53	138	28	130	57	64	135	20	4496	27	22		

研究開発				生涯学習																												
資料収集・整理				セミナー												キャラバン事業																
資料 収集	資料 受贈	資料 貸出・ 借用・ 譲渡	整理 同定 担当 資料	館主催								館内 特注 セミナー		館外 講演		非常 勤講 師	兵庫 県立 大学・ 大学院 教育	兵庫 県立 大学付 属中 学校	ラジ オ・ TV出 演等	主担 当	副担 当	展 示 作 成	リサ ー チ プ ロ ジ ェ ク ト	セ ミ ナ ー 担 当	成 果 発 表	ミニ キ ャ ラ バ ン 事 業						
				責任者		分担者		件数	のべ 受 講 者 数	のべ 受 講 者 数	件数	のべ 受 講 者 数	件数	のべ 受 講 者 数	件数											のべ 受 講 者 数	件数	のべ 受 講 者 数	件数	のべ 受 講 者 数	主担 当 件 数	分 担 件 数
				件数	のべ 受 講 者 数	件数	のべ 受 講 者 数																									
有	0	0	有	6	188	0	0	5	414	3	334	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
有	0	0	有	5	81	2	68	0	0	2	49	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
有	0	0	有	5	285	1	24	0	0	36	2867	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
有	0	0	有	11	379	3	177	0	0	8	493	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0						
有	0	0	有	11	666	0	0	12	454	6	196	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0						
有	1	0	有	5	215	0	0	4	155	7	487	0	1	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
有	5	0	有	7	280	0	0	0	0	2	66	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0						
有	0	0	有	4	245	0	0	0	0	1	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
有	0	0	有	10	1180	1	100	0	0	8	388	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
有	10	0	有	13	426	6	108	2	164	2	86	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
有	0	0	有	5	46	0	0	0	0	2	362	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1						
有	0	0	有	4	188	1	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
有	0	0	有	6	134	8	302	0	0	1	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
有	0	0	有	1	11	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
無	0	0	有	5	307	2	45	0	0	5	269	1	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
有	0	0	有	6	131	0	0	0	0	4	290	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
有	4	0	有	9	110	2	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
有	2	0	有	7	318	0	0	7	678	9	923	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2							
有	0	2	有	4	85	0	0	0	0	2	300	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
有	1	0	有	7	496	1	37	1	26	8	314	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
有	1	0	有	25	1721	0	0	0	0	21	2267	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
有	0	0	無	24	1806	0	0	0	0	18	477	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
有	0	0	有	7	154	0	0	2	87	2	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
有	0	0	無	12	1124	1	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0						
有	0	0	有	10	178	3	213	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
無	0	0	無	1	11	0	0	0	0	49	7161	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0						
有	0	0	無	7	204	0	0	0	0	12	581	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1						
有	0	0	無	13	549	0	0	0	0	18	1068	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
有	0	0	無	10	284	0	0	0	0	2	38	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3						
有	0	0	無	10	131	0	0	0	0	7	424	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
有	0	0	無	10	241	5	79	0	0	6	200	1	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0						
有	3	0	無	8	689	2	264	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0						
有	0	0	有	14	792	0	0	0	0	45	3681	1	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
有	0	0	有	24	1903	0	0	0	0	9	427	1	1	0	0	4	0	0	0	0	9	0	0	0	2	0						
有	0	0	有	8	237	0	0	0	0	5	146	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0						
有	0	0	有	9	178	0	0	0	0	18	1324	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0						
有	0	0	有	17	476	1	40	0	0	24	2095	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0						
有	0	0	無	12	237	0	0	0	0	5	115	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	0						
有	0	0	無	15	178	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
	27	2		367	16864	40	1631	33	1978	347	27532	22	53	3	26	5	2	1	1	15	1	4		21								

			生涯学習事業												
			連携事業				学校教育支援					研修生等の受入			イベント
			連携グループ	共催事業	協力事業	後援事業	トライやるウィーク	学校団体対応		講師派遣		博物館実習	卒論生など	その他か	フェスティバル等の実施
研究員氏名	博物館	役職	件数	件数	件数	件数	受講生徒数	件数	受講生徒数	件数	受講生徒数	受講生徒数	受入人数	受入人数	実施件数
小林文夫	主任研究員	教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
佐藤裕司	主任研究員	教授	0	6	1	0	0	1	36	2	52	2	3	0	1
先山 徹	主任研究員	准教授	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
加藤茂弘	主任研究員		2	1	1	0	3	3	111	1	42	2	4	0	1
古谷 裕	主任研究員	准教授	2	5	0	0	0	4	276	12	487	0	0	0	1
三枝春夫	研究員	助教	2	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
半田久美子	主任研究員		0	0	0	0	0	2	128	0	0	2	1	0	1
松原尚志	主任研究員		0	1	0	0	0	1	8	0	0	2	1	0	1
池田忠弘	研究員		2	0	1	0	3	4	333	2	60	0	0	0	1
高橋 晃	研究部長	教授	8	4	4	0	3	1	59	1	112	0	0	5	1
秋山弘之	主任研究員	准教授	0	0	0	0	0	6	463	0	0	0	0	0	0
高野温子	主任研究員		0	0	0	0	0	1	140	0	0	0	0	0	0
布施静香	主任研究員		4	0	0	0	0	4	183	0	0	0	0	0	2
山本伸子	研究員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
太田英利	主任研究員	教授	0	0	0	0	0	3	256	0	0	0	0	0	2
橋本佳明	主任研究員	准教授	0	0	0	0	0	4	296	0	0	0	0	0	1
沢田佳久	研究員	助教	1	1	1	0	3	0	0	1	10	0	0	0	0
八木 剛	主任研究員	主任研究員	8	7	2	0	0	0	0	4	344	0	1	0	1
江崎保男	研究部長/研究員	教授	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
田中哲夫	主任研究員	准教授	8	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1
三橋弘宗	主任研究員		7	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1
大谷 剛	主任研究員	教授	3	4	1	0	4	8	913	3	185	0	0	0	0
三谷雅純	主任研究員	准教授	1	0	0	0	0	3	138	0	0	0	0	0	1
遠藤菜緒子	研究員		6	0	0	0	0	7	448	0	0	0	0	0	0
北村俊平	研究員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中瀬 勲	副館長/主任研究員	教授/副館長	0	0	0	0	3	0	0	0	0	5	0	0	1
藤本真里	研究員	助教	1	0	1	0	3	0	0	0	0	5	0	0	1
赤澤宏樹	研究員	講師	0	0	0	0	3	0	0	1	240	5	0	0	0
武田重昭	研究員		0	0	0	0	3	0	0	0	0	5	0	0	1
田原直樹	主任研究員	教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
山崎義人	研究員		0	0	0	0	4	2	140	0	0	5	4	0	1
上田萌子	研究員		0	0	0	0	3	0	0	0	0	5	0	0	1
服部 保	研究部長	教授	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
石田弘明	研究員	講師	3	2	0	0	1	9	893	0	0	0	0	0	2
小館誓治	研究員	助教	3	1	0	3	1	8	523	0	0	0	0	0	1
橋本佳延	研究員		0	3	1	2	1	3	324	0	0	2	0	0	1
鈴木 武	研究員	助教	1	0	0	0	3	8	325	8	1190	2	0	0	1
黒田有寿茂	研究員	助教	2	1	0	0	3	0	0	1	168	2	0	0	1
藤井俊夫	研究員		0	11	0	0	3	6	287	2	119	2	0	0	1
合計			60	38	10	5	41	73	5388	38	2368	44	6	5	30

生涯学習事業						シンクタンク事業										
展示作成・実施						受託研究			収蔵庫・ジーンファームの公開		行政等支援				学会開催等支援	
常設展 （映像資料作成を含む）	企画展		ミニ企画展等								委員会など	相談・指導助言（来訪者）		相談・指導助言 （TEL・FAX・メール等）		
	主担当件数	分担件数	主担当件数	分担件数	主担当件数	分担件数	代表		分担	実施件数	のべ受講者数	参画件数	件数	質問者数	件数	件数
件数							受託金額 （万円）	件数								
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	25	15	0
0	0	0	2	0	0	0	0	1	8	22	3	36	85	25	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6	5	10	8	0	0
0	0	0	1	0	0	1	27	0	8	59	2	15	30	80	1	1
0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	10	12	13	0	0
0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	10	4	2	4	5	0	0
0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	5	10	4	0	0
0	0	0	2	2	0	0	0	0	3	10	0	5	12	28	1	1
0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	14	0	2	2	2	0	0
0	0	0	0	0	2	0	0	0	5	88	5	3	3	11	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5	5	3	0	0
0	0	0	1	0	2	0	0	0	18	270	1	3	4	30	1	1
0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	52	0	0	0	5	0	0
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	9	14	23	23	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	130	0	7	15	17	0	0
1	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	10	10	30	0	0
0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	10	1	1	1	0	2	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	40	180	40	0	0
0	0	0	1	0	1	1	70	0	3	14	15	20	50	50	0	0
0	0	1	0	3	0	0	0	0	5	30	17	95	250	170	0	0
0	0	0	1	3	1	0	0	0	5	12	0	2	4	15	1	1
0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3	10	20	200	0	0
0	0	0	1	0	1	0	0	0	12	65	0	2	4	20	0	0
0	0	0	1	0	2	0	0	0	3	12	0	1	1	23	0	0
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	101	100	150	200	0	0
0	0	0	0	0	0	3	205	0	0	0	22	60	110	130	0	0
0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	23	15	40	80	1	1
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	2	2	11	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	25	17	10	30	20	0	0
0	0	0	1	1	1	1	50	0	2	40	1	2	3	2	1	1
0	0	0	1	1	0	0	0	0	11	36	3	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	9	948	0	24	103	61	222	612	400	0	0
0	0	1	0	1	3	0	0	3	2	37	2	5	8	11	0	0
0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	10	1	15	0	15	0	0
0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	3	0	0	5	0	0
0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	30	0	10	15	25	0	0
0	0	0	1	0	0	1	50	4	1	10	1	0	0	10	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81	138	121	0	0
1	0	2	28	16	23	16	1350	14	134	1089	331	823	1868	1847	8	8